

---

# ふじみ野市 障がい者福祉に関する アンケート調査結果報告書

---

令和8年3月

ふじみ野市



# 目次

第1章 アンケート調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査の方法・回収結果.....	1
3 注意事項.....	1
第2章 障がい者調査.....	2
1 回答者の状況.....	2
2 日中の過ごし方.....	8
3 相談・情報に関する事.....	21
4 福祉サービスの利用.....	29
5 災害時の対応.....	43
6 今後の地域での生活.....	50
第3章 障がい児調査.....	57
1 回答者の状況.....	57
2 発育・発達に関する事.....	61
3 日中の過ごし方.....	68
4 災害時の対応.....	72
5 今後の地域での生活.....	76
第4章 一般市民調査.....	84
1 回答者の属性.....	84
2 障がいに関する意識.....	85
3 障がいのある人への支援.....	92
4 障がい福祉の取組.....	95



# 第1章 アンケート調査の概要

## 1 調査の目的

本調査は、障害者基本法に基づく「第5期ふじみ野市障がい者基本計画」、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく「第8期ふじみ野市障がい福祉計画」及び児童福祉法に基づく「第4期ふじみ野市障がい児福祉計画」の策定にあたって、ふじみ野市に在住する障がい者の生活実態やニーズ、サービスの利用実態や意向を把握することを目的に実施した。

## 2 調査の方法・回収結果

### (1)調査対象者

障がい者調査：市内に居住する18歳以上の障がい者（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、指定難病等の医療受給者証の交付を受けている人）

障がい児調査：市内に居住する18歳以下の障がい児（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、指定難病等の医療受給者証の交付を受けている人又は障害児通所支援の支給決定を受けている人）

一般市民調査：市内に居住する18歳以上の一般市民

### (2)調査方法

調査票による調査（郵送配布・郵送回収）、ウェブによる回答

### (3)調査期間

令和7年12月10日～令和7年12月26日（令和8年1月5日到着分まで）

### (4)回収結果

	抽出数	配布数	回答数（内、ウェブ回答）	回答率
障がい者調査	1,200件	1,196件	735件（266件）	61.5%
障がい児調査	300件	300件	213件（140件）	71.0%
一般市民調査	1,000件	994件	506件（268件）	50.9%

## 3 注意事項

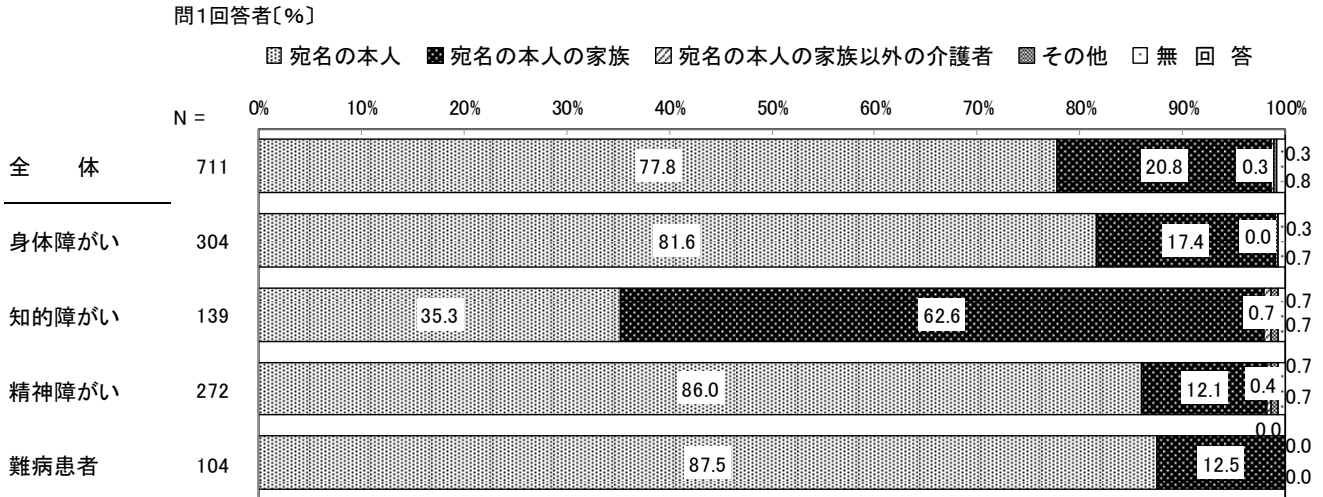
- 比率は、小数点第2位以下を四捨五入して小数点第1位で表示しており、合計が100.0%とならないことがある。
- 複数回答の項目については、原則として、その項目に対しての有効回答者の数を基数とし、比率算出しているため、合計が100%を超えることがある。
- グラフの（N）はNumber of caseの略であり、その項目の回答者数を示している。
- 障がい者調査の分析は、全体と障がい種別（交付手帳による）集計をグラフ化している。「問4交付されている手帳等」の回答より、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、指定難病等の医療受給者証の交付を受けていると回答した方を、それぞれ身体障がい、知的障がい、精神障がい、難病患者として集計している。複数回答のため、それぞれの合計は全体を超えている。
- 障がい児調査の分析は、「問3年齢」の回答により全体と年齢別集計をグラフ化している。
- 文中の前回調査は令和4年度に実施した調査結果であり、（前回〇%）として前回と比べて傾向がみられる箇所を記述している。

## 第2章 障がい者調査

### 1 回答者の状況

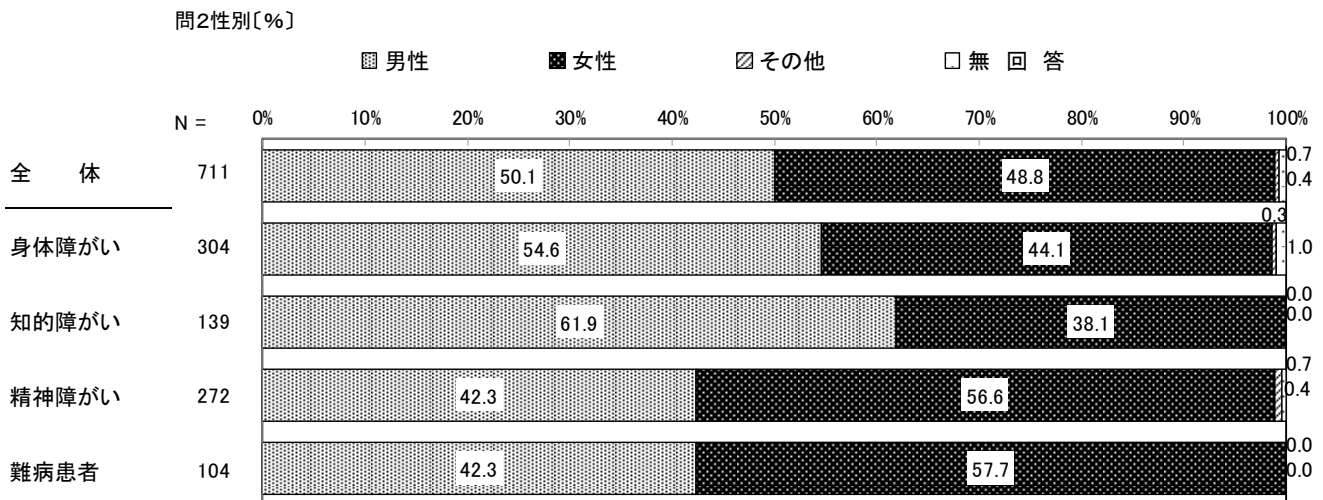
問1 回答するのはどなたですか。

全体では「宛名の本人」が77.8%と多く、「宛名の本人の家族」が20.8%である。  
障がい種別では、知的障がいでは「宛名の本人の家族」が62.6%と多い。



問2 性別をご回答ください。

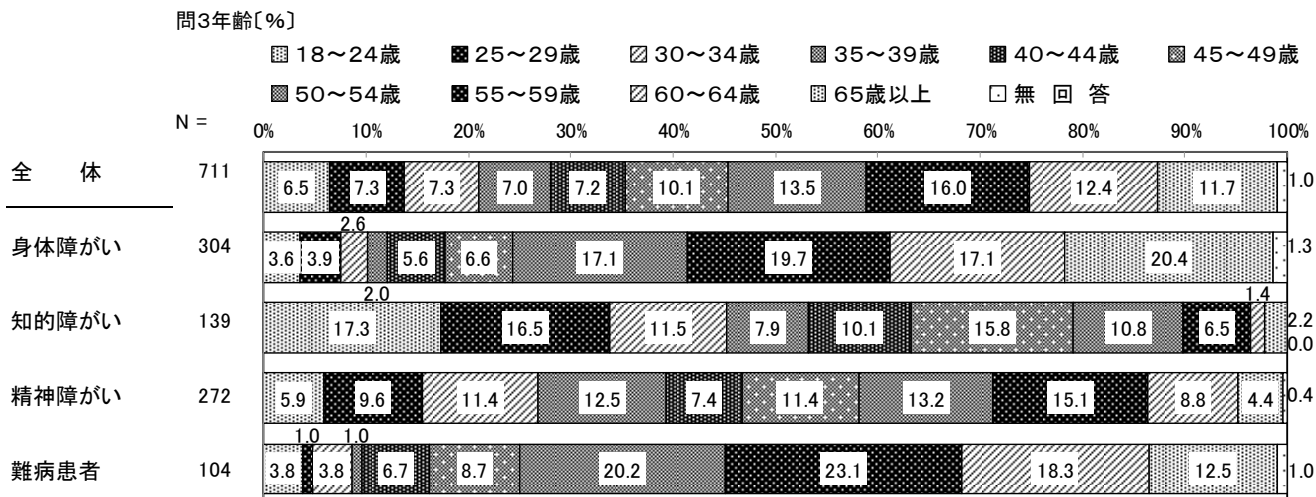
全体では「男性」が50.1%、「女性」が48.8%である。  
障がい種別では、知的障がいでは「男性」が61.9%と多い。



問3 年齢をご回答ください。

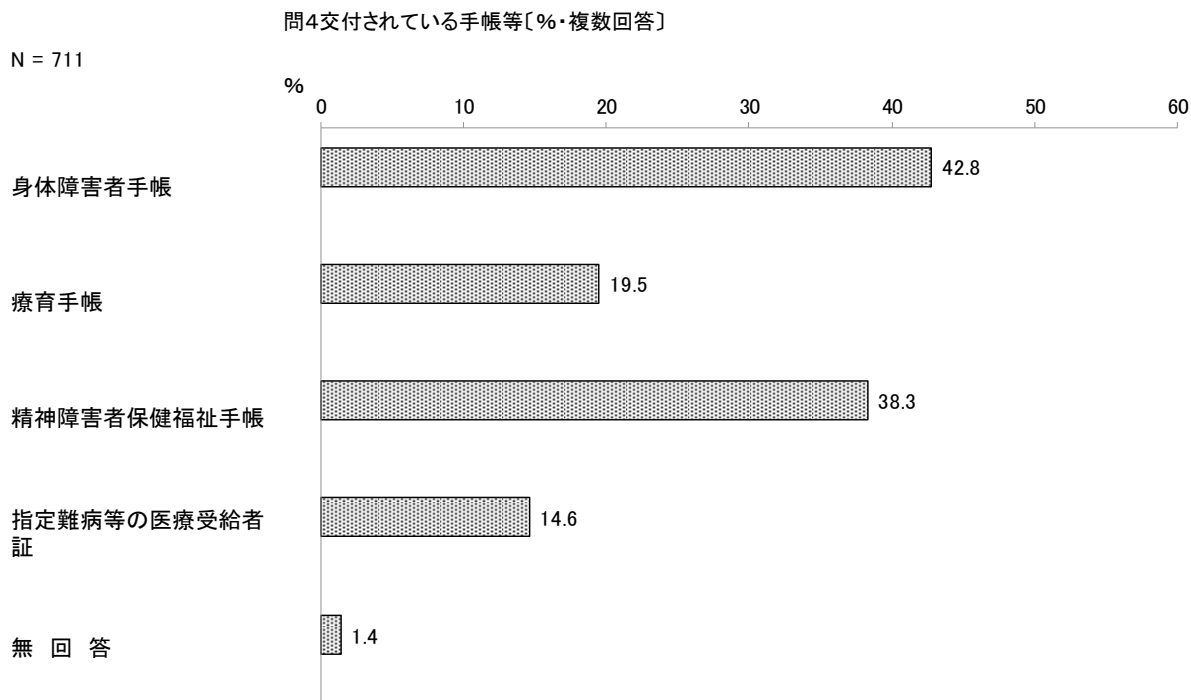
全体では「55～59歳」が16.0%、「50～54歳」が13.5%、「60～64歳」が12.4%、「65歳以上」が11.7%「45～49歳」が10.1%となっている。

障がい種別では、身体障がいと難病患者で50歳以上が75%程度、精神障がいで「55～59歳」が15.1%、「50～54歳」が13.2%、知的障がいは、50歳未満が79.1%と多い。



問4 交付されている手帳等をご回答ください。

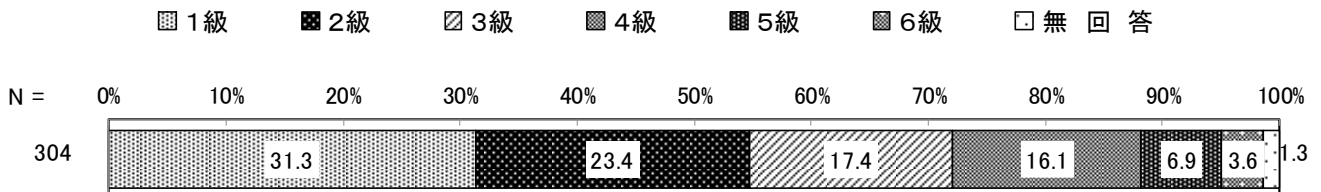
「身体障害者手帳」が42.8%（前回26.5%）、「精神障害者保健福祉手帳」が38.3%、「療育手帳」が19.5%「指定難病等の医療受給者証」が14.6%で、前回調査より「身体障害者手帳」が16.3ポイント高い。



問4-1 (身体障害者手帳を交付されている方) 身体障害者手帳の等級をご回答ください。

「1級」が31.3%、「2級」が23.4%、「3級」が17.4%、「4級」が16.1%である。

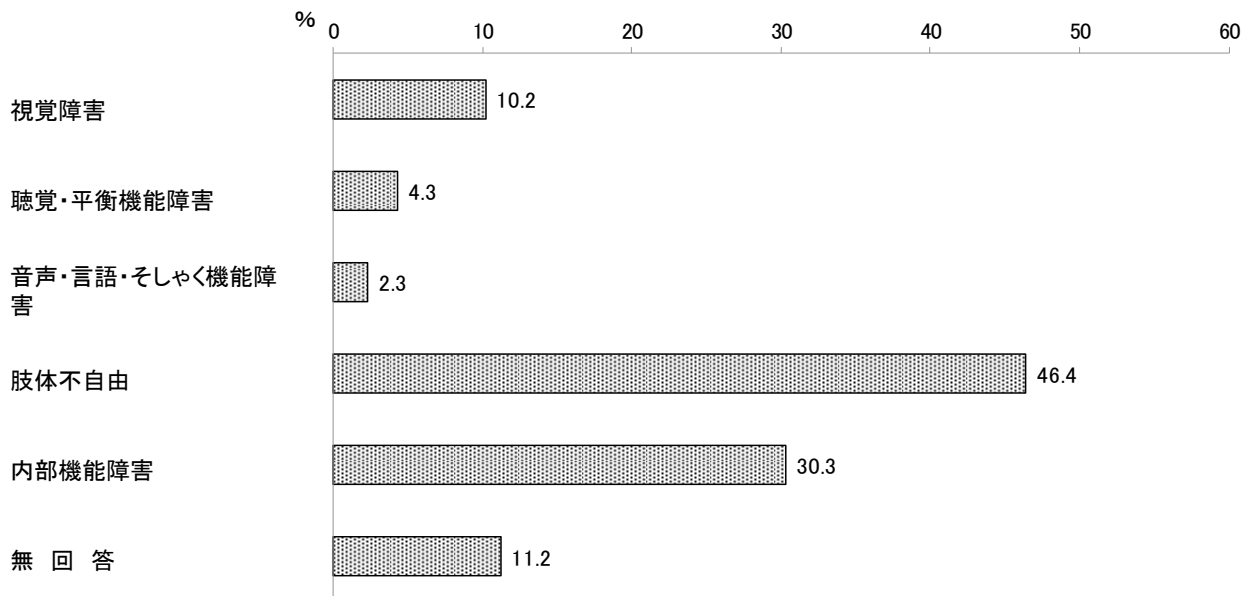
問4-1 身体障害者手帳の等級[%]



問4-2 (身体障害者手帳を交付されている方) 障害者手帳に記載されている障がいは何ですか。

「肢体不自由」が46.4%と多く、「内部機能障害」が30.3%、「視覚障害」が10.2%、「聴覚・平衡機能障害」が4.3%、「音声・言語・そしゃく機能障害」が2.3%である。

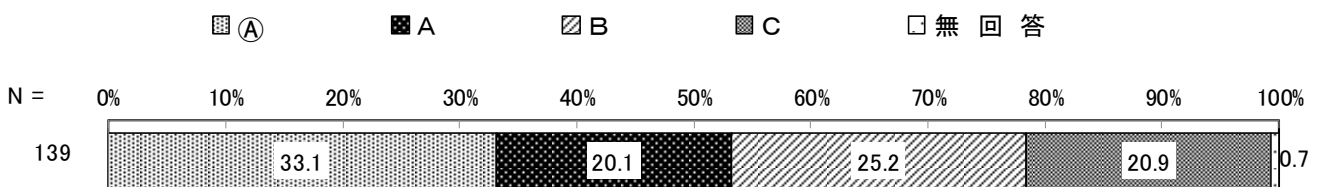
問4-2 障害種類[%・複数回答]  
N = 304



問4-3 (療育手帳を交付されている方) 療育手帳の程度をご回答ください。

「A」が33.1%と多く、「B」が25.2%、「C」が20.9%、「A」が20.1%である。

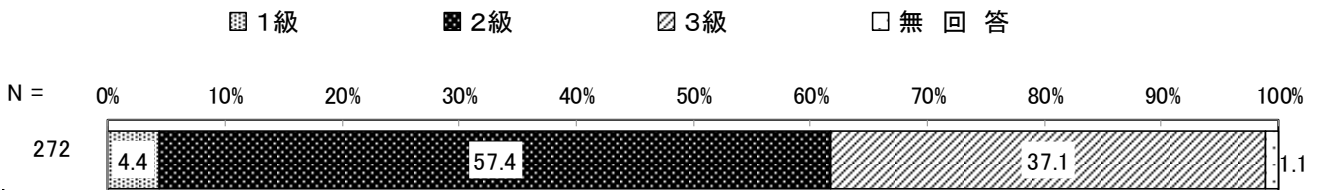
問4-3 療育手帳の程度[%]



問4-4 (精神障害者保健福祉手帳を交付されている方)精神障害者保健福祉手帳の等級をご回答ください。

「2級」が57.4%と多く、「3級」が37.1%、「1級」が4.4%である。

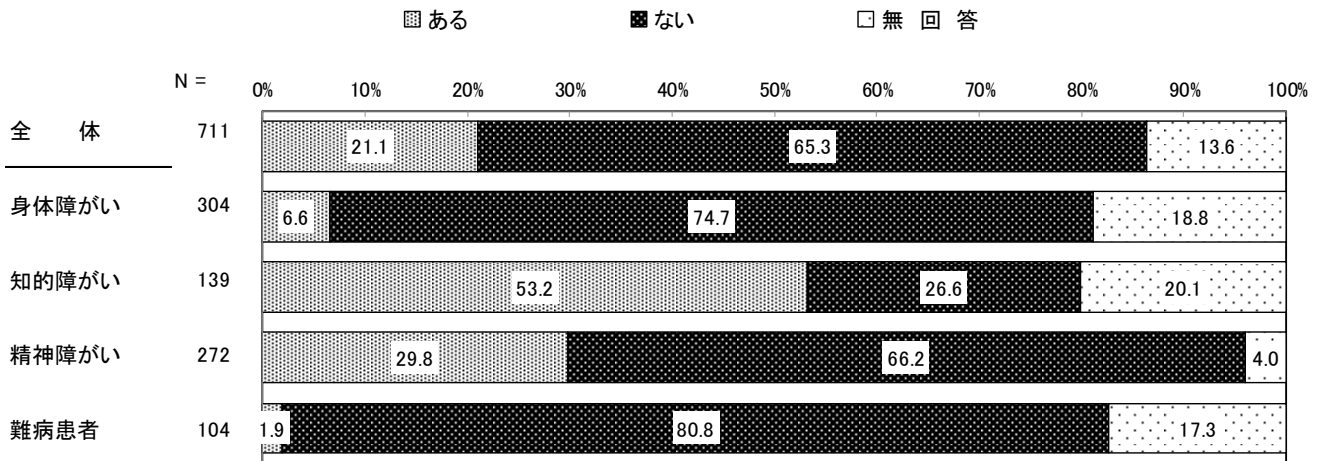
問4-4精神障害者保健福祉手帳の等級[%]



問5 専門機関や医療機関で発達障害と診断されたことはありますか。

全体では「ない」が65.3%と多く、「ある」は21.1%である。  
障がい種別では、知的障がいでは「ある」が53.2%となっている。

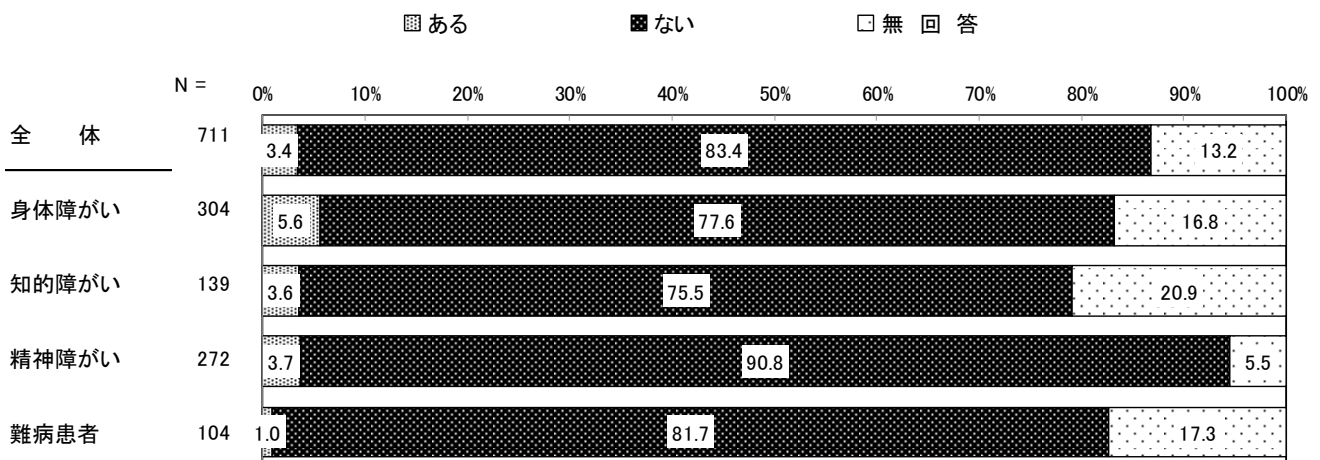
問5発達障害の診断[%]



問6 専門機関や医療機関で高次脳機能障害と診断されたことはありますか。

全体では、「ない」が83.4%と多数を占め、「ある」は3.4%である。

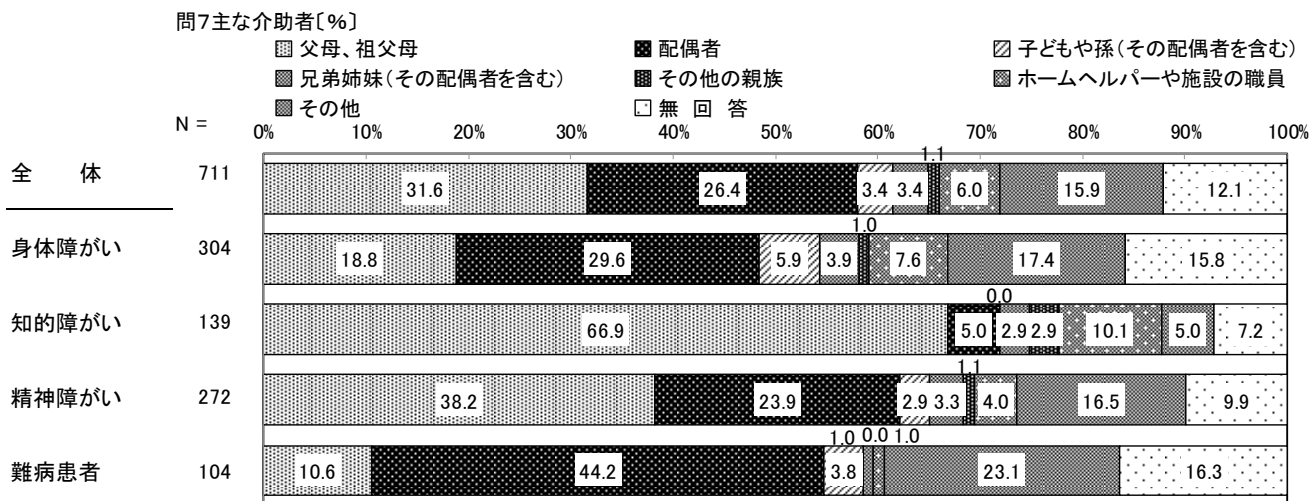
問6高次脳機能障害の診断[%]



問7 主な介助者はどなたですか。

全体では、「父母、祖父母」が31.6%、（前回42.2%）、「配偶者」が26.4%、「ホームヘルパーや施設の職員」が6.0%となっており、前回調査より「父母、祖父母」が10.6ポイント低い。

障がい種別では、知的障がいで「父母、祖父母」が66.9%、難病患者で「配偶者」が44.2%と多い。



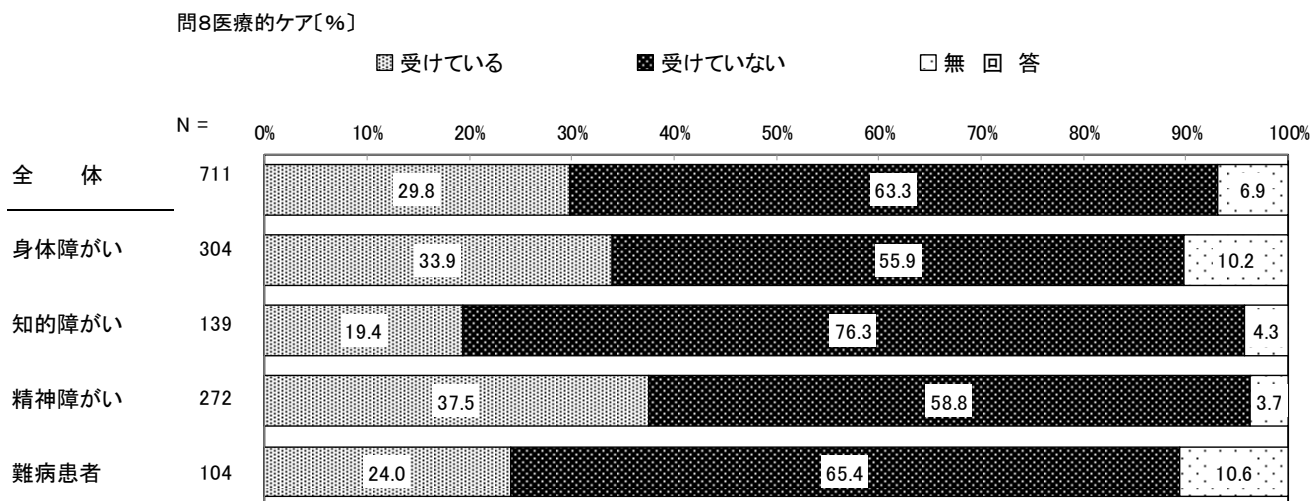
(その他: パートナー、友人、同居人、介助不要等)

問8 現在、医療的ケアを受けていますか。

全体では、「受けていない」が63.3%と多く、「受けている」は29.8%（前回「受けている」14.9%、「以前受けたことがある」1.6%）で、前回調査より「受けている」が10ポイント以上高い。

障がい種別では、「受けている」は精神障がいで37.5%（前回22.7%）、身体障がいで33.9%（前回20.0%）、難病患者で24.0%（前回9.2%）、知的障がいで19.4%（前回3.9%）と前回調査より10ポイント以上高い。

身体障害者手帳1級交付者で、「受けている」が47.4%回答されている。

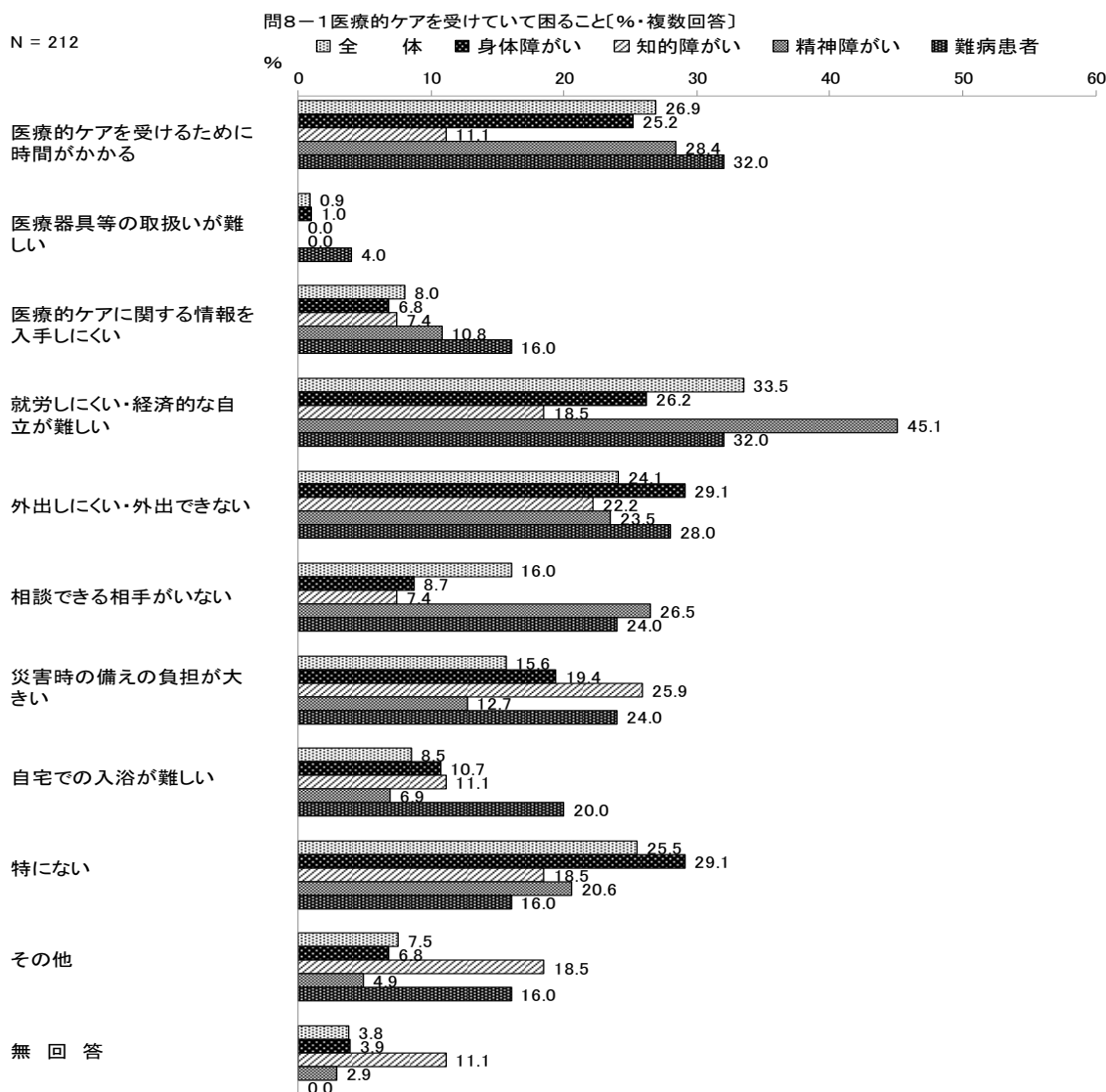


		問8医療的ケア[%]			
		受けている	受けていない	無回答	
全	体	304	103	170	31
		100.0	33.9	55.9	10.2
問 4 — 1 級 身 体 障 害 者 手 帳 の 等	1級	95	45	41	9
		100.0	47.4	43.2	9.5
	2級	71	24	40	7
		100.0	33.8	56.3	9.9
	3級	53	12	34	7
		100.0	22.6	64.2	13.2
	4級	49	9	34	6
		100.0	18.4	69.4	12.2
5級	21	7	13	1	
	100.0	33.3	61.9	4.8	
6級	11	4	6	1	
	100.0	36.4	54.5	9.1	
無回答	4	2	2	-	
	100.0	50.0	50.0	-	

問8-1(問8で「受けている」と回答した方)医療的ケアを受けていて困っていることは何ですか。

全体では、「就労しにくい・経済的な自立が難しい」が 33.5%、「医療的ケアを受けるために時間がかかる」が 26.9%、「特にない」が 25.5%、「外出しにくい・外出できない」が 24.1%、「相談できる相手がいない」が 16.0%、「災害時への備えの負担が大きい」が 15.6%「医療的ケアに関する情報を入手しにくい」が 8.0%である。

障がい種別では、精神障がい者で「就労しにくい・経済的な自立が難しい」が 45.1%、知的障がい者で「災害時への備えの負担が大きい」が 25.9%となっている。

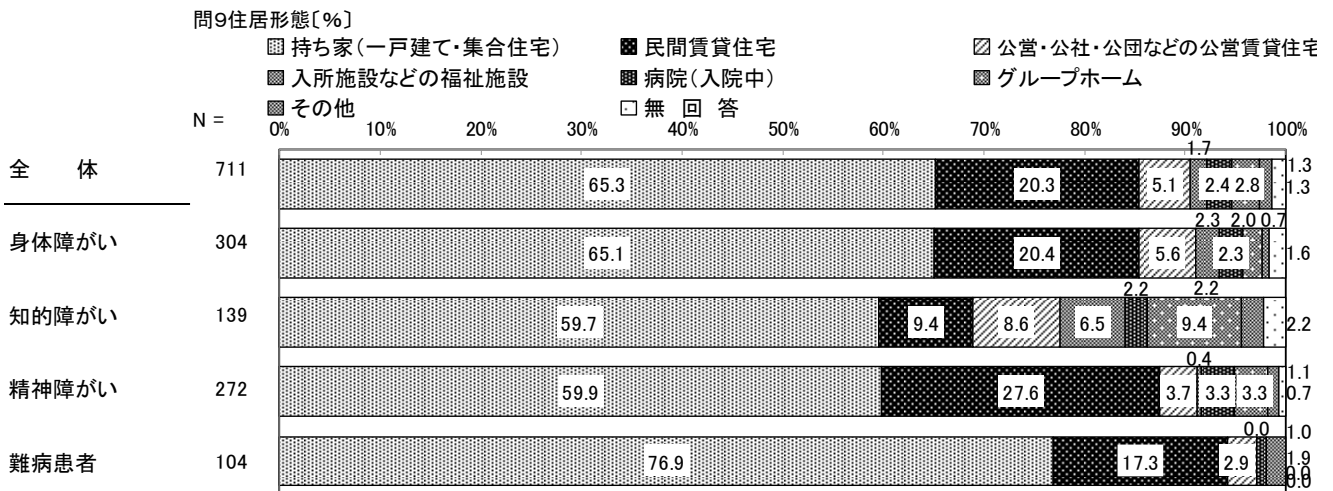


## 2 日中の過ごし方

問9 現在の住居をご回答ください。

全体では「持ち家（一戸建て・集合住宅）」が 65.3%と多く、「民間賃貸住宅」が 20.3%である。

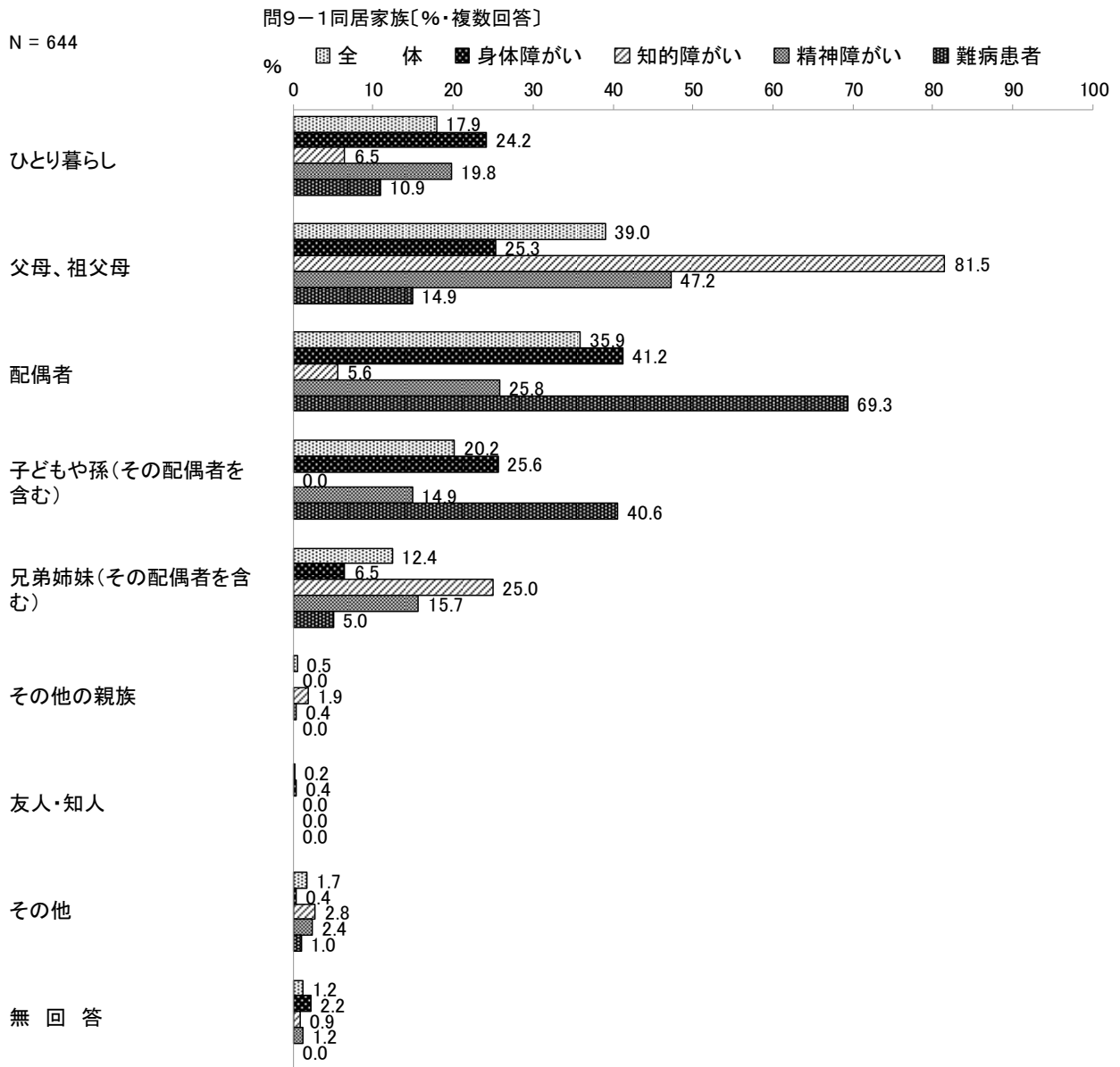
障がい種別では、精神障がいでは「民間賃貸住宅」が 27.6%となっている。



問9-1（問9で「持ち家」「民間賃貸住宅」「公営・公社・公団などの公営賃貸住宅」と回答した方）一緒に暮らしているのはどなたですか。

全体では「父母、祖父母」が 39.0%（前回 53.0%）と多く、「配偶者」が 35.9%、「子どもや孫（その配偶者を含む）」が 20.2%、「ひとり暮らし」が 17.9%、「兄弟姉妹（その配偶者含む）」が 12.4%で、前回調査より「父母、祖父母」が 14 ポイント低い。

障がい種別では、知的障がいでは「父母、祖父母」が 81.5%、「兄弟姉妹（その配偶者含む）」が 25.0%、難病患者で「配偶者」が 69.3%と多い。

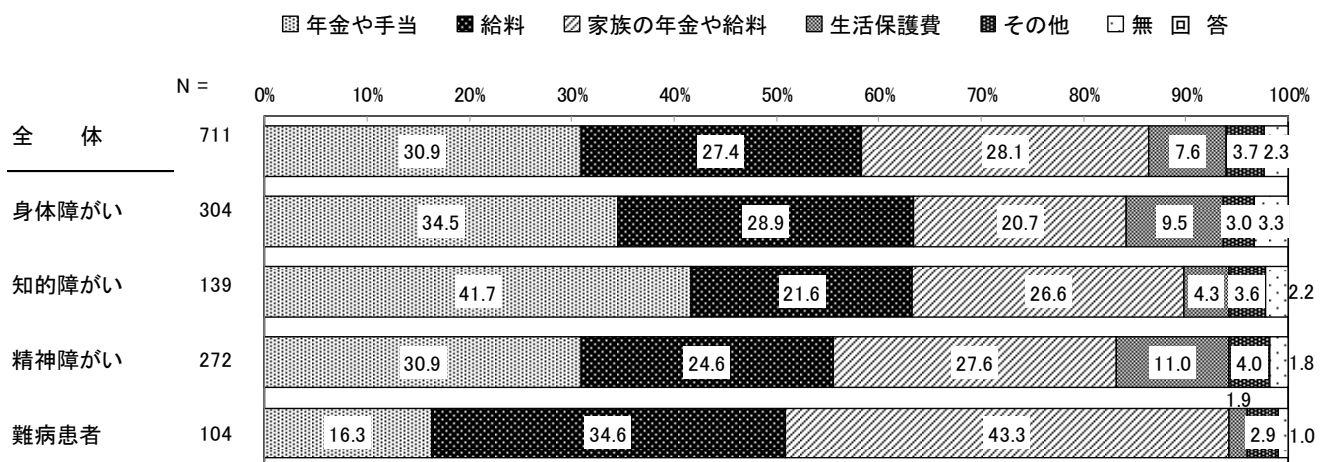


問10 主な収入は何ですか。

全体では「年金や手当」が30.9%、「家族の年金や給料」が28.1%、「給料」が27.4%である。

障がい種別では、知的障がいで「年金や手当」が41.7%、難病患者で「家族の年金や給料」が43.3%と多い。

問10主な収入[%]

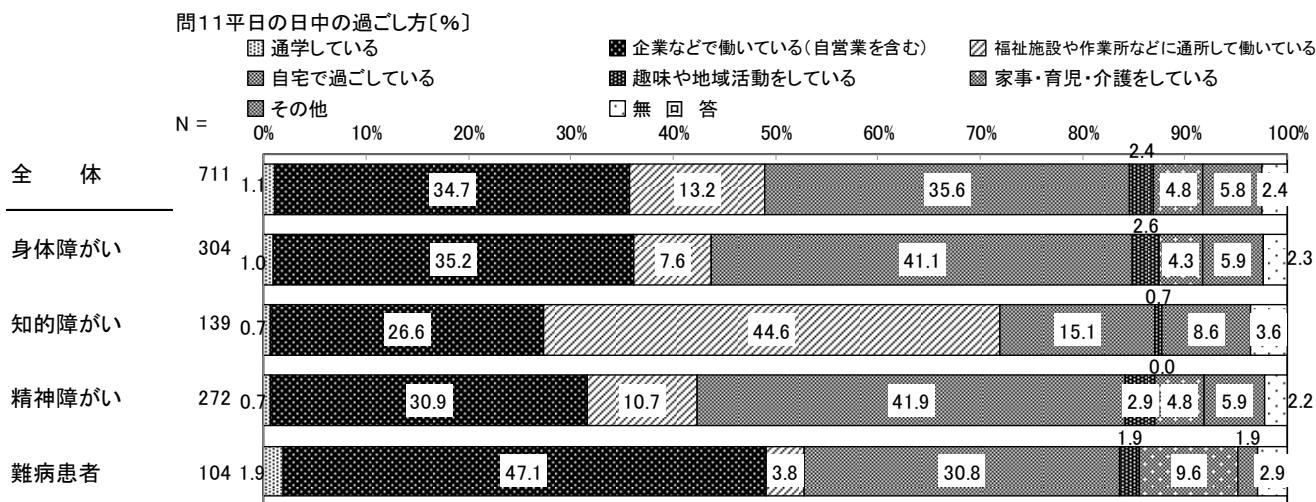


問 11 平日の日中の主な過ごし方をご回答ください。

全体では「自宅ですごしている」が 35.6%、「企業等で働いている（自営業を含む）」が 34.7%と多く、「福祉施設や作業所などに通所して働いている」が 13.2%である。

障がい種別では、知的障がいで「福祉施設や作業所などに通所して働いている」が 44.6%と多い。精神障がいでは「自宅ですごしている」が 41.9%とやや多く、精神障害者保健福祉手帳2級交付者は 49.4%である。「企業などで働いている（自営業を含む）」は、精神障害者保健福祉手帳3級交付者で 43.6%である。

年齢別では、「自宅ですごしている」は65歳以上で66.3%と多く、40～64歳は36.3%、18～39歳は 20.5%で、18～39歳は「福祉施設や作業所などに通所して働いている」が 27.0%回答されている。



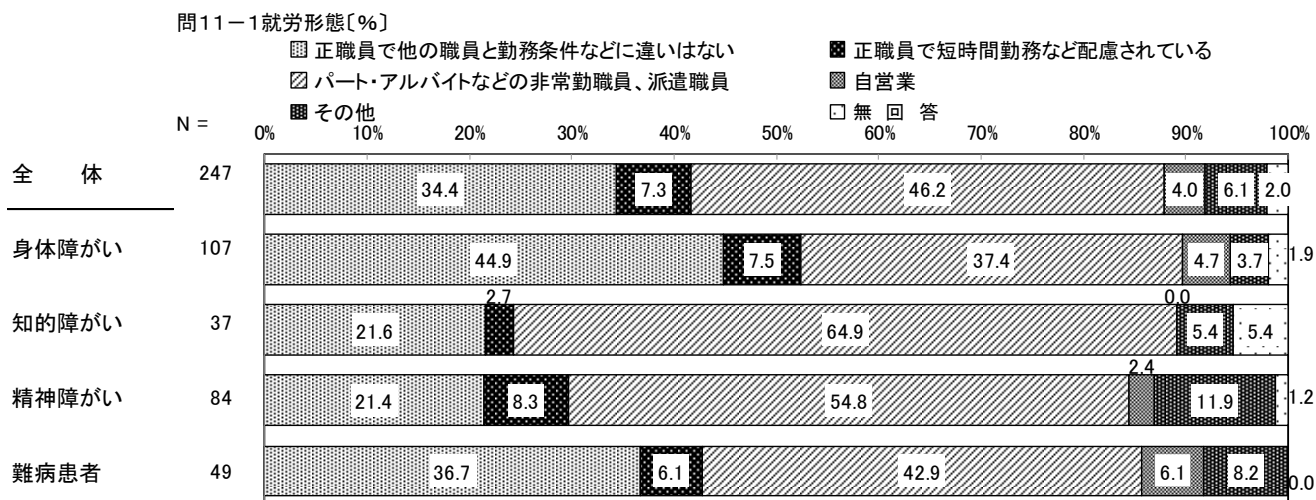
		問11平日の日中の過ごし方[%]								
		通学している	企業などで働いている(自営業を含む)	福祉施設や作業所などに通所して働いている	自宅ですごしている	趣味や地域活動をしている	家事・育児・介護をしている	その他	無回答	
全体		272	2	84	29	114	8	13	16	6
		100.0	0.7	30.9	10.7	41.9	2.9	4.8	5.9	2.2
帳簿問 の者 等保 級健 福精 社神 手障	1級	12	-	1	1	4	1	-	3	2
		100.0	-	8.3	8.3	33.3	8.3	-	25.0	16.7
	2級	156	1	39	21	77	3	5	6	4
		100.0	0.6	25.0	13.5	49.4	1.9	3.2	3.8	2.6
3級	101	1	44	7	30	4	8	7	-	
	100.0	1.0	43.6	6.9	29.7	4.0	7.9	6.9	-	
無回答	3	-	-	-	3	-	-	-	-	
	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-	

		問11平日の日中の過ごし方[%]								
		通学している	企業などで働いている(自営業を含む)	福祉施設や作業所などに通所して働いている	自宅ですごしている	趣味や地域活動をしている	家事・育児・介護をしている	その他	無回答	
全体		711	8	247	94	253	17	34	41	17
		100.0	1.1	34.7	13.2	35.6	2.4	4.8	5.8	2.4
問3 年齢	18～39歳	200	7	70	54	41	2	8	17	1
		100.0	3.5	35.0	27.0	20.5	1.0	4.0	8.5	0.5
	40～64歳	421	1	163	39	153	10	23	20	12
		100.0	0.2	38.7	9.3	36.3	2.4	5.5	4.8	2.9
	65歳以上	83	-	13	1	55	5	3	4	2
	100.0	-	15.7	1.2	66.3	6.0	3.6	4.8	2.4	
無回答	7	-	1	-	4	-	-	-	2	
	100.0	-	14.3	-	57.1	-	-	-	28.6	

問 11-1 (問 11 で「企業などで働いている(自営業を含む)」と回答した方) 就労形態は何ですか。

全体では「パート・アルバイトなどの非常勤職員、派遣職員」が 46.2%と多く、「正職員で他の職員と勤務条件などに違いはない」が 34.4%、「正職員で短時間勤務など配慮されている」が 7.3%である。

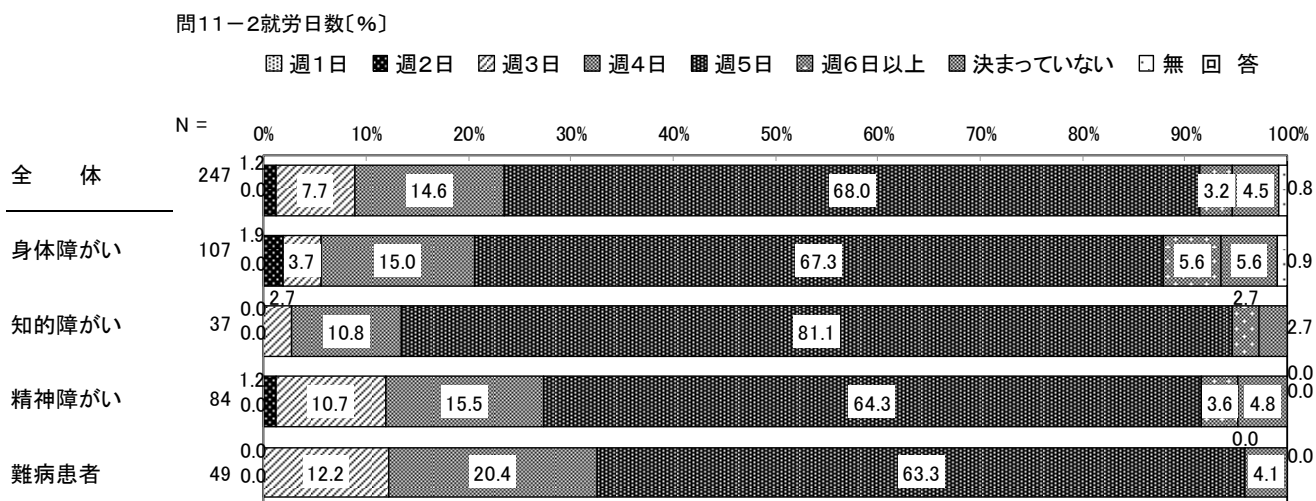
障がい種別では、身体障がいでは「正職員で他の職員と勤務条件などに違いはない」が 44.9%と多く、知的障がいと精神障がいは「パート・アルバイトなどの非常勤職員、派遣職員」がそれぞれ 64.9%、54.8%となっている。



問 11-2 (問 11 で「企業などで働いている(自営業を含む)」と回答した方) 1週間に何日働いていますか。

全体では「週5日」が 68.0%、「週4日」が 14.6%、「週3日」が 7.7%、「週6日以上」が 3.2%である。

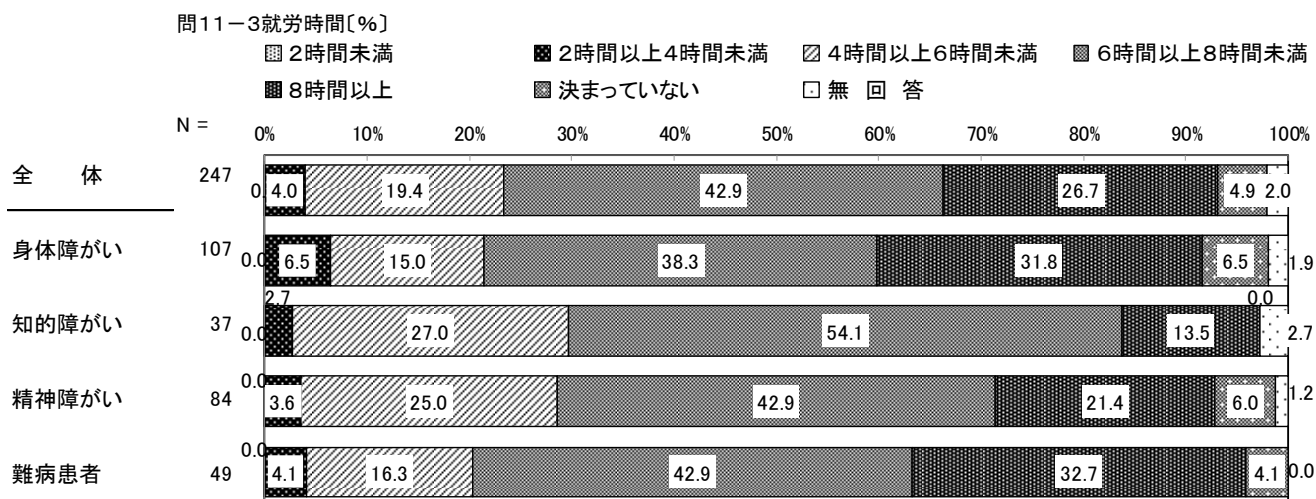
障がい種別では、知的障がいで「週5日」が 81.1%と多い。



11-3 (問 11 で「企業などで働いている(自営業を含む)」と回答した方) 1日に何時間働いていますか。

全体では、「6時間以上8時間未満」が 42.9%、「8時間以上」が 26.7%、「4時間以上6時間未満」が 19.4%、「2時間以上4時間未満」が 4.0%である。

障がい種別では、知的障がいでは「6時間以上8時間未満」が 54.1%と多い。



問 11-4 (問 11 で「企業などで働いている(自営業を含む)」と回答した方) 仕事をする上で困っていることはありますか。

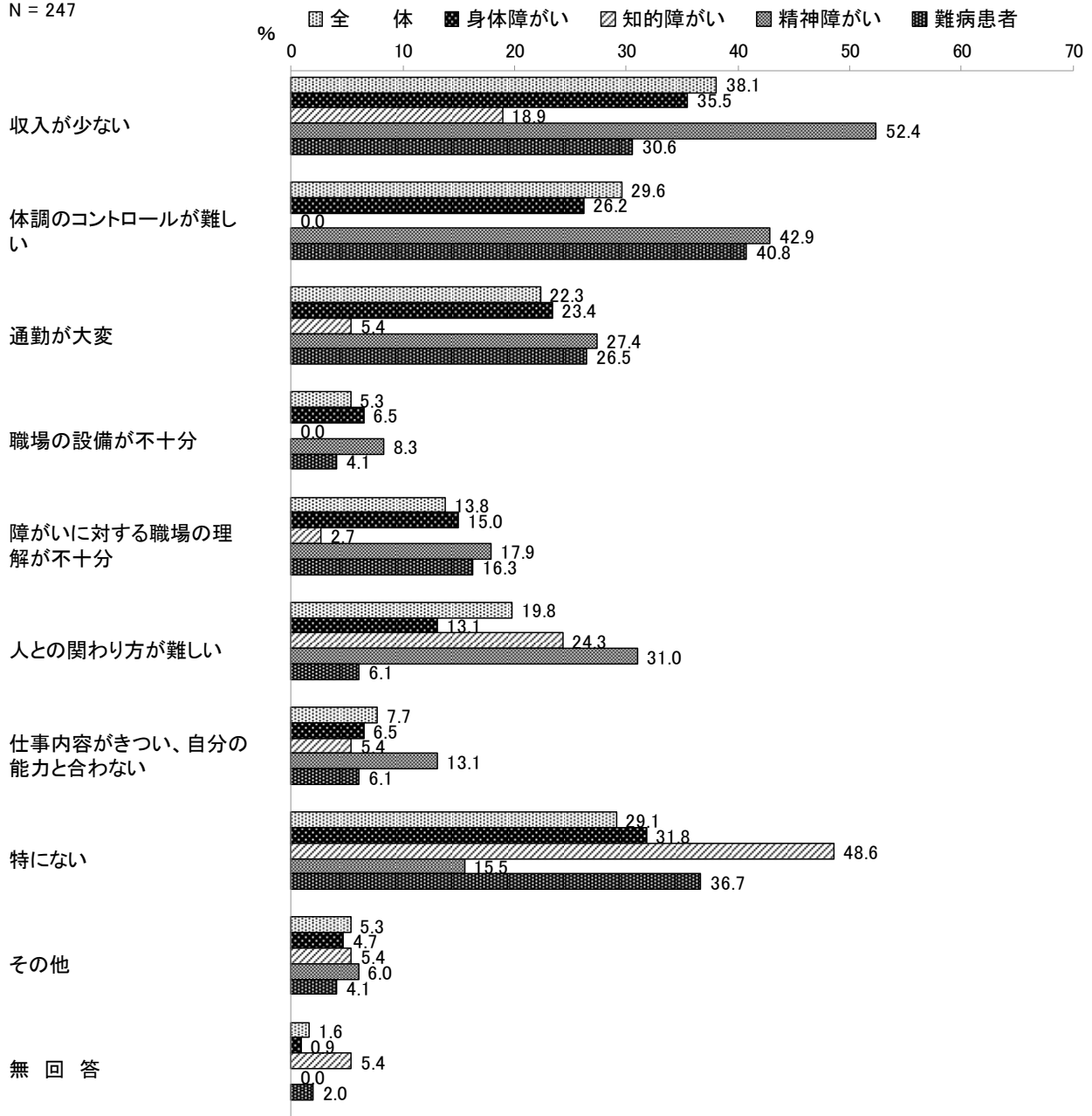
全体では、「収入が少ない」が 38.1%、「体調のコントロールが難しい」が 29.6%、「特にない」が 29.1%、「通勤が大変」が 22.3%、「人との関わり方が難しい」が 19.8%である。

障がい種別では、精神障がいでは「収入が少ない」が 52.4%、「体調のコントロールが難しい」が 42.9%、「人との関わり方が難しい」が 31.0%回答されている。

精神障害者保健福祉手帳2級交付者で、「体調のコントロールが難しい」が 51.3%、「人との関わり方が難しい」が 41.0%回答されている。

N = 247

問11-4仕事をしていて困ること[%・複数回答]



第1章  
第2章 障がい者調査  
第3章  
第4章

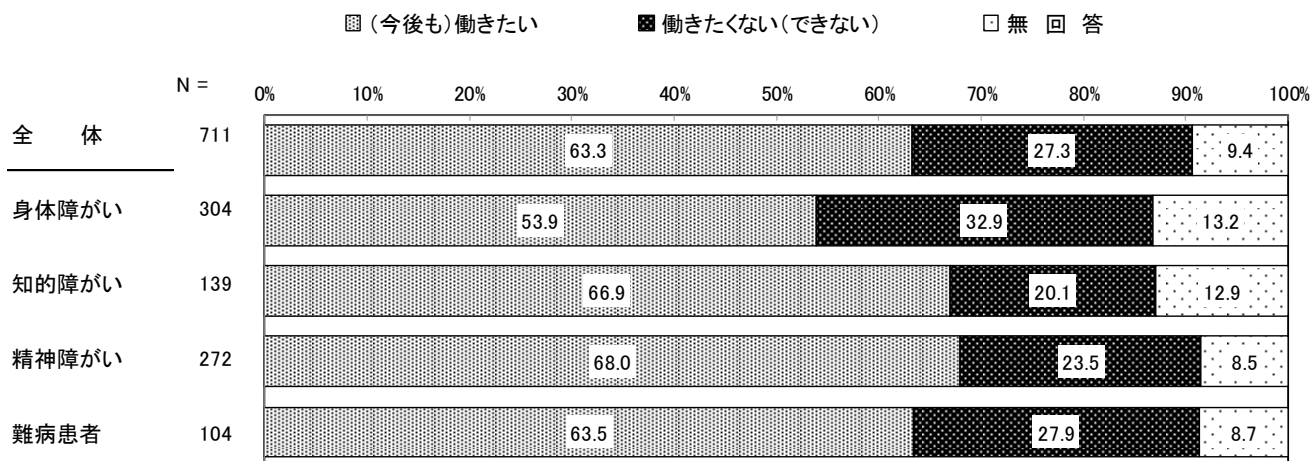
		問11-4仕事をしていて困ること[%・複数回答]									
		収入が少 ない	体調のコン トロール が難しい	通勤が大 変	職場の設 備が不十 分	障がいに対す る職場の理 解が不十分	人との関 わり方が 難しい	仕事内容がき つい、自分 の能力と合わ ない	特になし	その他	無回答
全	体	84	44	36	23	7	15	26	11	13	5
		100.0	52.4	42.9	27.4	8.3	17.9	31.0	13.1	15.5	6.0
帳 害 問 の 者 4	1級	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-
		100.0	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
等 保 健 者 4	2級	39	19	20	11	3	9	16	7	5	4
		100.0	48.7	51.3	28.2	7.7	23.1	41.0	17.9	12.8	10.3
福 精 神 障 害 者 4	3級	44	25	16	12	4	6	10	4	7	1
		100.0	56.8	36.4	27.3	9.1	13.6	22.7	9.1	15.9	2.3
[% 社 手 障 害 者 4]	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問 12 今後、働きたいですか。現在働いている方は今後も働きたいですか。

全体では、「(今後も)働きたい」が 63.3%、「働きたくない(できない)」が 27.3% (前回 17.1%) で、前回調査より「働きたくない(できない)」が 10.2 ポイント高い。

障がい種別では、身体障がい「働きたくない(できない)」が 32.9% (前回 19.2%) と前回調査より 13.7 ポイント高い。

問12就労意向[%]

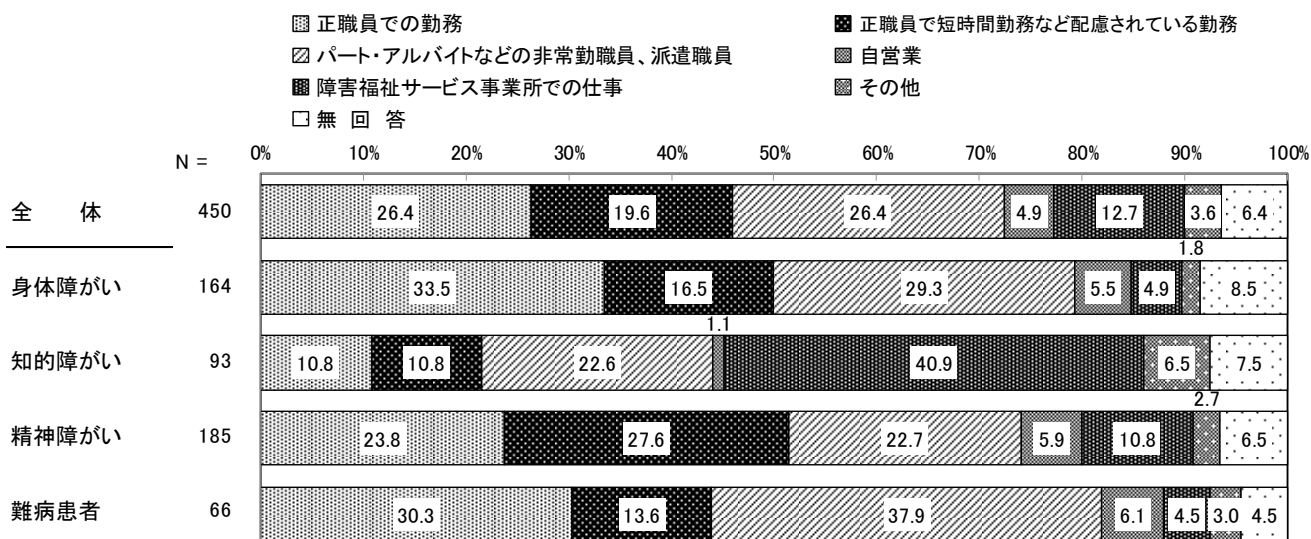


問 12-1 (問 12 で「(今後も)働きたい」と回答した方) 希望する就労形態は何ですか。

全体では、「正職員での勤務」と「パート・アルバイトなどの非常勤職員、派遣職員」がともに 26.4%と多く、「正職員で短時間勤務など配慮されている勤務」が 19.6%、「障害福祉サービス事業所での仕事」が 12.7%である。

障がい種別では、知的障がい「障害福祉サービス事業所での仕事」が 40.9%、難病患者は「パート・アルバイトなどの非常勤職員、派遣職員」が 37.9% (前回 26.2%) で、前回調査より 11.7 ポイント高い。

問12-1希望する就労形態[%]

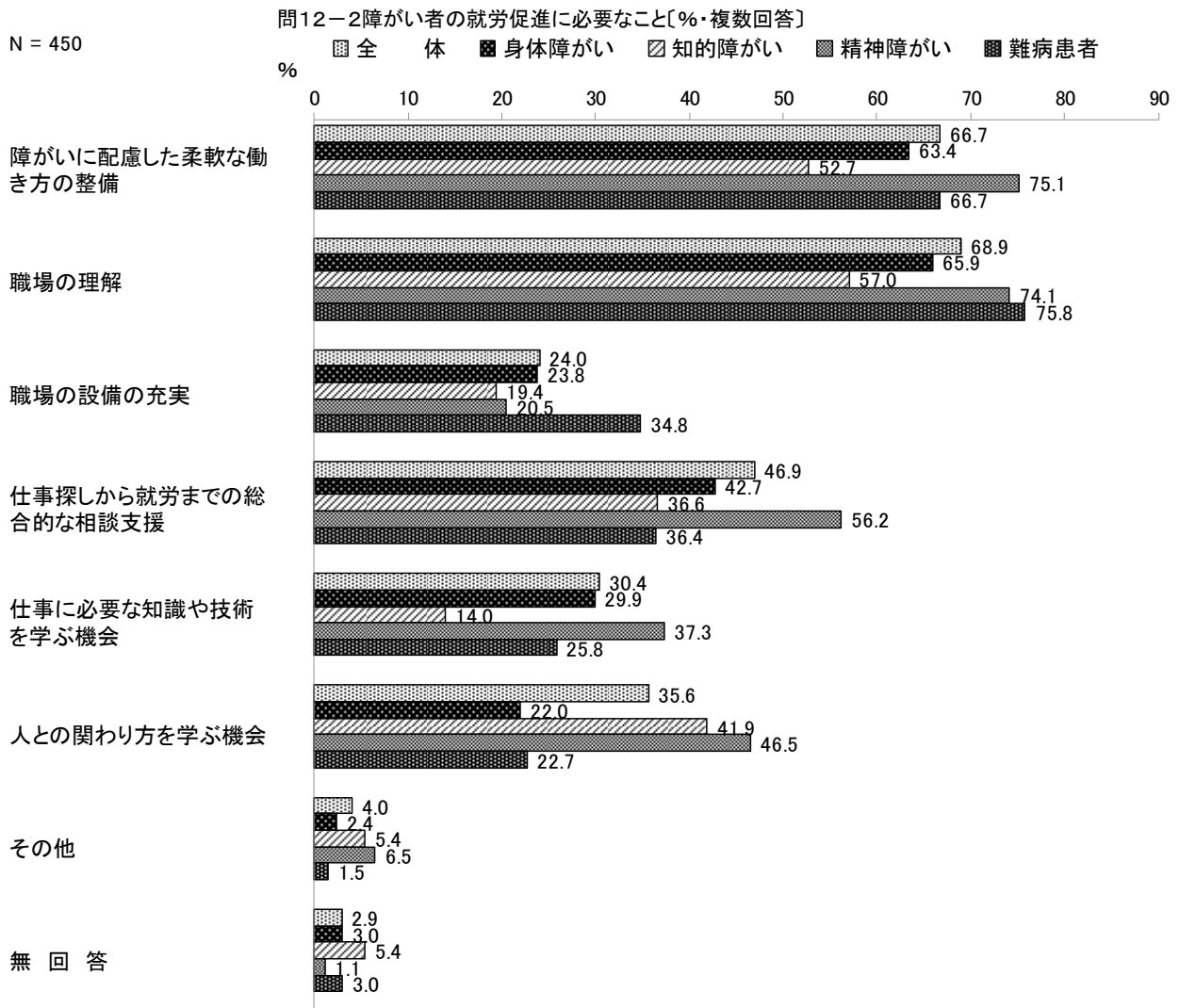


(その他: 自宅できる仕事等)

問 12-2 (問 12 で「(今後も)働きたい」と回答した方)障がいのある人の就労を促進するために、何が必要だと思いますか。

全体では、「職場の理解」が 68.9%、「障がいに配慮した柔軟な働き方の整備」が 66.7%と多く、「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」が 46.9%、「人との関わり方を学ぶ機会」が 35.6%である。

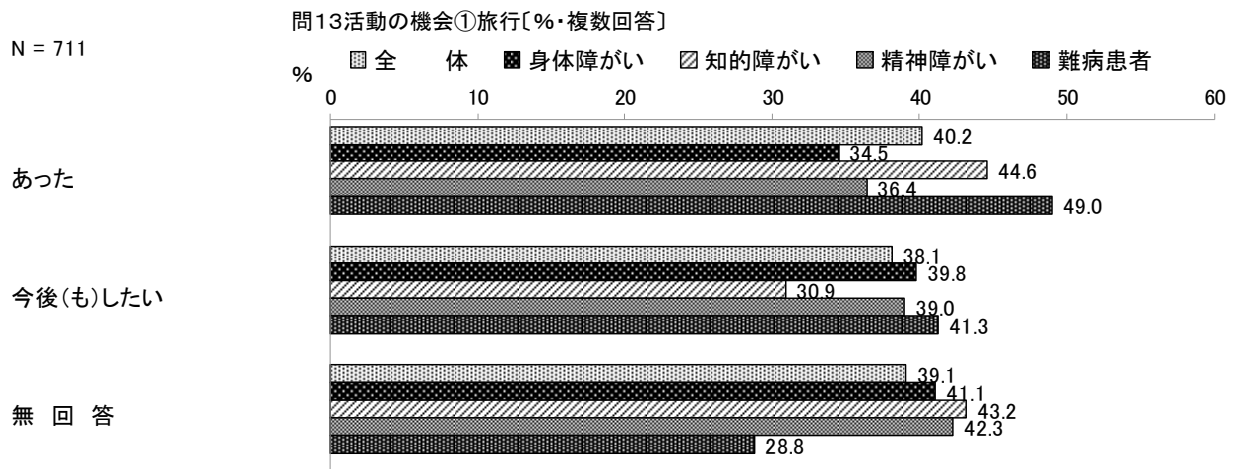
障がい種別では、精神障がいで「障がいに配慮した柔軟な働き方の整備」が 75.1%、「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」が 56.2%、「人との関わり方を学ぶ機会」が 46.5%となっている。



問 13 この1年の間で次の活動をする機会がありましたか。また、今後してみたいですか。したことがあった方は今後もしたいですか。

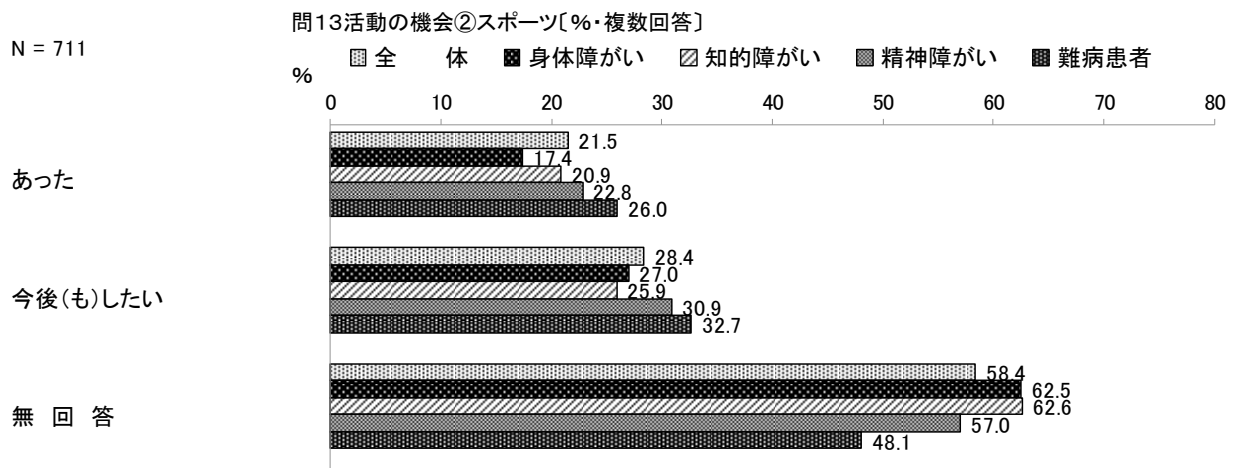
①旅行に出かける

全体では、「あった」が40.2%、「今後（も）したい」が38.1%である。



②スポーツをする

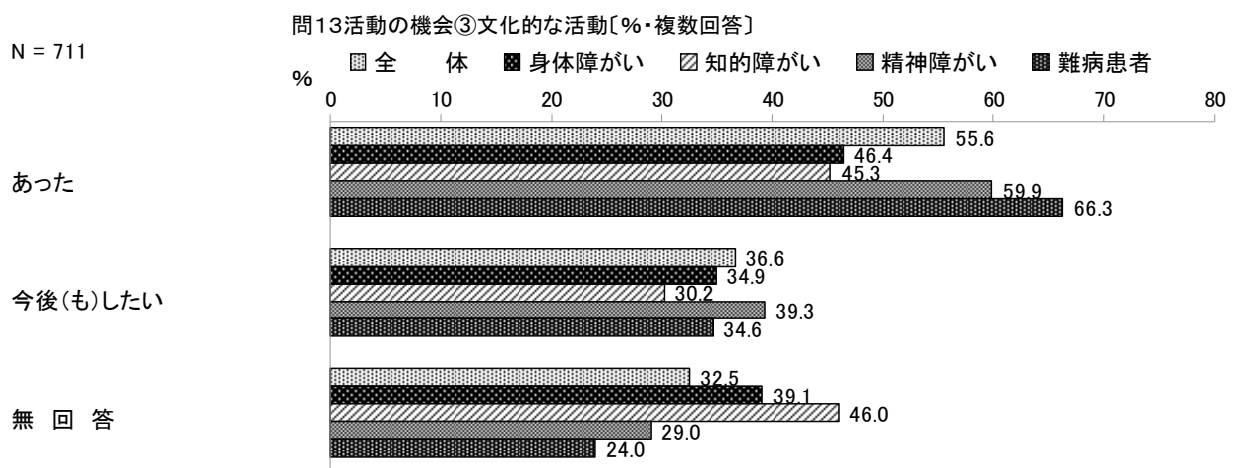
全体では、「あった」が21.5%、「今後（も）したい」が28.4%である。



③文化的な活動をする(映画鑑賞、音楽鑑賞、読書、ゲーム)

全体では、「あった」が55.6%、「今後（も）したい」が36.6%である。

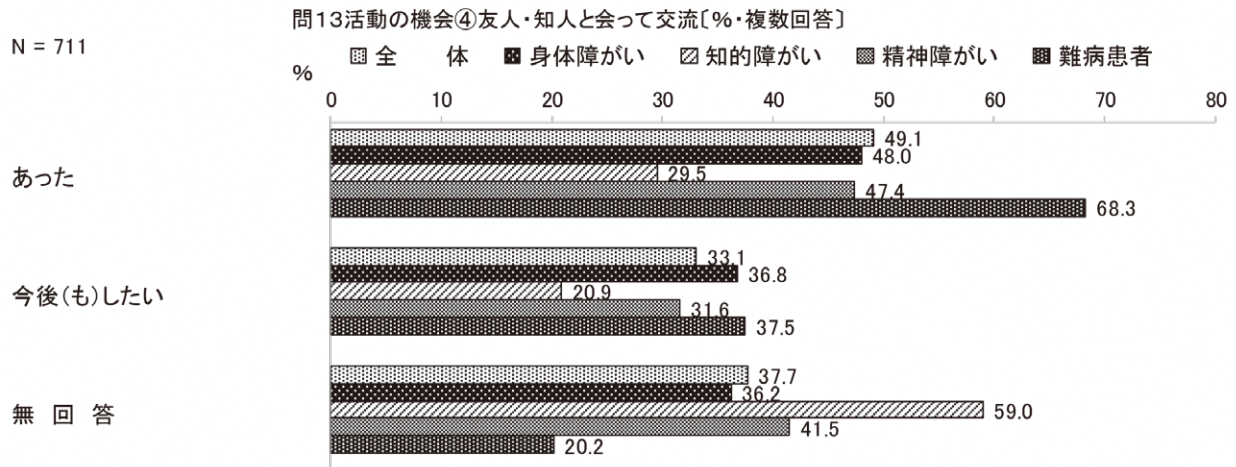
障がい種別では、難病患者で「あった」が66.3%と多くなっている。



#### ④友人・知人と会って交流を深める

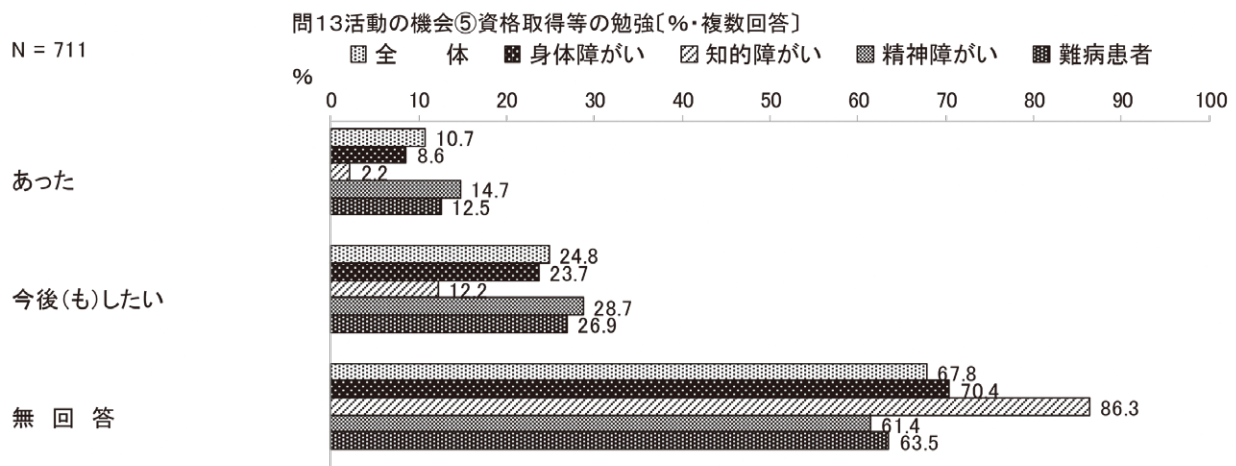
全体では、「あった」が49.1%、「今後（も）したい」が33.1%である。

障がい種別では、知的障がい「あった」が29.5%と、「今後（も）したい」が20.9%と少なく、難病患者は「あった」が68.3%と多い。



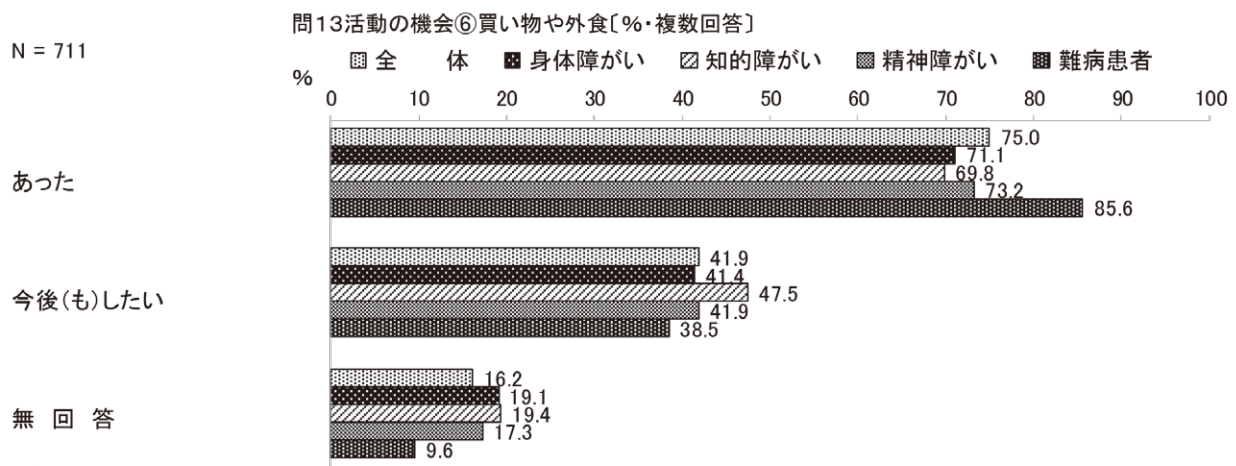
#### ⑤資格取得等の勉強をする

全体では、「あった」が10.7%、「今後（も）したい」が24.8%である。



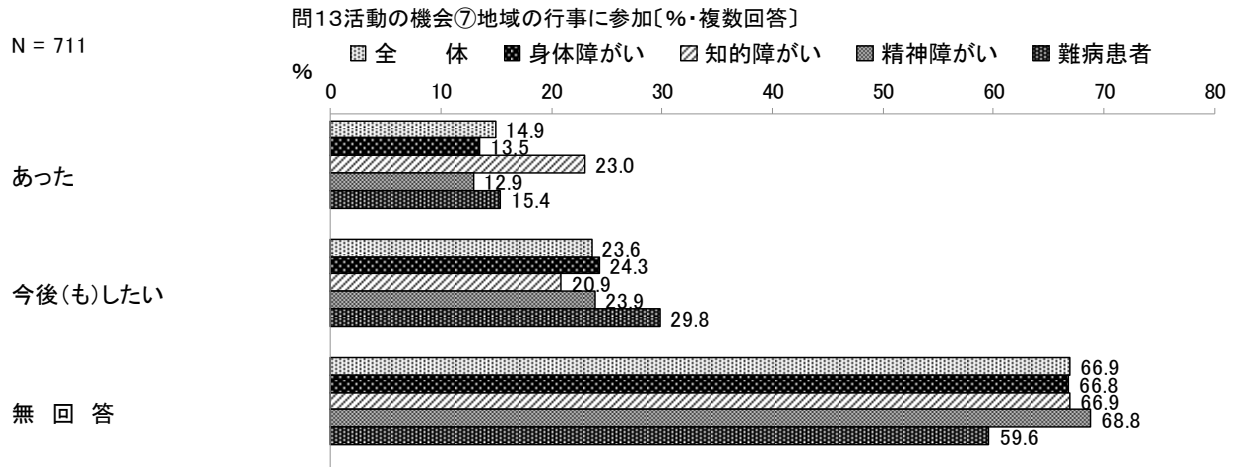
#### ⑥買い物や外食に行く

全体では、「あった」が75.0%、「今後（も）したい」が41.9%である。



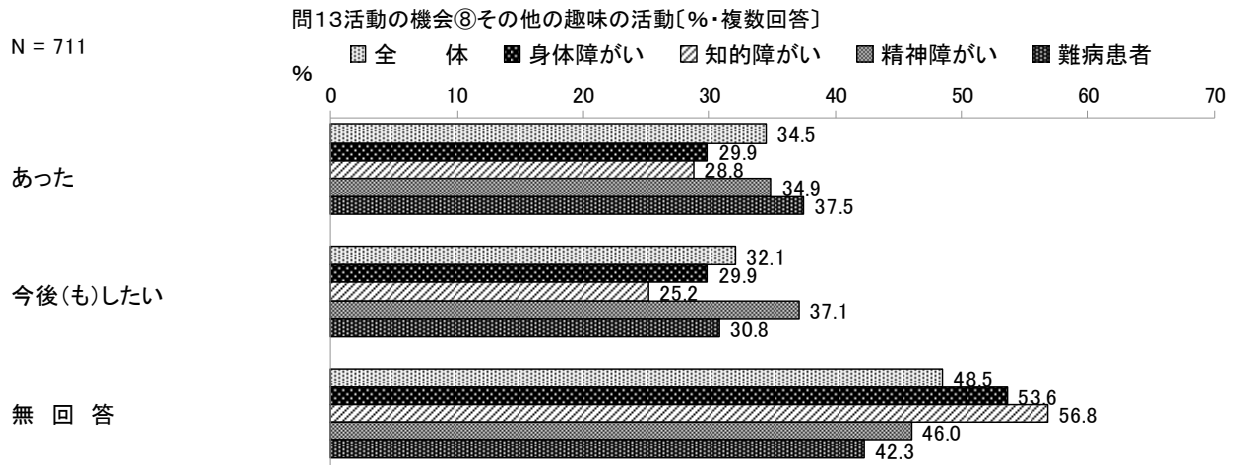
### ⑦地域の行事に参加する

全体では、「あった」が14.9%、「今後（も）したい」が23.6%である。  
障がい種別では、知的障がい「あった」が%と23.0%と多い。



### ⑧その他の趣味の活動をする

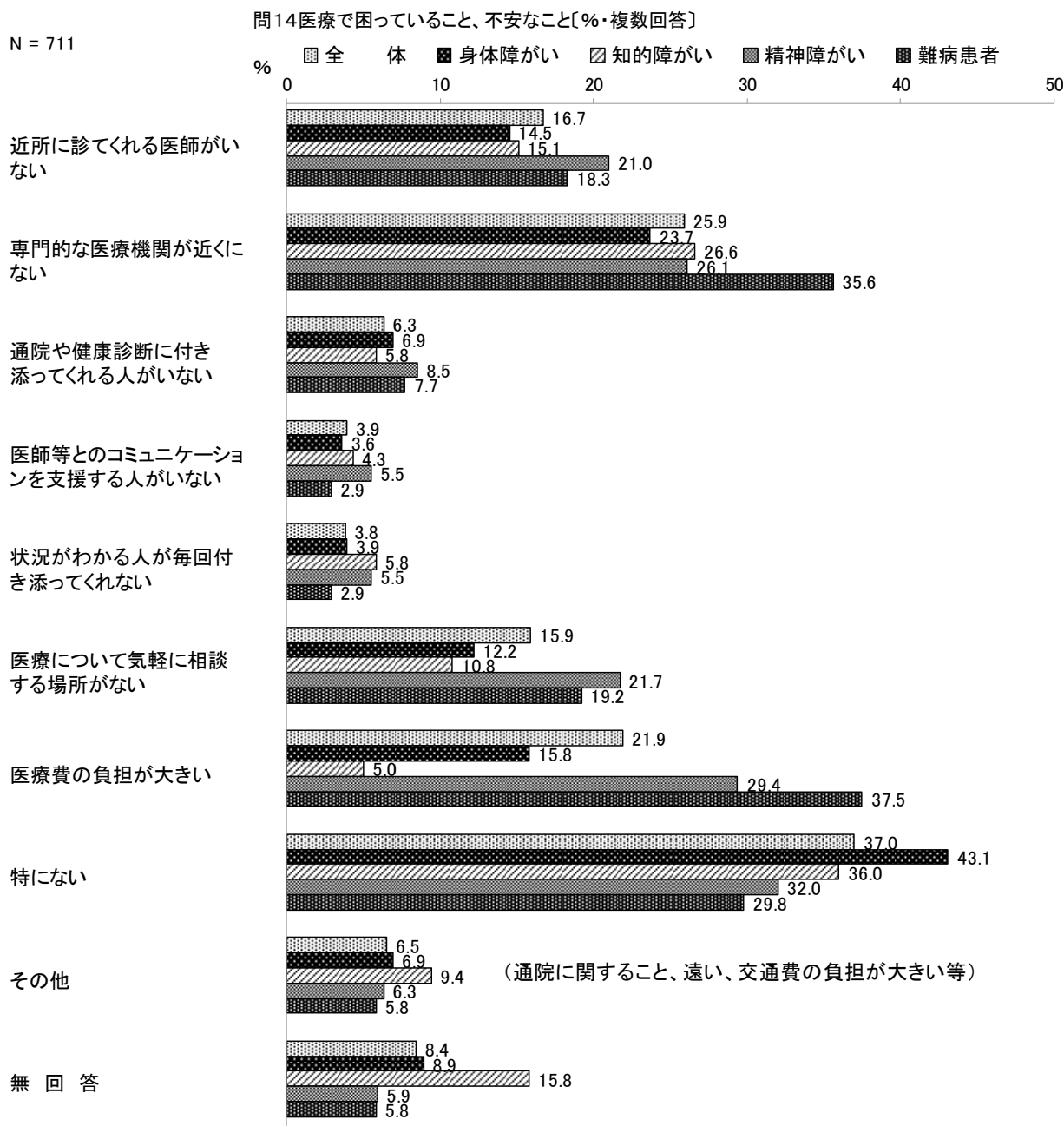
全体では、「あった」が34.5%、「今後（も）したい」が32.1%である。



問 14 医療について困っていることや不安なことは何ですか。

全体では、「特にない」が 37.0%と多く、「専門的な医療機関が近くにない」が 25.9%、「医療費の負担が大きい」が 21.9%、「近所に診てくれる医師がいない」が 16.7%、「医療について気軽に相談する場所がない」が 15.9%である。

障がい種別では、難病患者で「専門的な医療機関が近くにない」が 35.6%、「医療費の負担が大きい」が 37.5%となっている。

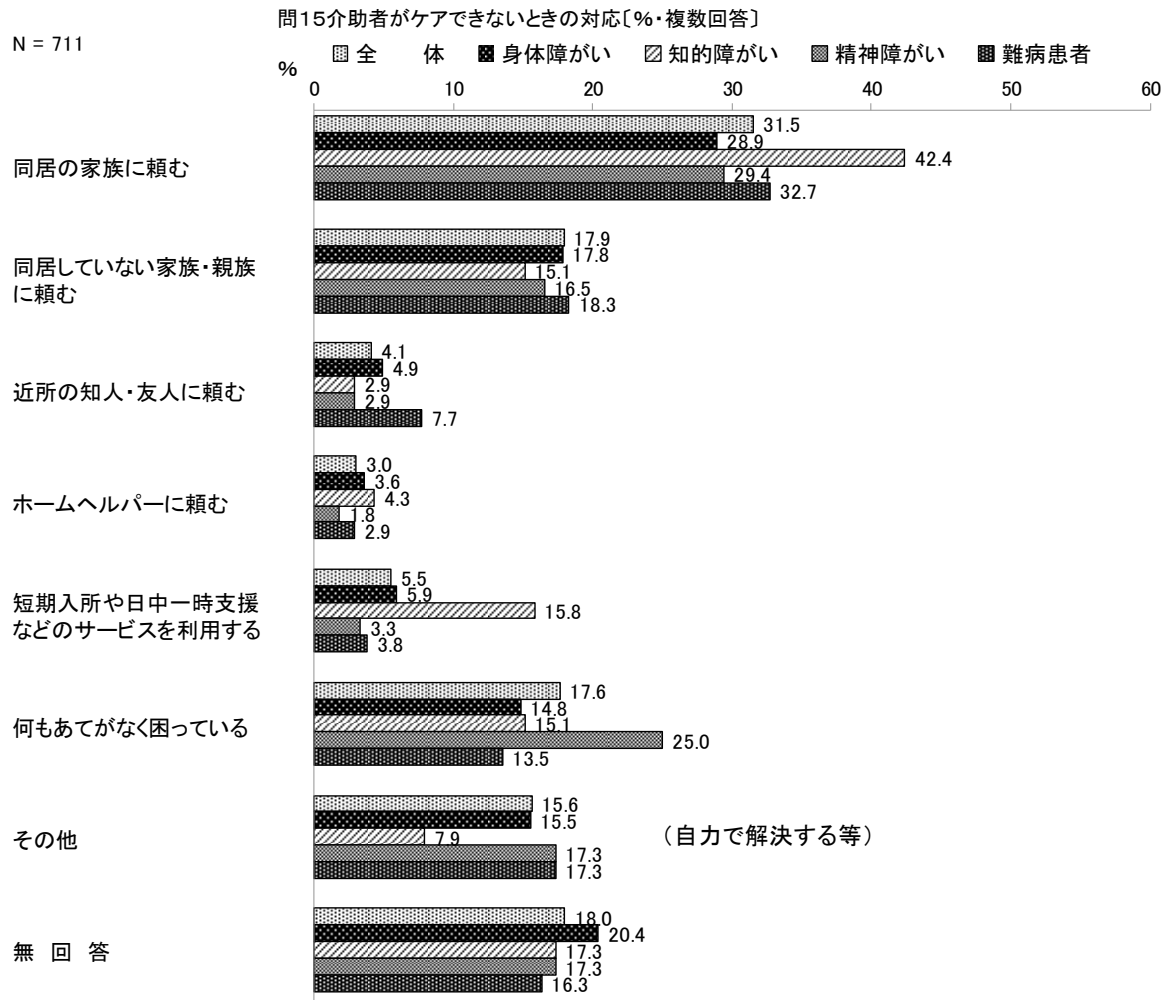


問 15 主に介助している方が病気や休養、冠婚葬祭などで一時的にケアできない時、どうしていますか。

全体では、「同居の家族に頼む」が 31.5%（前回 32.8%）と多く、「同居していない家族・親族に頼む」が 17.9%、「何もあてがなく困っている」が 17.6%である。

障がい種類別では、知的障がいでは「同居の家族に頼む」が 42.4%、「短期入所や日中一時支援などのサービスを利用する」が 15.8%と多い。

サービス利用別では、「何もあてがなく困っている」回答者の 20.8%は相談支援の利用がみられる。



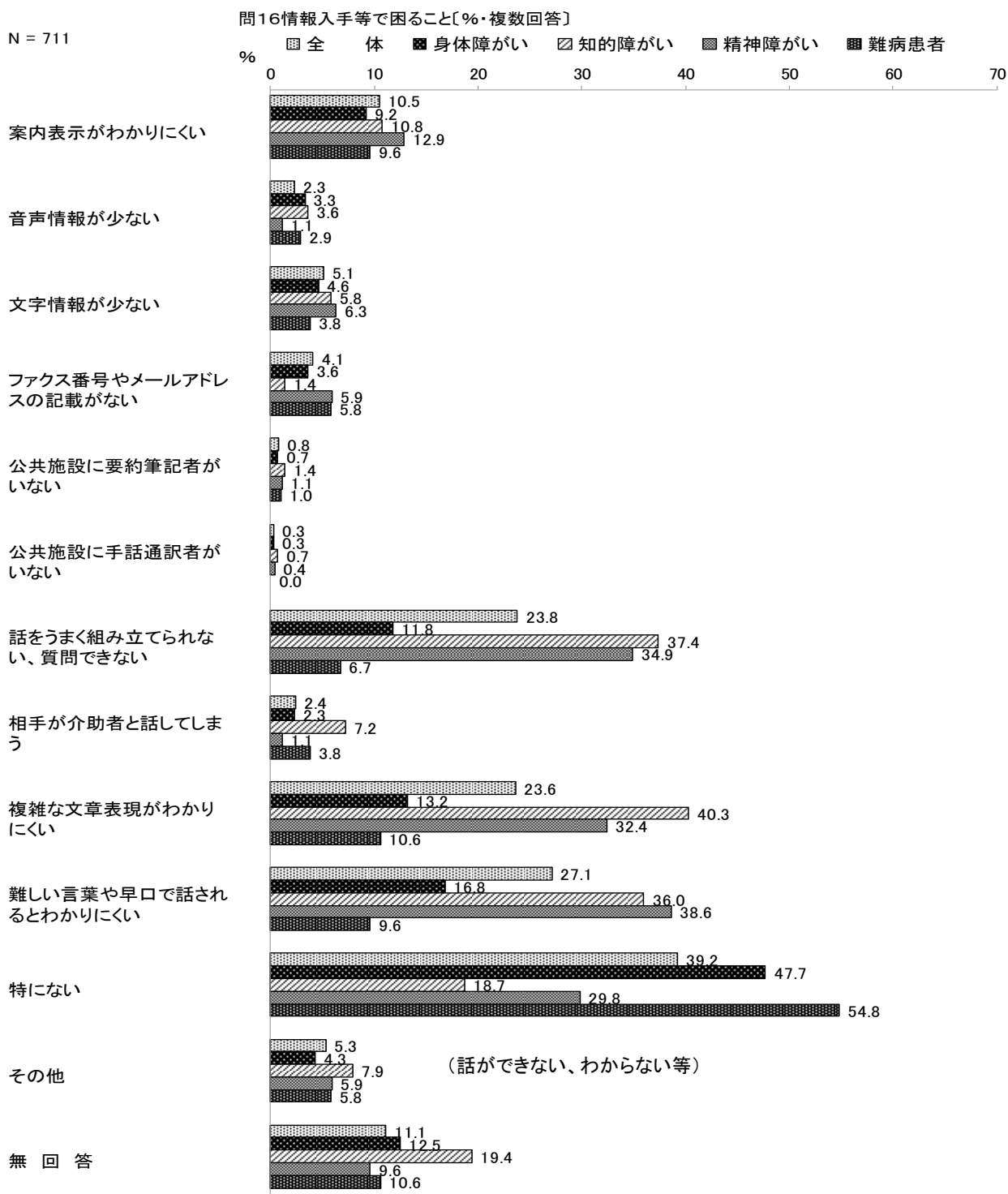
		問21(1)現在の利用(16)相談支援[%]			
		利用している	利用していない	無回答	
全 体		711	105	516	90
		100.0	14.8	72.6	12.7
問15 対応者 がケア できない ときの 複数 回答	同居の家族に頼む	224	39	166	19
		100.0	17.4	74.1	8.5
	同居していない家 族・親族に頼む	127	10	106	11
		100.0	7.9	83.5	8.7
	近所の知人・友人に 頼む	29	2	25	2
		100.0	6.9	86.2	6.9
	ホームヘルパーに 頼む	21	8	10	3
		100.0	38.1	47.6	14.3
	短期入所や日中一 時支援などのサービ スを利用する	39	17	18	4
		100.0	43.6	46.2	10.3
何もあてがなく困っ ている	125	26	87	12	
	100.0	20.8	69.6	9.6	
その他	111	13	90	8	
	100.0	11.7	81.1	7.2	
無回答	128	12	79	37	
	100.0	9.4	61.7	28.9	

### 3 相談・情報に関すること

#### 問 16 情報入手やコミュニケーションで困ることは何ですか。

全体では、「特にない」が 39.2%、「難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい」が 27.1%、「話をうまく組み立てられない、質問できない」が 23.8%、「複雑な文章表現がわかりにくい」が 23.6%、「案内表示がわかりにくい」が 10.5%である。

障がい種別では、知的障がいと精神障がいで「話をうまく組み立てられない、質問できない」「複雑な文章表現がわかりにくい」「難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい」が 30~40%程度回答されており、「複雑な文章表現がわかりにくい」は療育手帳 B 交付者で多く、「難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい」は療育手帳 B 交付者と精神障害者保健福祉手帳 2 級交付者で多く回答されている。



		問16情報入手等で困ること[%・複数回答]	
		複雑な文章表現がわかりにくい	難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい
全体	139	56	50
	100.0	40.3	36.0
問4程度(療育手帳)	(A)	46	6
		100.0	13.0
	A	28	10
		100.0	35.7
	B	35	21
		100.0	60.0
	29	13	
	100.0	44.8	
	1	-	-
無回答	100.0	-	-

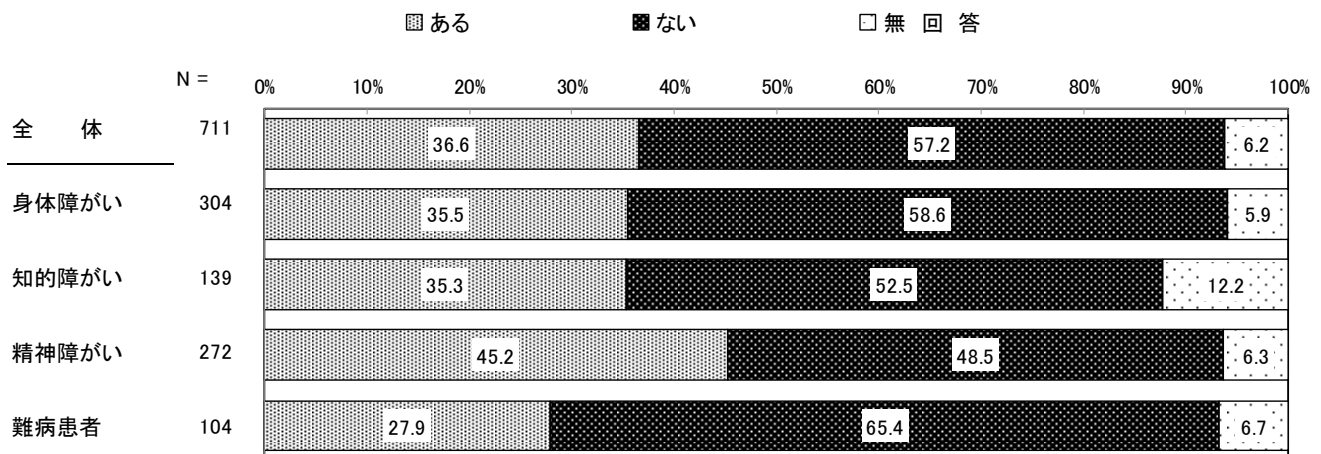
		問16情報入手等で困ること[%・複数回答]	
		複雑な文章表現がわかりにくい	難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい
全体	272	88	105
	100.0	32.4	38.6
帳害問の者4等保一級健4福精神障手	1級	12	2
		100.0	16.7
	2級	156	71
		100.0	45.5
	3級	101	31
		100.0	30.7
	3	1	
無回答	100.0	33.3	33.3

問17 この3年の間に、障がいがあることが理由でいやな思いや経験をしたことがありますか。

全体では「ない」が57.2%（前回44.6%）、「ある」が36.6%（前回49.5%）で、前回調査より「ない」が12.6ポイント高く、「ある」が12.9ポイント低い。

障がい種別では、「ある」は精神障がいでは45.2%と多く、難病患者は27.9%である。

問17障がいがある理由のいやな思いや経験(3年間)[%]



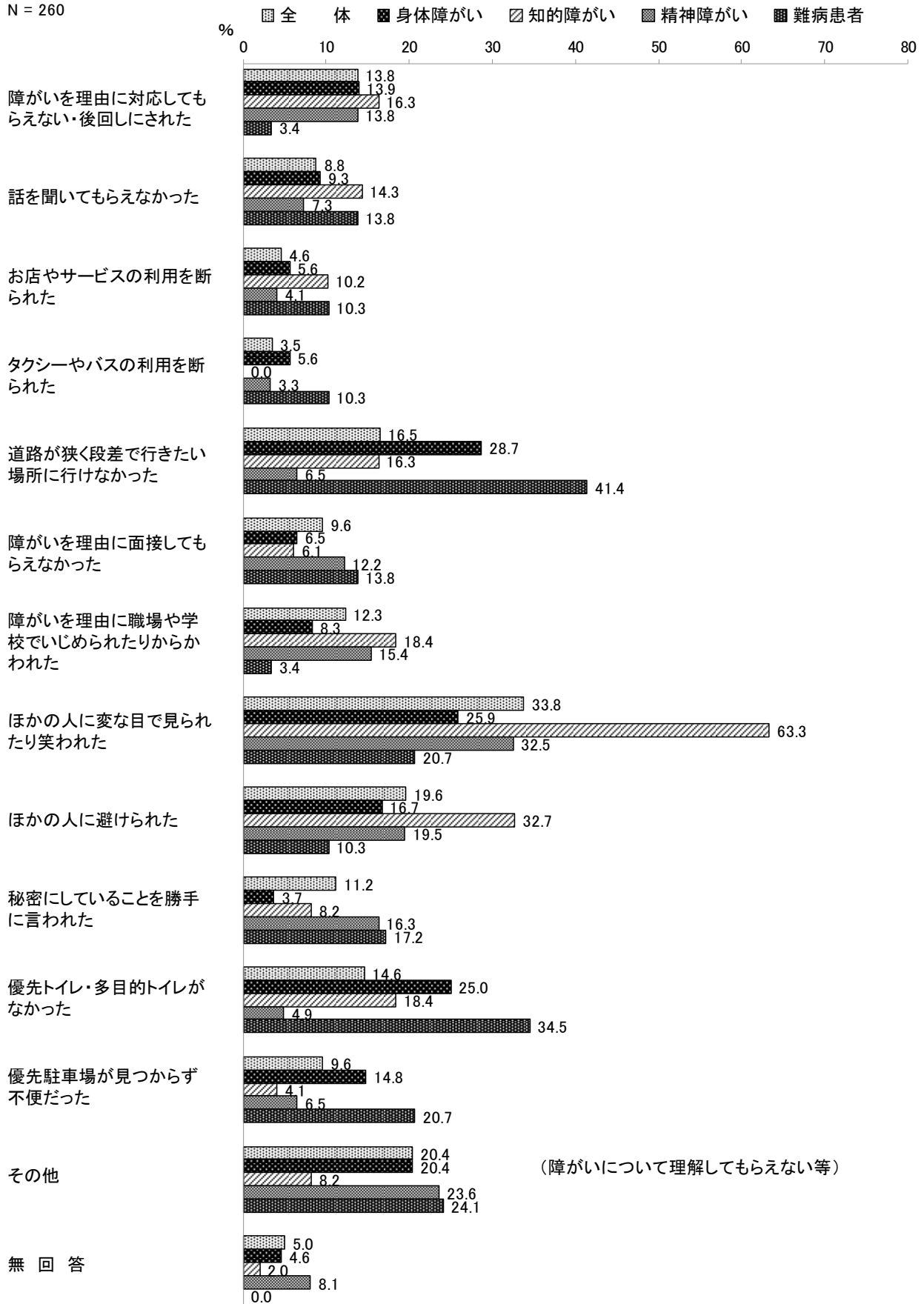
問17-1(問17で「ある」と回答した方)どのようないやな思いや経験をしましたか。

全体では、「ほかの人に変な目で見られたり笑われた」が33.8%（前回46.9%）、「ほかの人に避けられた」が19.6%（前回32.1%）、「道路が狭く段差で行きたい場所に行けなかった」が16.5%、「優先トイレ・多目的トイレがなかった」が14.6%、「障がいを理由に対応してもらえない・後回しにされた」が13.8%、「障がいを理由に職場や学校でいじめられたりからかわれた」が12.3%（前回32.5%）、「秘密にしていることを勝手に言われた」が11.2%である。「ほかの人に変な目で見られたり笑われた」と「障がいを理由に職場や学校でいじめられたりからかわれた」は前回調査よりそれぞれ13.1ポイント、20.2ポイント低い。

障がい種別では、知的障がいでは「ほかの人に変な目で見られたり笑われた」が63.3%、「ほかの人に避けられた」が32.7%、身体障がいと難病患者で「道路が狭く段差で行きたい場所に行けなかった」がそれぞれ28.7%、41.4%と多い。

N = 260

問17-1いやな思いや経験の内容[%・複数回答]

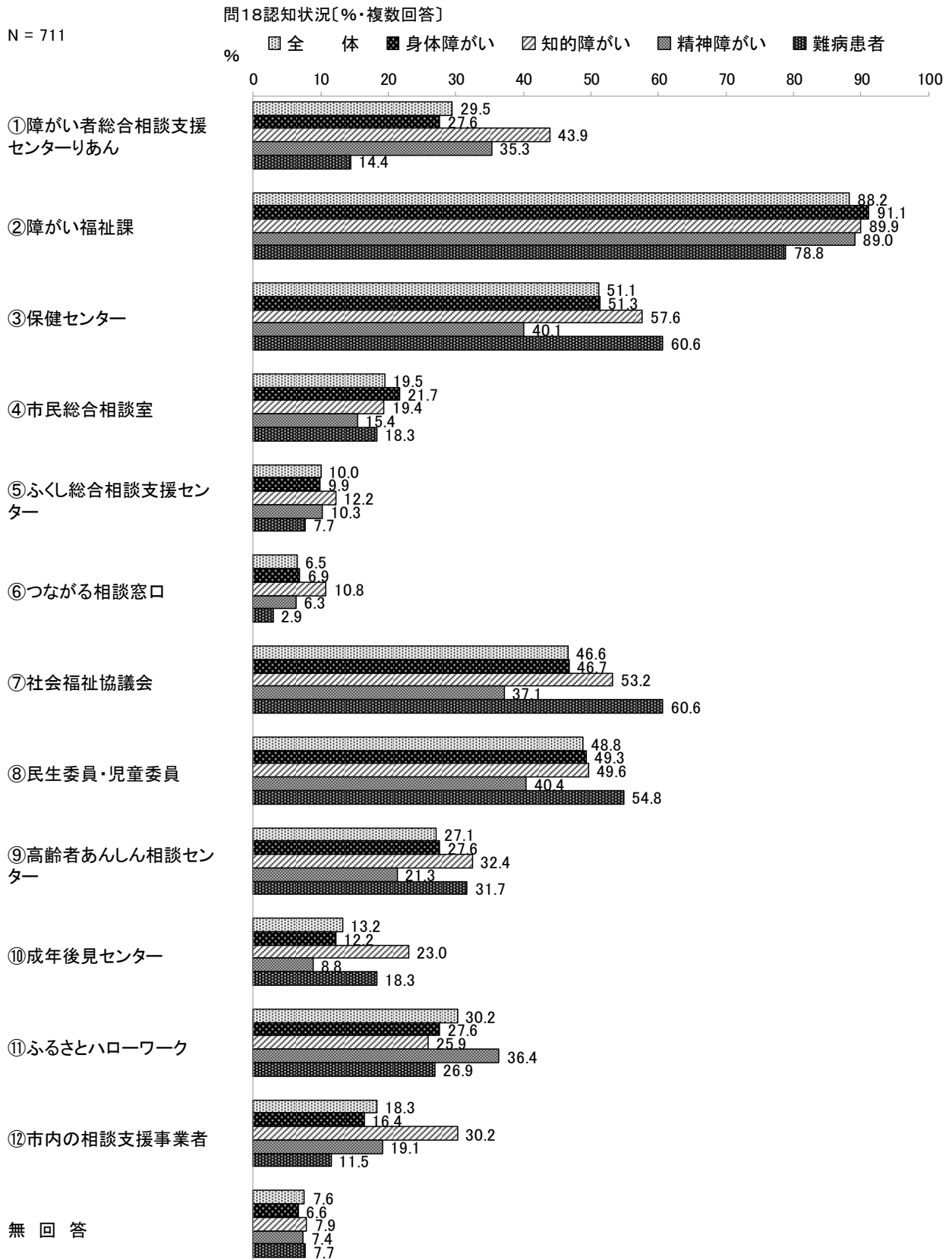


(障がいについて理解してもらえない等)

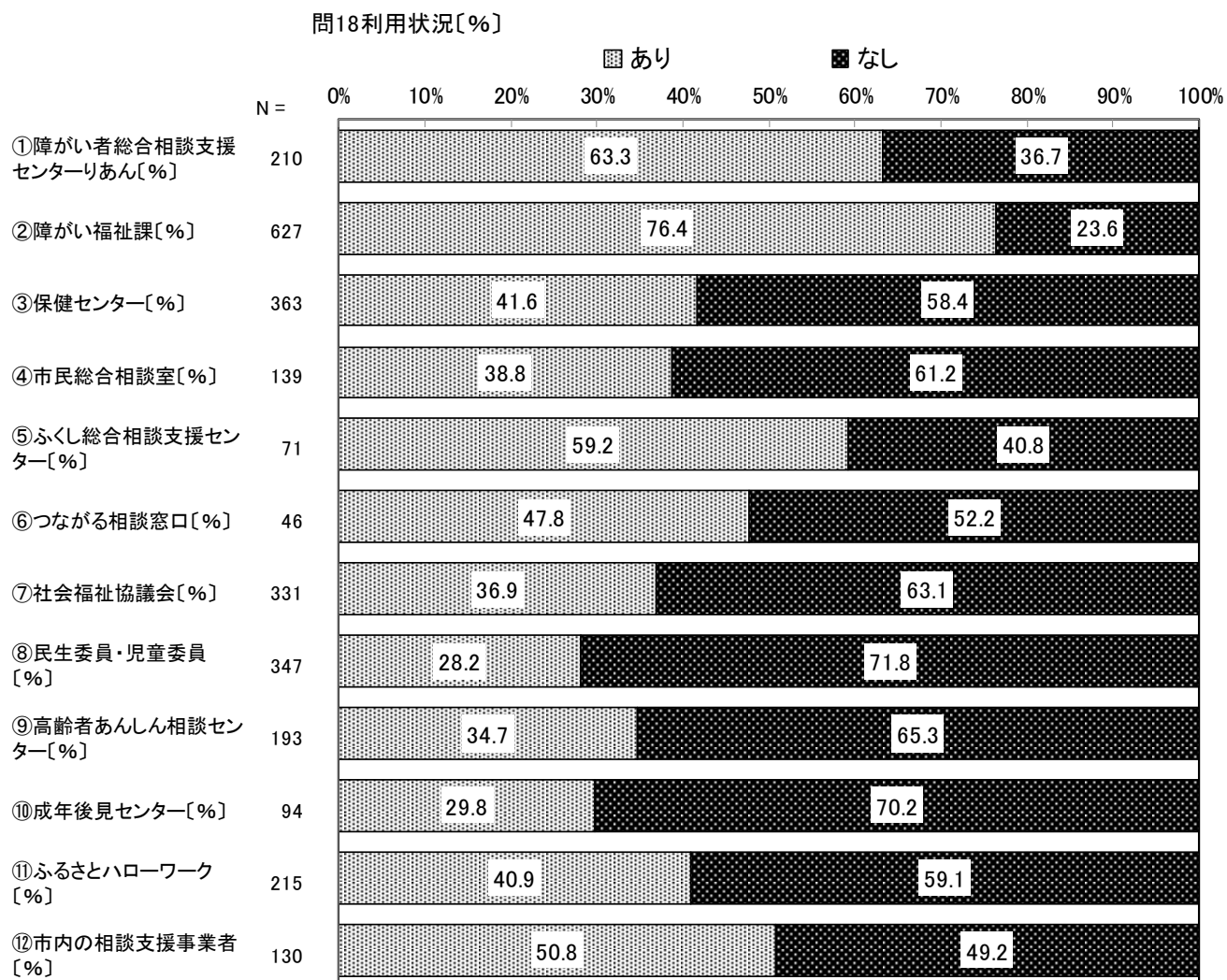
問 18 ふじみ野市には、障がいのある人の相談を受ける場所として、次のような機関がありますが、知っていますか。また、相談したことがある機関には、チェックを入れてください。

相談場所の認知状況は、全体で「②障がい福祉課」が 88.2%と多く、「③保健センター」が 51.1%、「民生委員・児童委員」が 48.8%、「社会福祉協議会」が 46.6%、「ふるさとハローワーク」が 30.2%、「①障がい者総合相談支援センターりあん」が 29.5%である。

障がい種別では、知的障がいで「⑫市内の相談支援事業者」が 30.2%と多い。



知っている相談場所の利用状況は、「②障がい福祉課」が76.4%と多く、「①障がい者総合支援センターりあん」が63.3%、「⑤ふくし総合相談支援センター」が59.2%、「⑫市内の相談支援事業者」が50.8%、「⑥つながる相談窓口」が47.8%である。



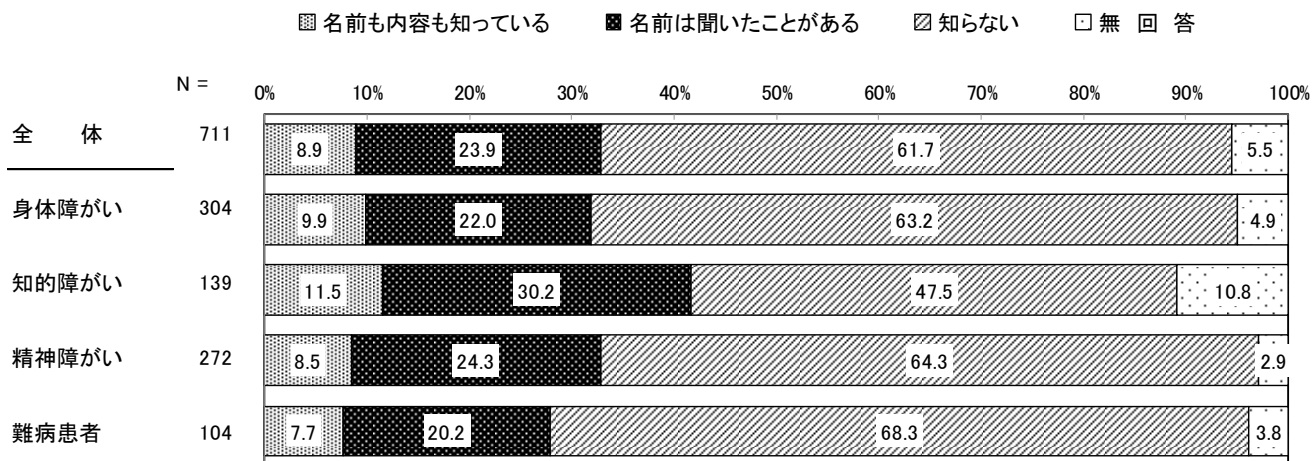
問 19 ①～④の項目について知っていますか。

①障害者差別解消法

全体では「知らない」が 61.7%と多く「名前は聞いたことがある」が 23.9%、「名前も内容も知っている」が 8.9%である。

障がい種別では、知的障がいで「知らない」が 47.5%と少ない。

問19認知①障害者差別解消法[%]

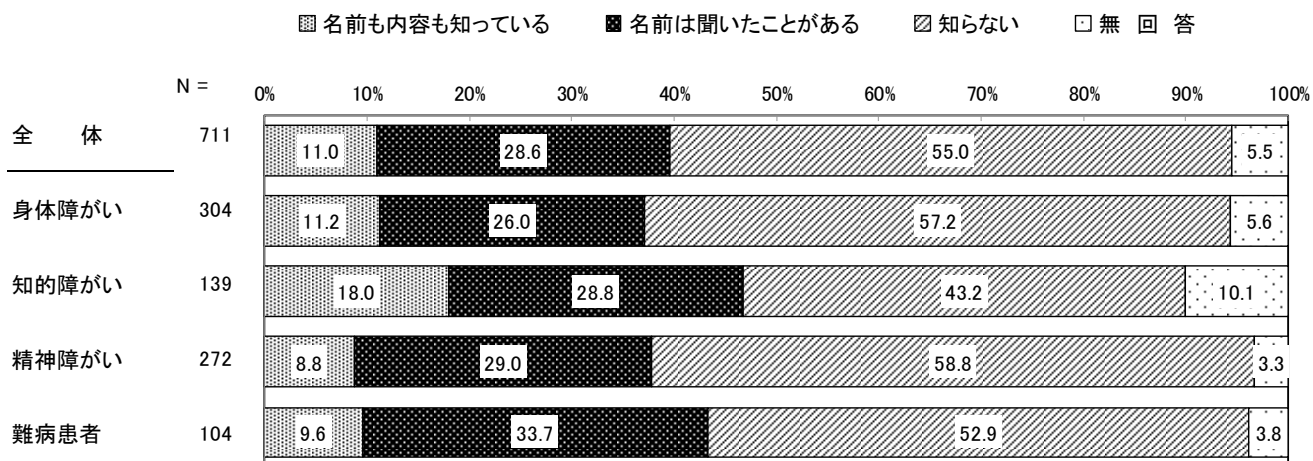


②障害者虐待防止法

全体では「知らない」が 55.0%と多く「名前は聞いたことがある」が 28.6%、「名前も内容も知っている」が 11.0%である。

障がい種別では、知的障がいで「知らない」が 43.2%と少ない。

問19認知②障害者虐待防止法[%]

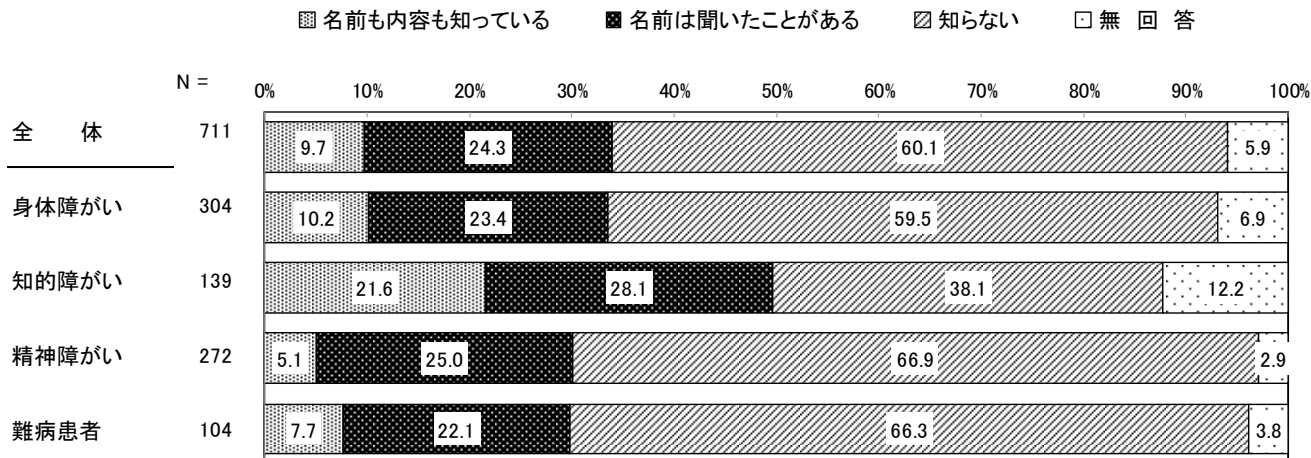


### ③障害者週間

全体では「知らない」が60.1%と多く、「名前は聞いたことがある」が24.3%、「名前も内容も知っている」が9.7%である。

障がい種別では、知的障がいで「知らない」38.1%と少ない。

問19認知③障害者週間[%]

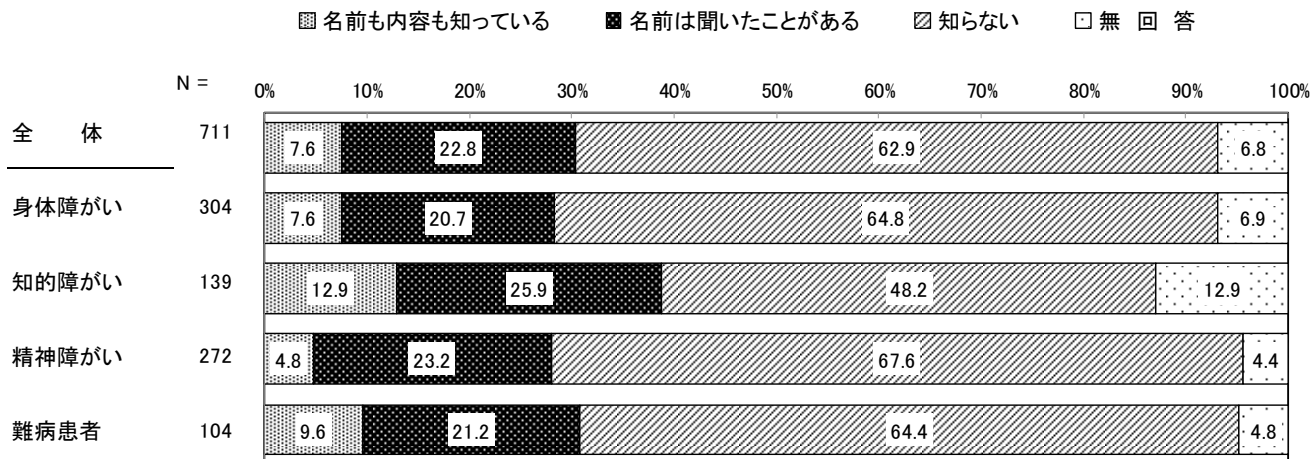


### ④地域共生社会

全体では「知らない」が62.9%と多く「名前は聞いたことがある」が22.8%、「名前も内容も知っている」が7.6%である。

障がい種別では、知的障がいで「知らない」48.2%と少ない。

問19認知④地域共生社会[%]

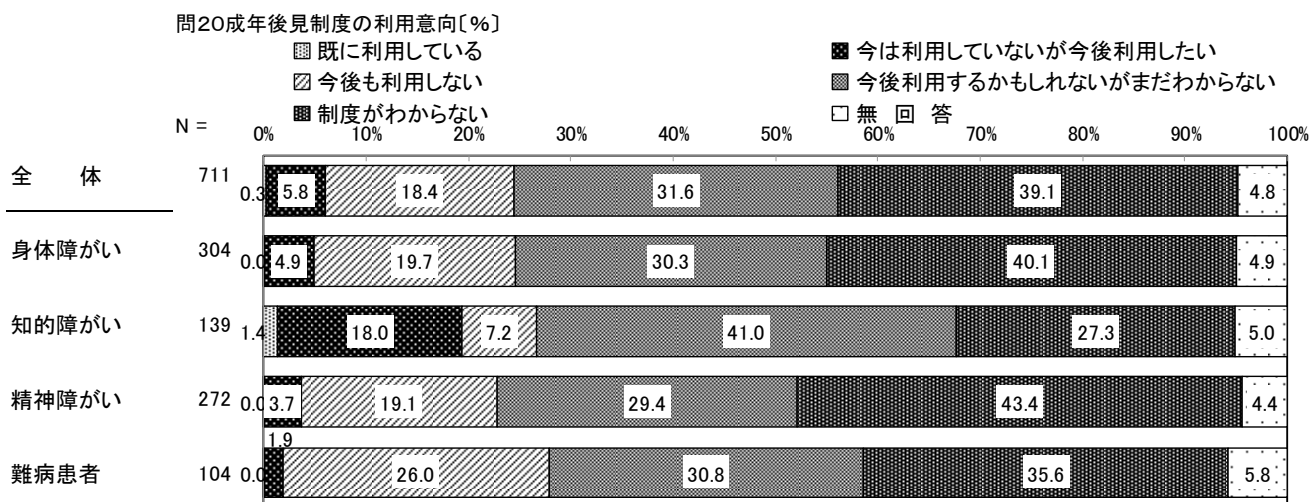


問 20 成年後見制度を利用したいですか。

全体では、「制度がわからない」が 39.1%（前回 24.4%）と多く、「今後利用するかもしれないがまだわからない」が 31.6%（前回 44.4%）、「今後も利用しない」が 18.4%、「今は利用していないが今後利用したい」が 5.8%、「既に利用している」が 0.3%で、前回調査より「制度がわからない」が 14.7 ポイント高く、「今後利用するかもしれないがまだわからない」が 12.8 ポイント低い。

障がい種別では、知的障がいでは「制度がわからない」は 27.3%と少なく、「今は利用していないが今後利用したい」が 18.0%と多く、「今後利用するかもしれないがまだわからない」は 41.0%（前回 54.3%）と多いが、前回調査より 13.3 ポイント低い。

年齢別では、「制度がわからない」が 18~39 歳で 45.0%、「今後利用するかもしれないがまだわからない」は 65 歳以上で 37.3%とやや多い。



		問20成年後見制度の利用意向[%]						
		既に利用している	今は利用していないが今後利用したい	今後も利用しない	今後利用するかもしれないがまだわからない	制度がわからない	無回答	
全 体		711	2	41	131	225	278	34
		100.0	0.3	5.8	18.4	31.6	39.1	4.8
問 3 年 齢	18~39歳	200	1	18	26	58	90	7
		100.0	0.5	9.0	13.0	29.0	45.0	3.5
	40~64歳	421	1	18	91	136	157	18
		100.0	0.2	4.3	21.6	32.3	37.3	4.3
	65歳以上	83	-	5	12	31	28	7
	100.0	-	6.0	14.5	37.3	33.7	8.4	
	無回答	7	-	-	2	-	3	2
	100.0	-	-	28.6	-	42.9	28.6	

## 4 福祉サービスの利用

問 21 障害福祉サービスで(1)現在利用しているもの、(2)今後の利用意向をお答えください。現在利用している方は今後も利用したいですか。

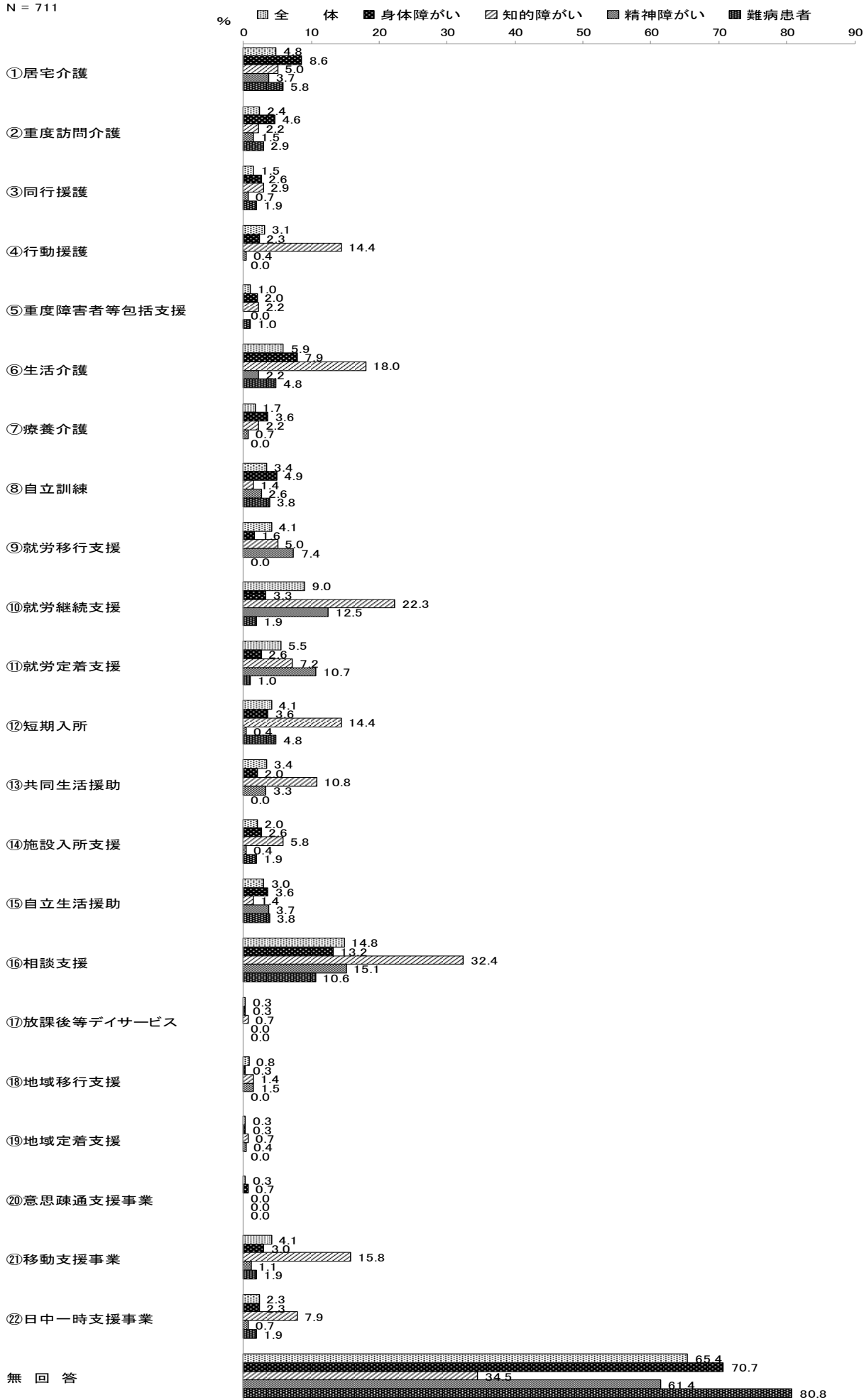
### (1)現在利用しているもの

全体では、「⑩相談支援」が 14.8%、「⑩就労継続支援」が 9.0%、「⑥生活介護」が 5.9%、「⑪就労定着支援」が 5.5%となっている。

障がい種別では、精神障がいでは「⑩相談支援」が 32.4%、「⑩就労継続支援」が 22.3%、「⑥生活介護」が 18.0%、「④行動援護」が 14.4%と多い。

問21(1)現在の利用状況[%・複数回答]

N = 711

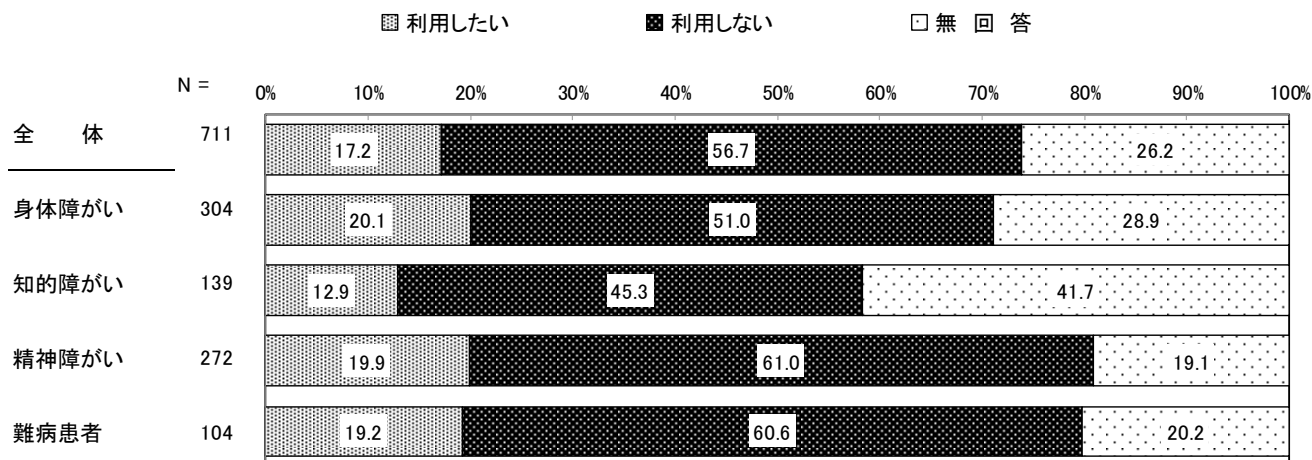


## (2) 今後の利用意向

### ① 居宅介護(ホームヘルプ)

全体では、「利用しない」が56.7%、「利用したい」が17.2%である。

問21(2)利用意向①居宅介護[%]

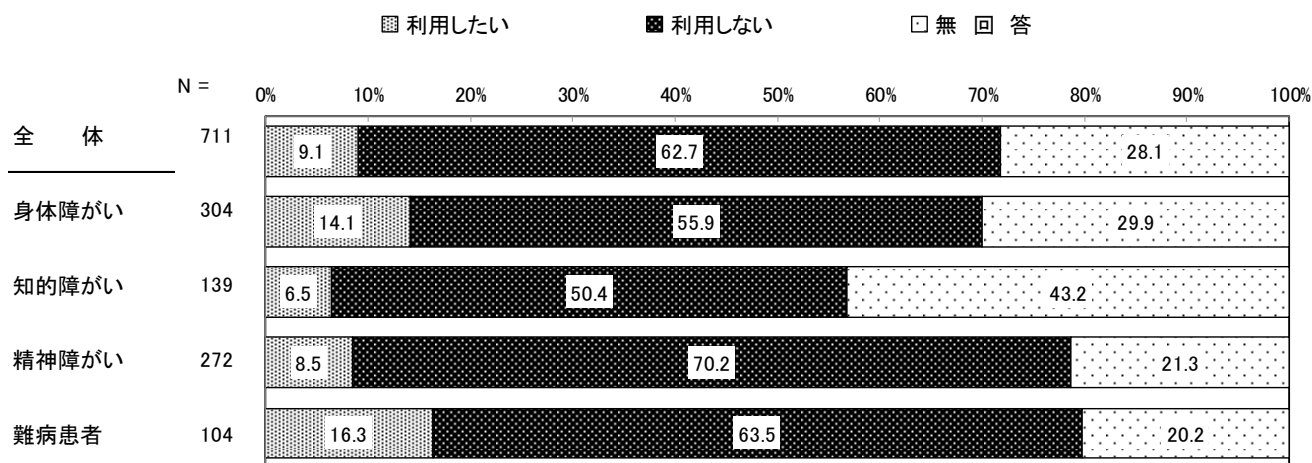


### ② 重度訪問介護

全体では、「利用しない」が62.7%、「利用したい」が9.1%である。

障がい種別では、難病患者で「利用したい」が16.3%回答されている。

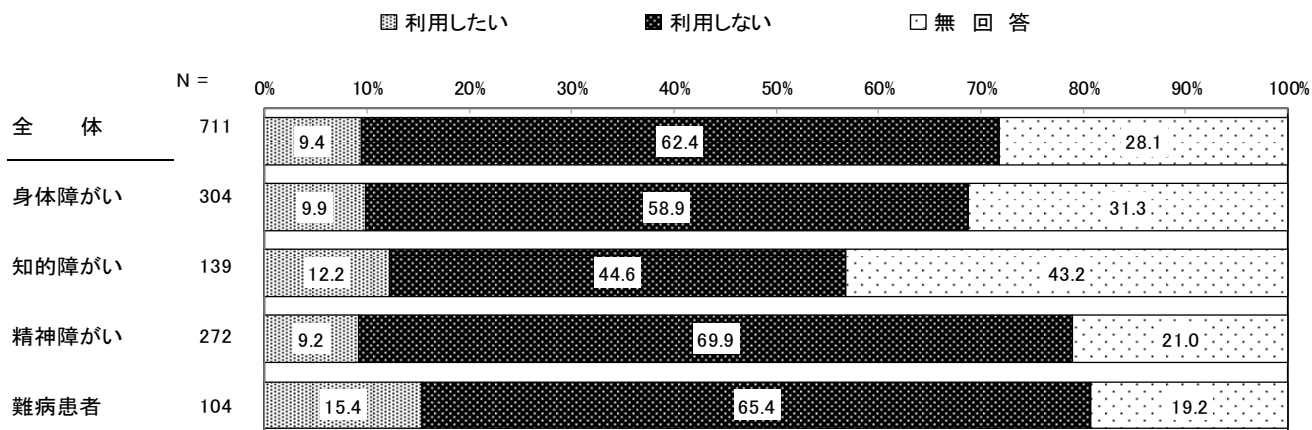
問21(2)利用意向②重度訪問介護[%]



### ③ 同行援護

全体では、「利用しない」が62.4%、「利用したい」が9.4%である。

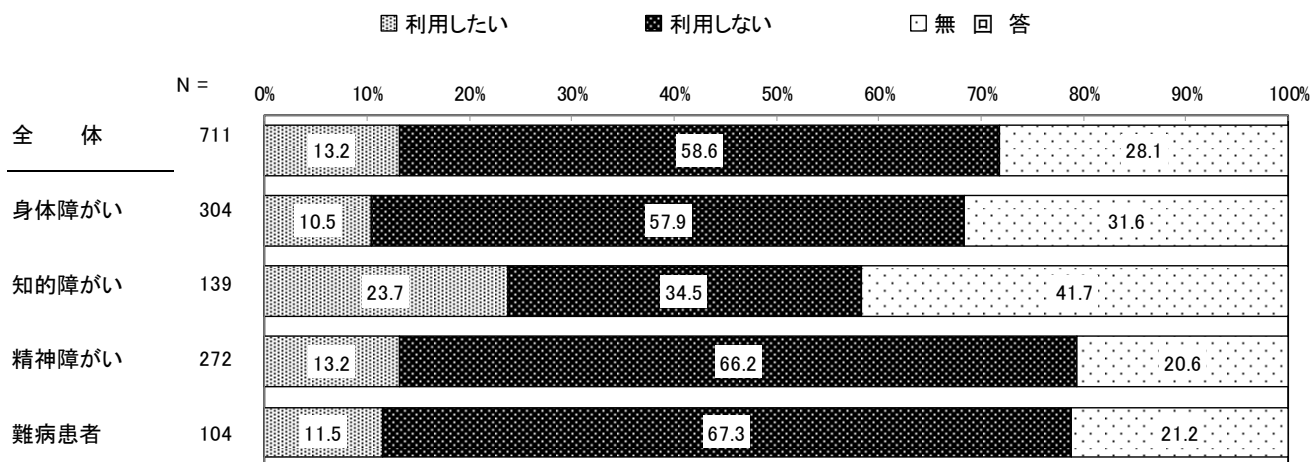
問21(2)利用意向③同行援護[%]



#### ④行動援護

全体では、「利用しない」が58.6%、「利用したい」が13.2%である。  
障がい種別では、知的障がいでは「利用したい」が23.7%回答されている。

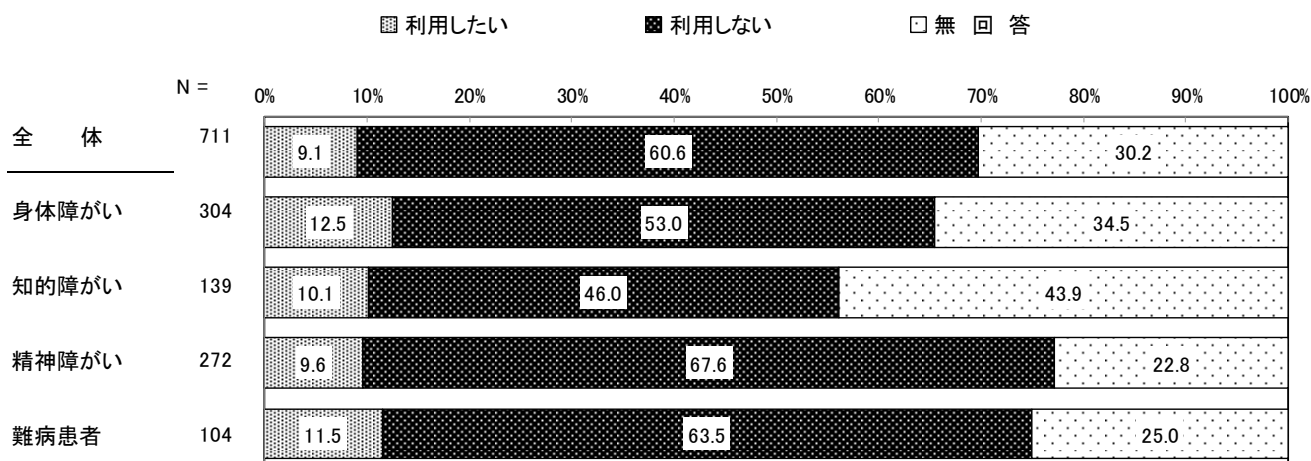
問21(2)利用意向④行動援護[%]



#### ⑤重度障害者等包括支援

全体では、「利用しない」が60.6%、「利用したい」が9.1%である。

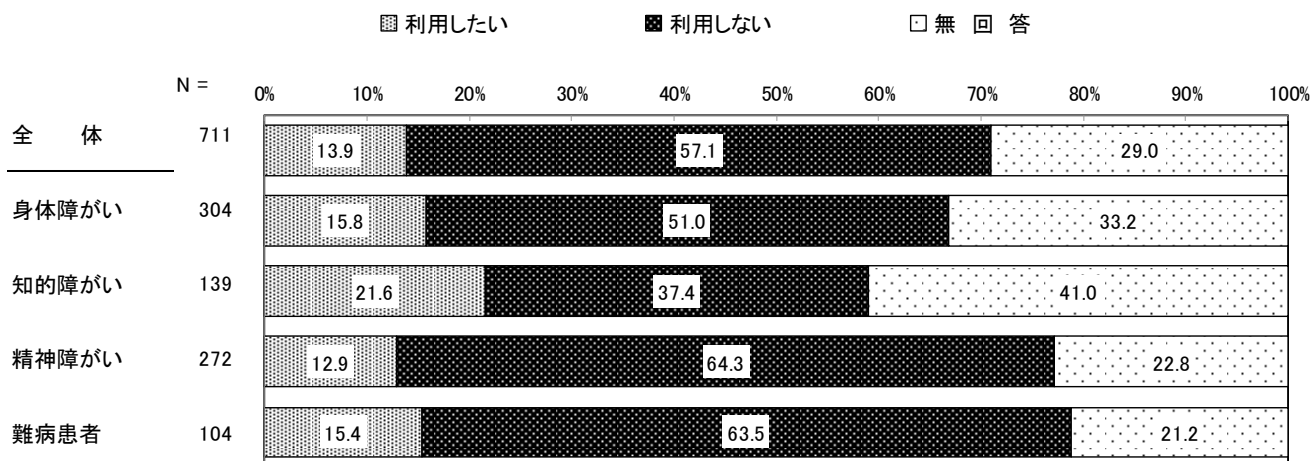
問21(2)利用意向⑤重度障害者等包括支援[%]



#### ⑥生活介護

全体では、「利用しない」が57.1%、「利用したい」が13.9%である。  
障がい種別では、知的障がいでは「利用したい」が21.6%回答されている。

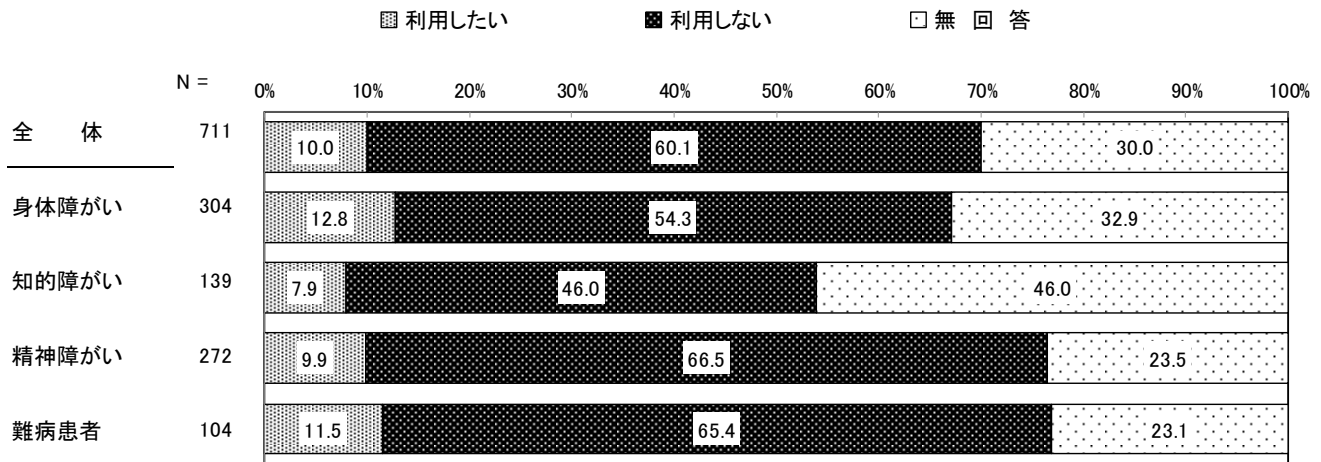
問21(2)利用意向⑥生活介護[%]



## ⑦療養介護

全体では、「利用しない」が60.1%、「利用したい」が10.0%である。

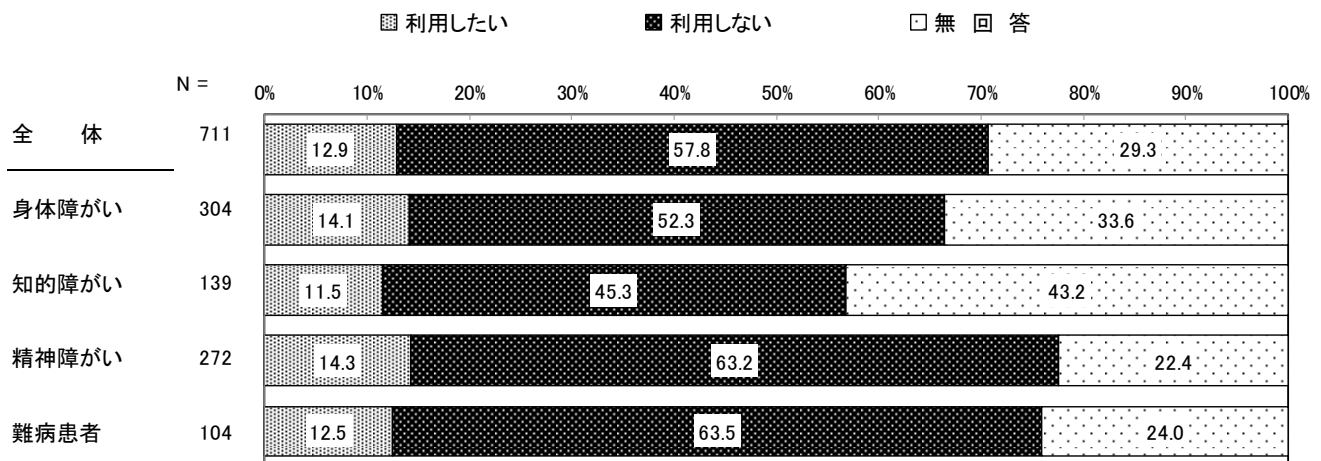
問21(2)利用意向⑦療養介護[%]



## ⑧自立訓練(機能訓練・生活訓練)

全体では、「利用しない」が57.8%、「利用したい」が12.9%である。

問21(2)利用意向⑧自立訓練[%]

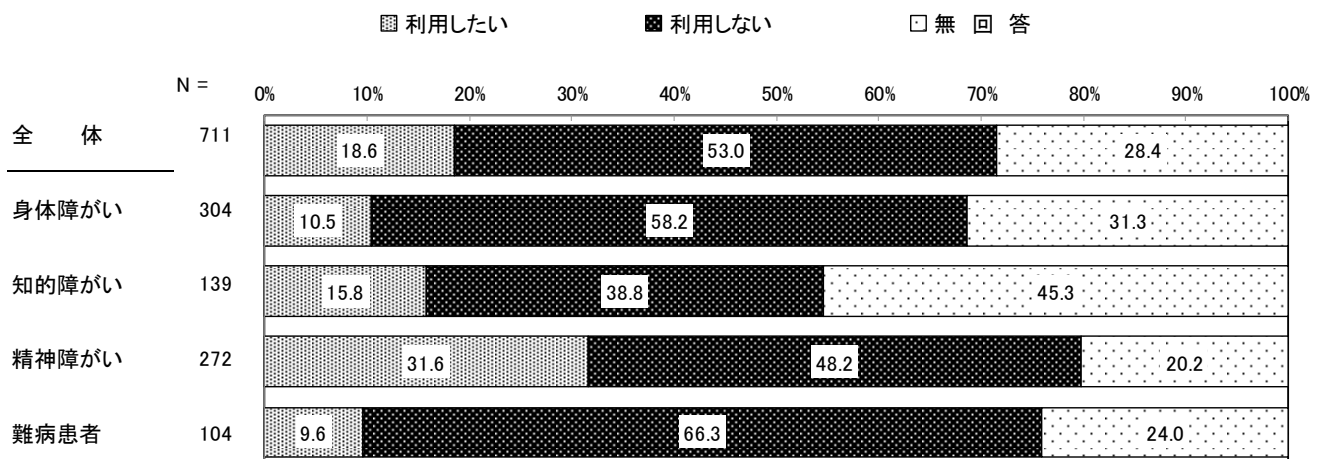


## ⑨就労移行支援

全体では、「利用しない」が53.0%、「利用したい」が18.6%である。

障がい種別では、精神障がいで「利用したい」が31.6%回答されている。

問21(2)利用意向⑨就労移行支援[%]

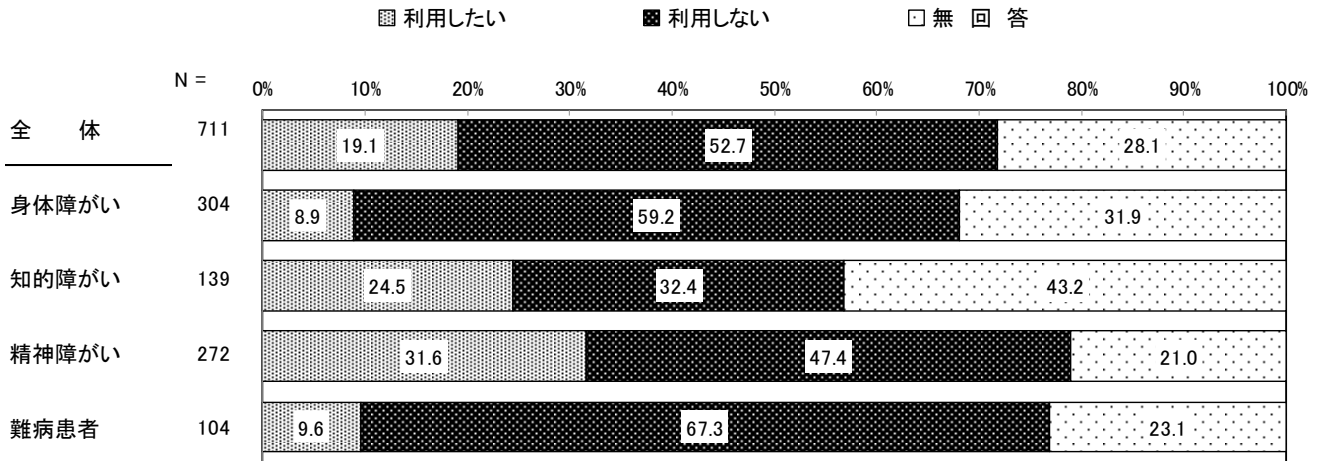


### ⑩就労継続支援

全体では、「利用しない」が52.7%、「利用したい」が19.1%である。

障がい種別では、「利用したい」は知的障がいでは24.5%、精神障がいでは31.6%回答されている。

問21(2)利用意向⑩就労継続支援[%]

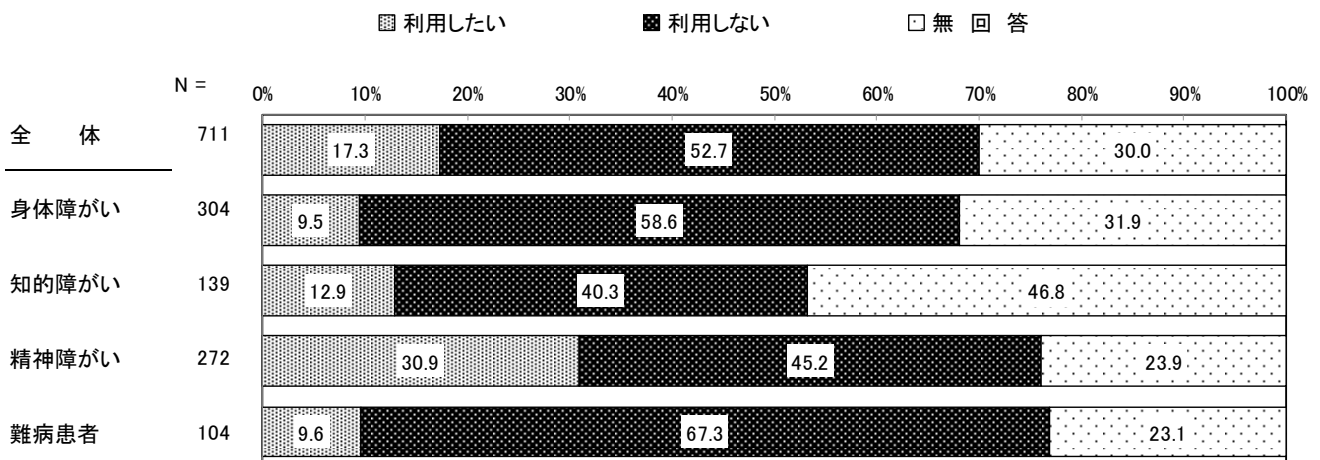


### ⑪就労定着支援

全体では、「利用しない」が52.7%、「利用したい」が17.3%である。

障がい種別では、精神障がいでは「利用したい」が30.9%回答されている。

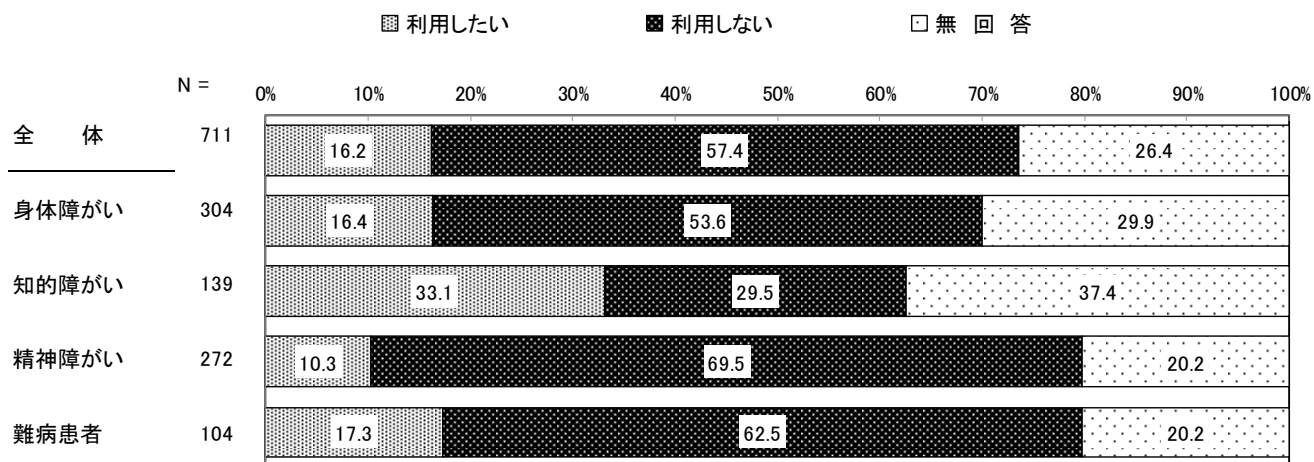
問21(2)利用意向⑪就労定着支援[%]



## ⑫短期入所(ショートステイ)

全体では、「利用しない」が57.4%、「利用したい」が16.2%である。  
障がい種別では、知的障がいで「利用したい」が33.1%回答されている。

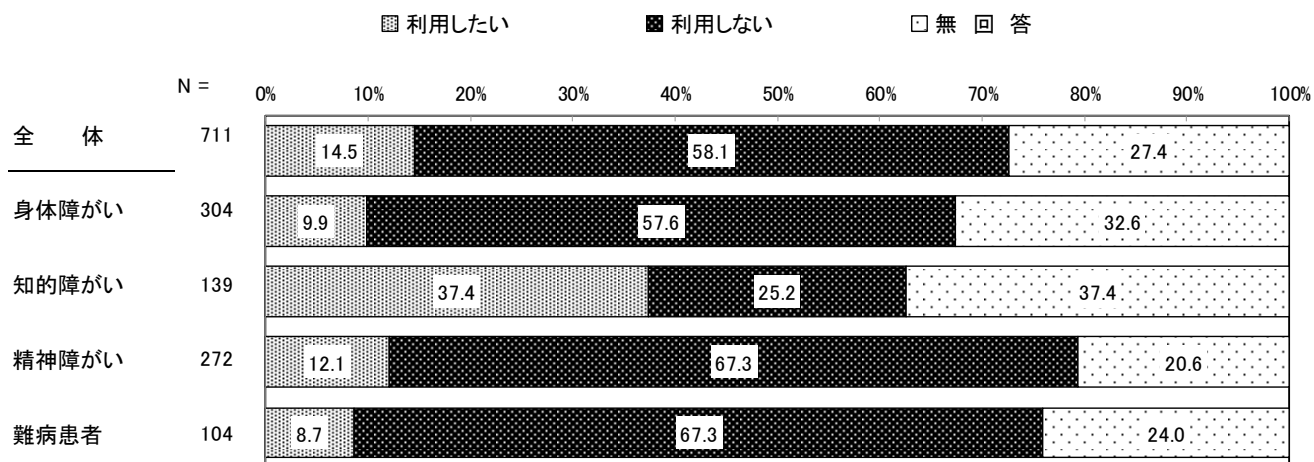
問21(2)利用意向⑫短期入所[%]



## ⑬共同生活援助(グループホーム)

全体では、「利用しない」が58.1%、「利用したい」が14.5%である。  
障がい種別では、知的障がいで「利用したい」が37.4%回答されている。

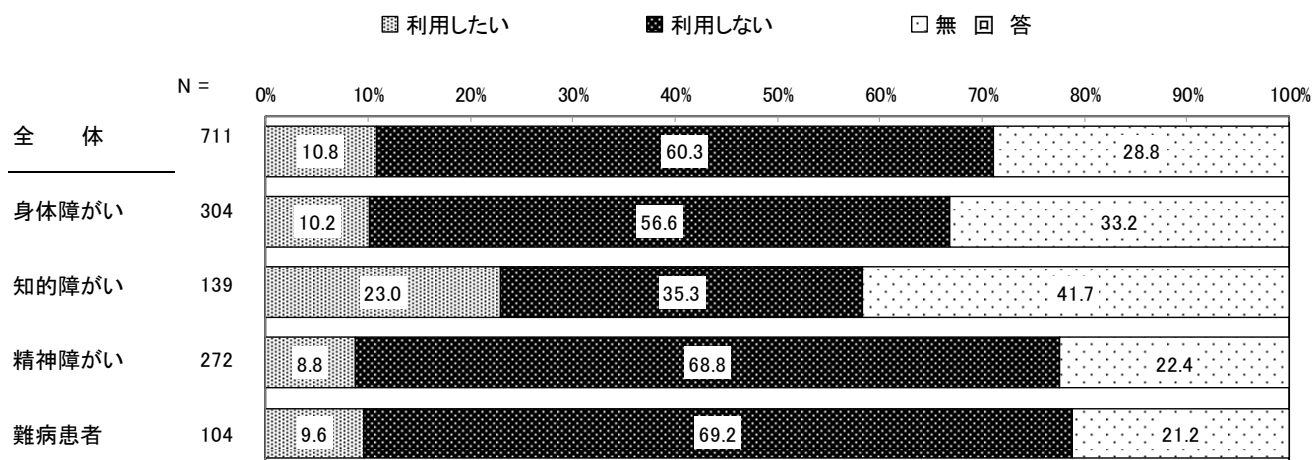
問21(2)利用意向⑬共同生活援助[%]



## ⑭施設入所支援

全体では、「利用しない」が60.3%、「利用したい」が10.8%である。  
障がい種別では、知的障がいで「利用したい」が23.0%回答されている。

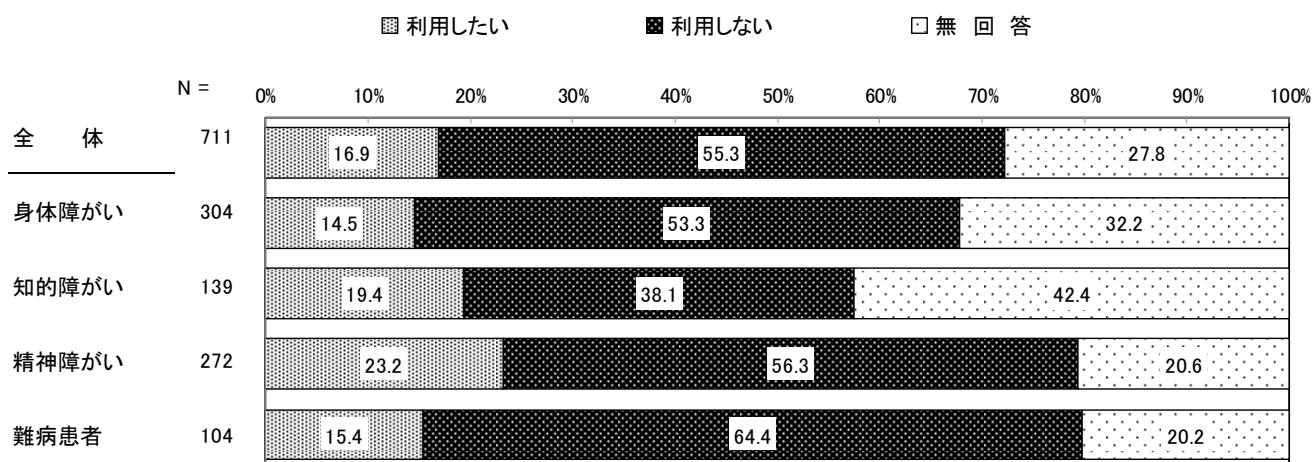
問21(2)利用意向⑭施設入所支援〔%〕



## ⑮自立生活援助

全体では、「利用しない」が55.3%、「利用したい」が16.9%である。  
障がい種別では、精神障がいで「利用したい」が23.2%回答されている。

問21(2)利用意向⑮自立生活援助〔%〕

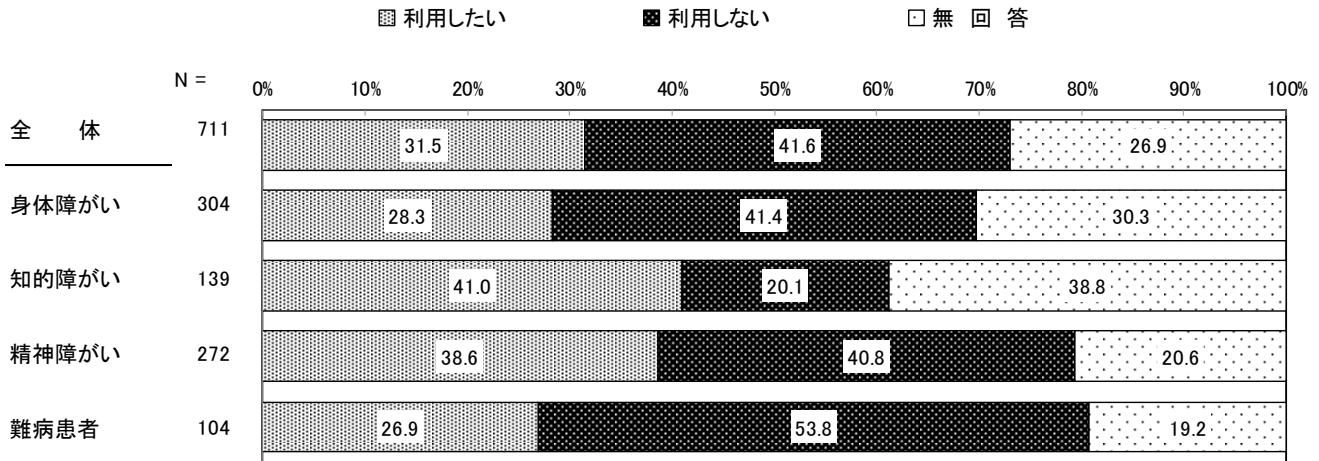


## ⑩相談支援

全体では、「利用しない」が41.6%、「利用したい」が31.5%である。

障がい種別では、「利用したい」が知的障がいでは41.0%、精神障がいでは38.6%回答されている。

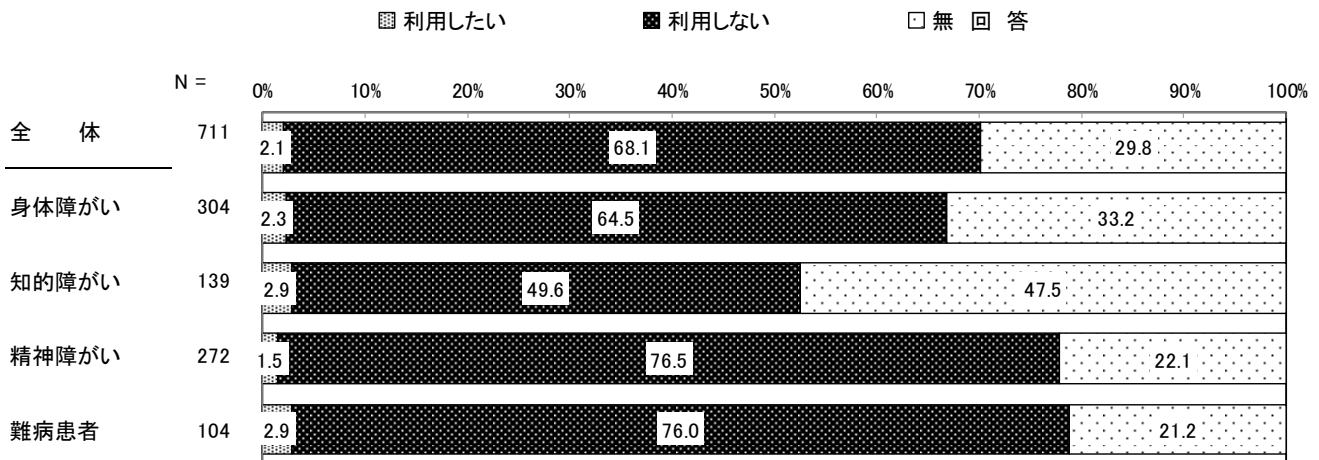
問21(2)利用意向⑩相談支援[%]



## ⑪放課後等デイサービス

全体では、「利用しない」が68.1%、「利用したい」が2.1%である。

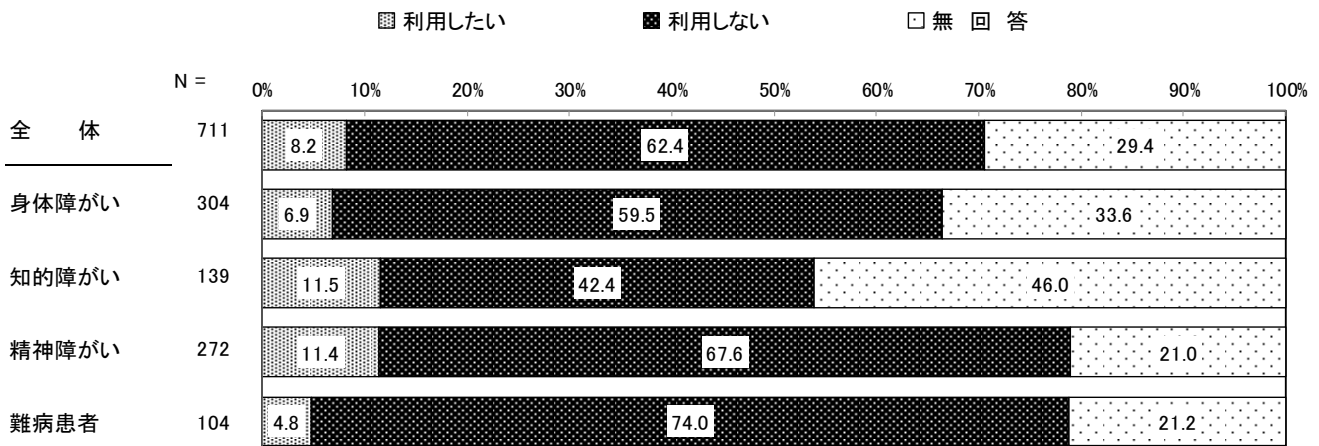
問21(2)利用意向⑪放課後等デイサービス[%]



## ⑫地域移行支援

全体では、「利用しない」が62.4%、「利用したい」が8.2%である。

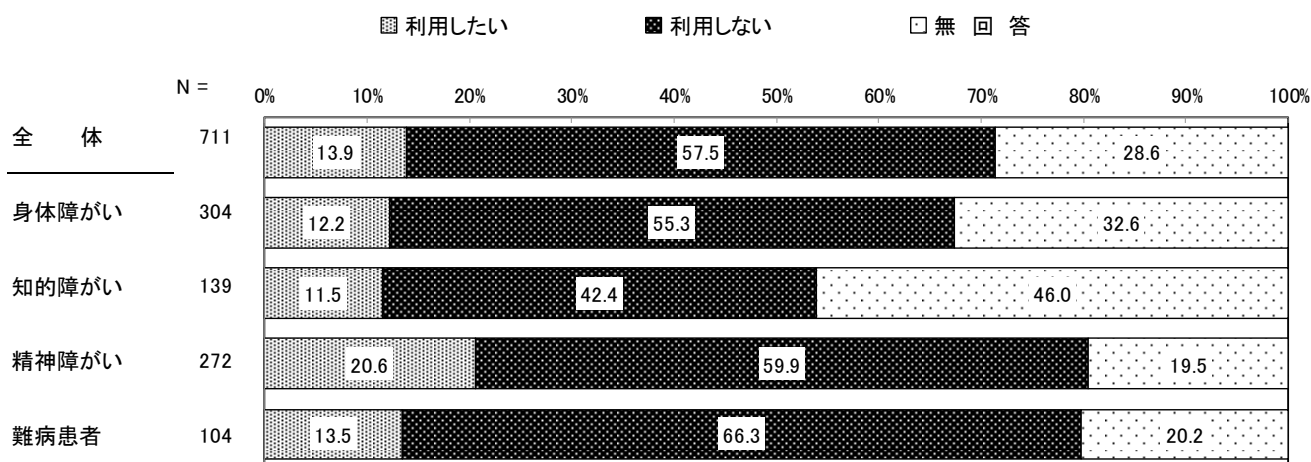
問21(2)利用意向⑫地域移行支援[%]



### ⑱地域定着支援

全体では、「利用しない」が57.5%、「利用したい」が13.9%である。  
障がい種別では、精神障がいでは「利用したい」が20.6%と回答されている。

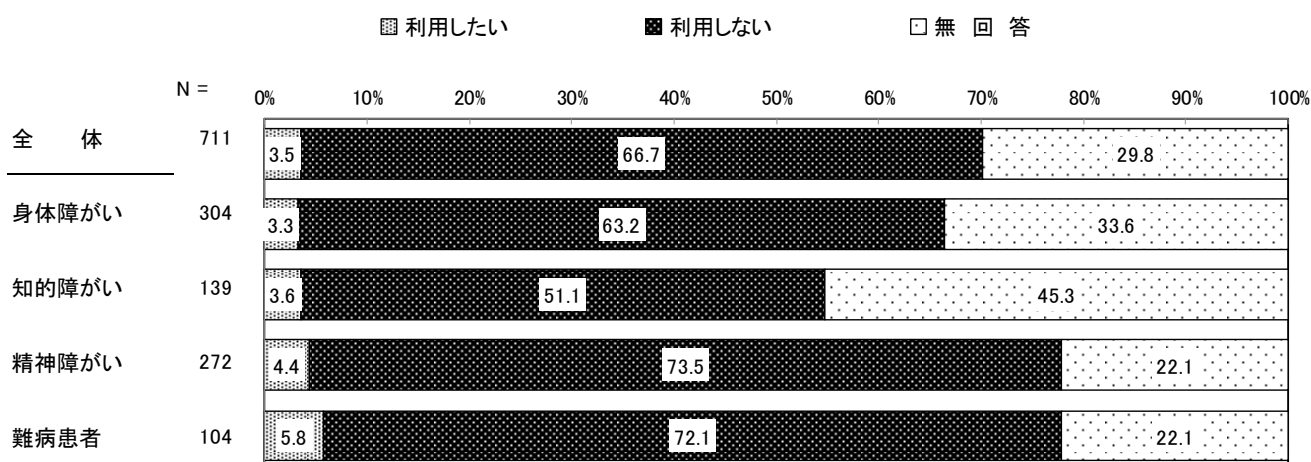
問21(2)利用意向⑱地域定着支援[%]



### ⑳意思疎通支援事業

全体では、「利用しない」が66.7%、「利用したい」が3.5%である。

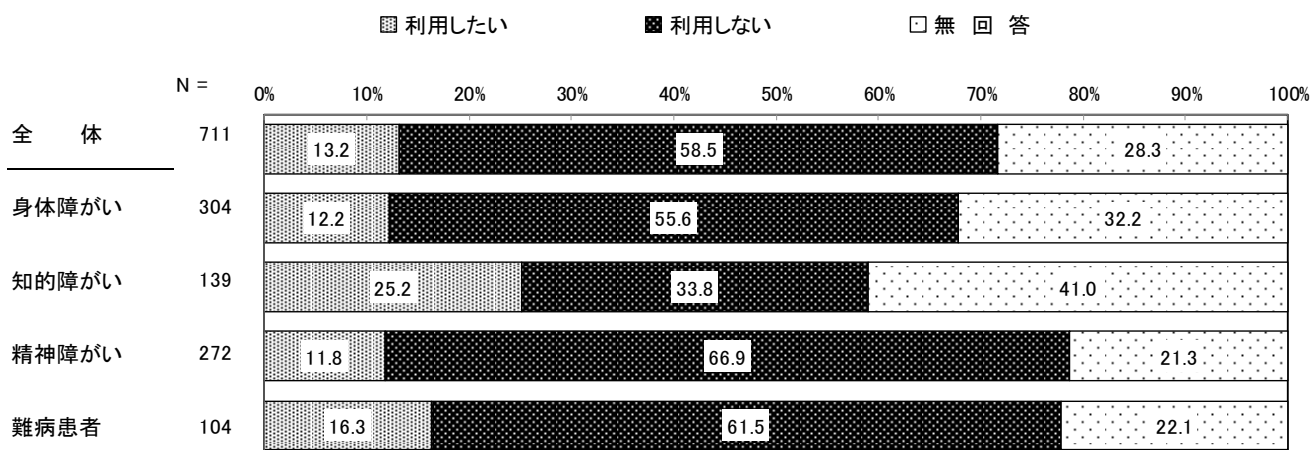
問21(2)利用意向⑳意思疎通支援事業[%]



### ㉑移動支援事業

全体では、「利用しない」が58.5%、「利用したい」が13.2%である。  
障がい種別では、知的障がいでは「利用したい」が25.2%回答されている。

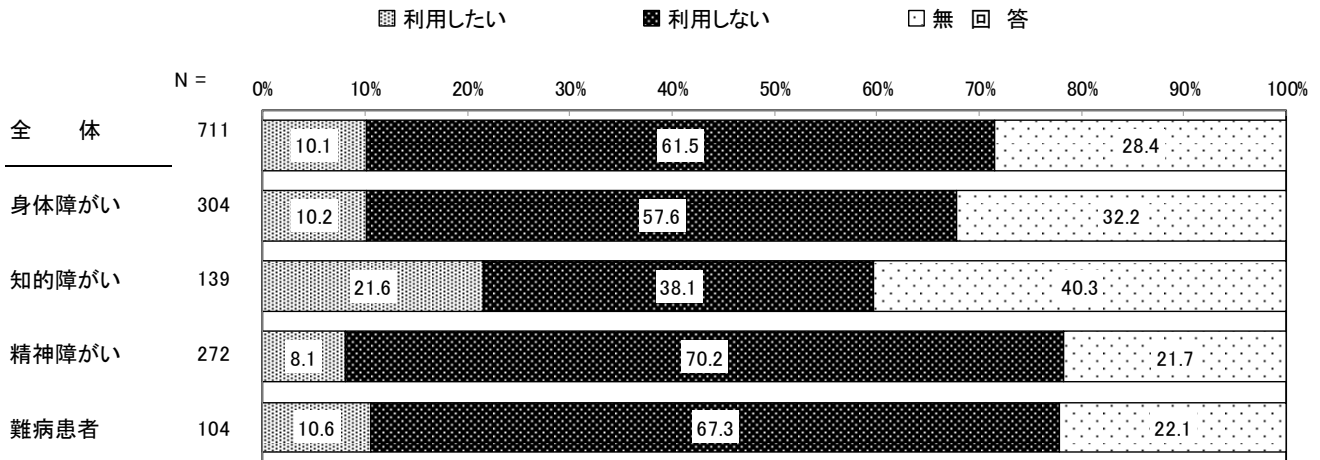
問21(2)利用意向㉑移動支援事業[%]



## ②日中一時支援事業

全体では、「利用しない」が61.5%、「利用したい」が10.1%である。  
障がい種別では、知的障がいでは「利用したい」が21.6%回答されている。

問21(2)利用意向②日中一時支援事業[%]



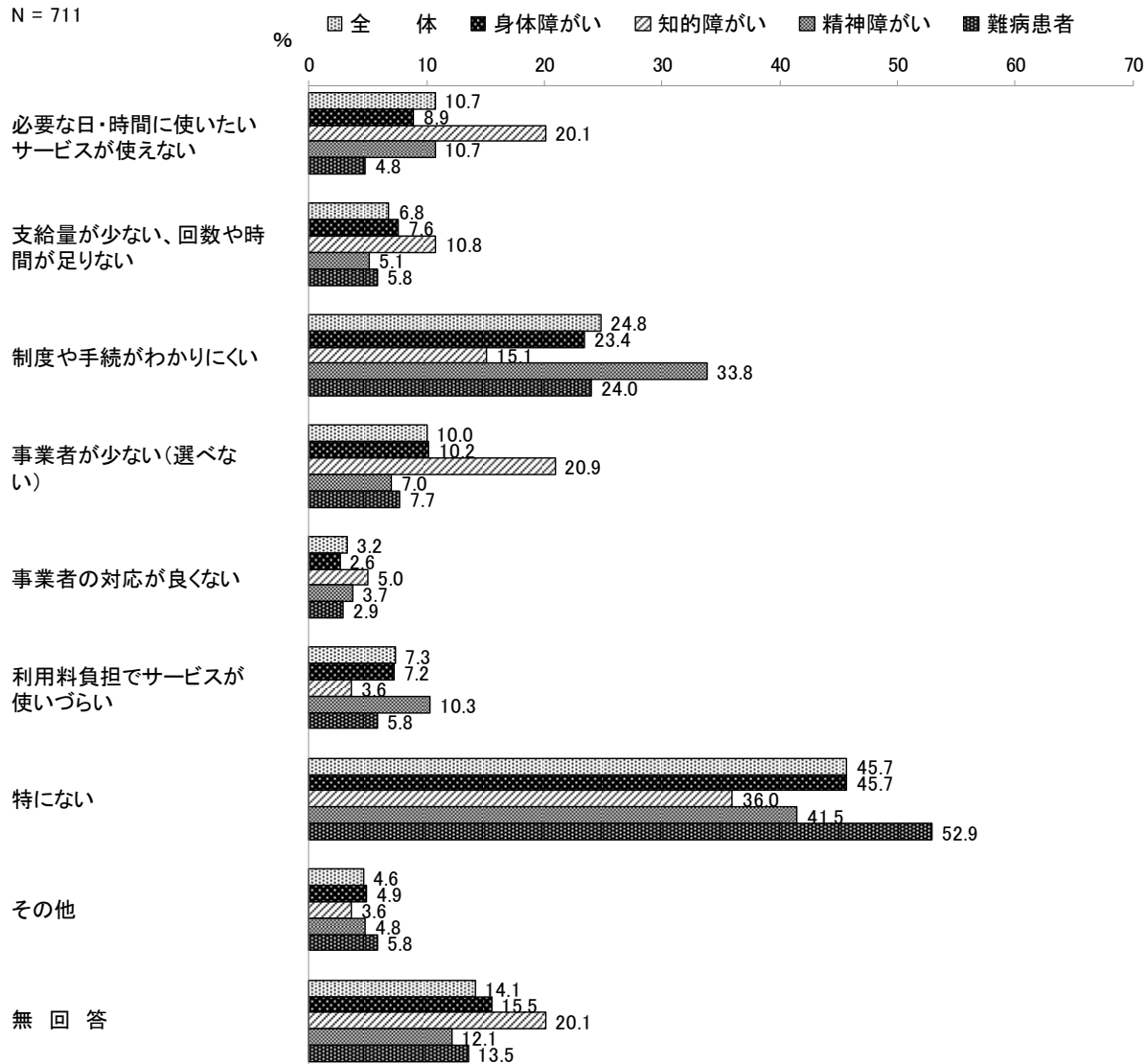
## 問 22 障害福祉サービスの利用で、困っていることは何ですか。

全体では、「特になし」が45.7%と多く、「制度や手続きがわかりにくい」が24.8%、「必要な日・時間に使いたいサービスが使えない」が10.7%、「事業者が少ない（選べない）」が10.0%、「利用料負担でサービスが使づらい」が7.3%、「支給量が少ない、回数や時間が足りない」が6.8%である。

障がい種別では、知的障がいでは「事業者が少ない（選べない）」が20.9%、精神障がいでは「制度や手続きがわかりにくい」が33.8%となっている。

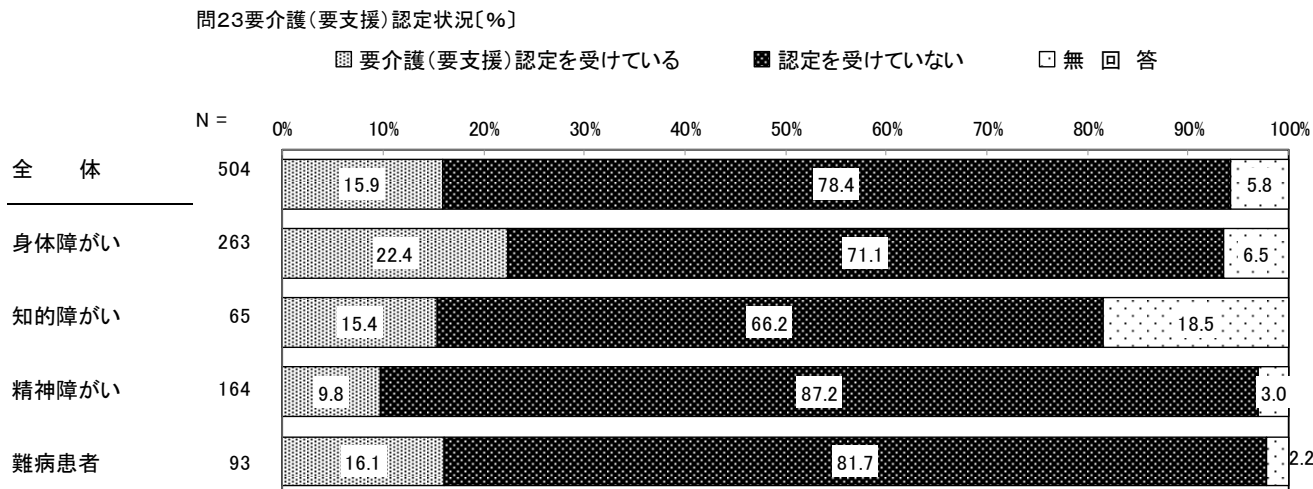
問22サービス利用で困ること[%・複数回答]

N = 711



問 23 (40 歳以上の方)介護保険制度の要介護(要支援)認定を受けていますか。

全体では「認定を受けていない」が 78.4%と多く、「要介護(要支援)認定を受けている」は 15.9%である。



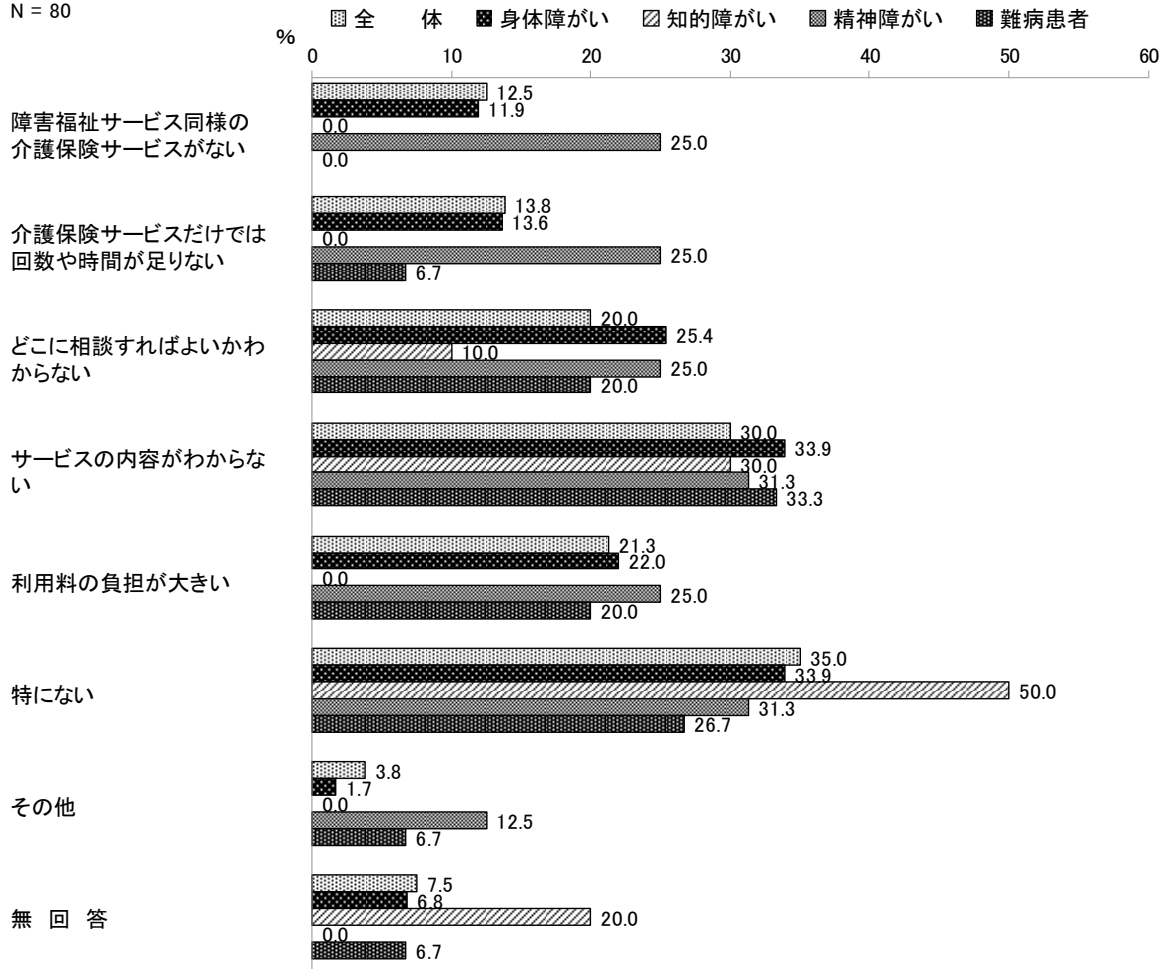
問 23-1 (問 23 で「要介護(要支援)認定を受けている」と回答した方)介護保険サービスの利用で不安や心配なことは何ですか。

全体では、「特にない」が 35.0% (前回 56.8%) と多く、「サービスの内容がわからない」が 30.0% (前回 6.8%)、「利用料の負担が大きい」が 21.3%、「どこに相談すればよいかわからない」が 20.0%、「介護保険サービスだけでは回数や時間が足りない」が 13.8%、「障害福祉サービス同様の介護保険サービスがない」が 12.5%である。前回調査より「特にない」が 21.8 ポイント低く、「サービスの内容がわからない」は 23.2 ポイント高い。

障がい種別では、精神障がいで「障がい福祉サービス同様の介護保険サービスがない」「介護保険サービスだけでは回数や時間が足りない」「どこに相談すればよいかわからない」「利用料の負担が大きい」が 25.0%回答されており、知的障がいで「特にない」が 50.0%回答されている。

N = 80

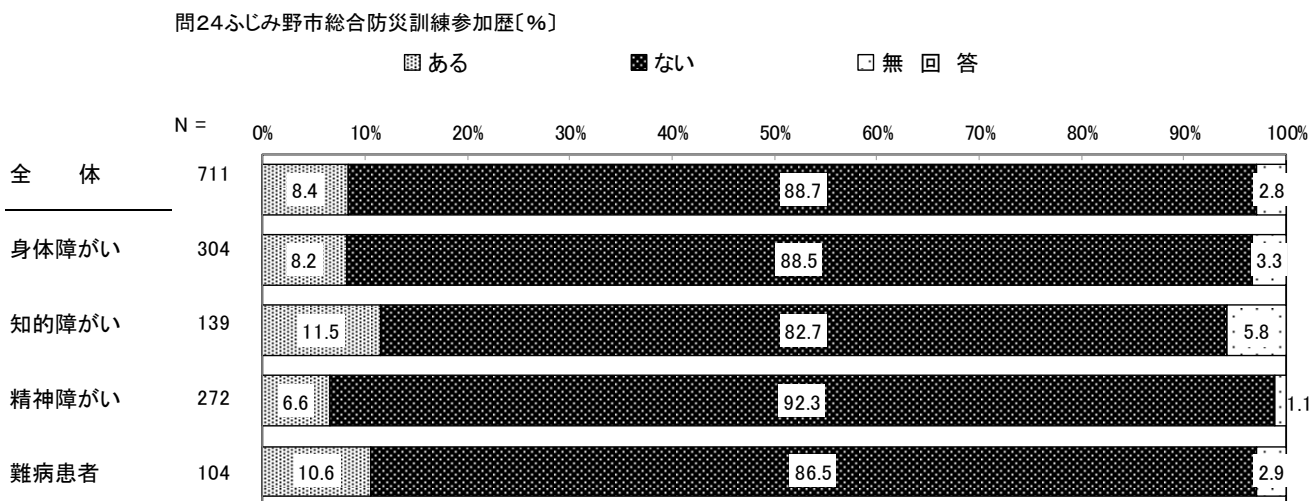
問23-1サービス利用で不安なこと[%・複数回答]



## 5 災害時の対応

### 問 24 ふじみ野市総合防災訓練に参加したことがありますか。

全体では、「ない」が88.7%、「ある」が8.4%である。

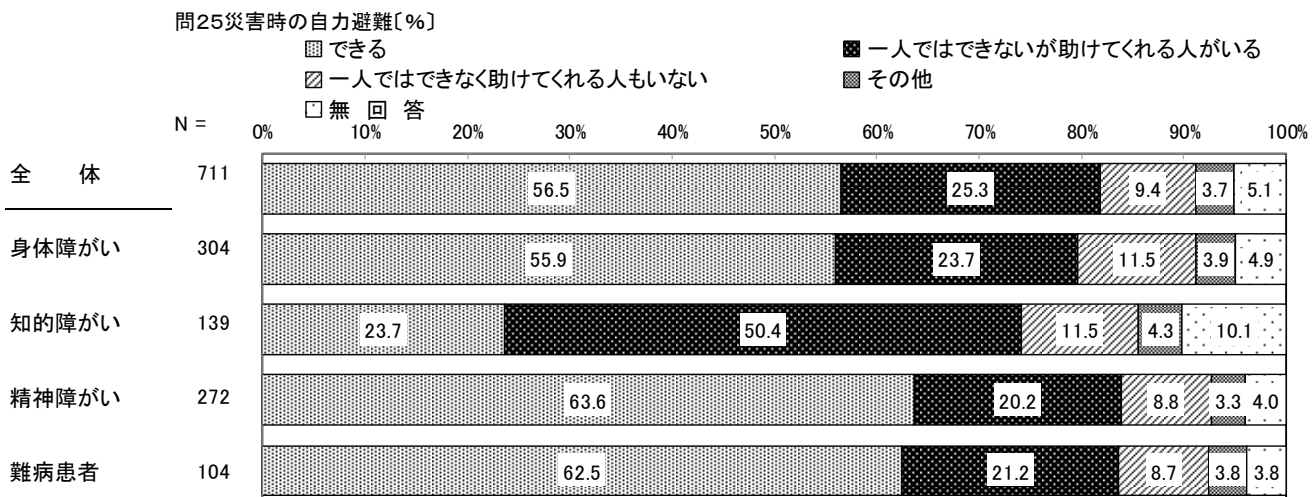


### 問 25 火事や地震などの災害時に一人で避難できますか。

全体では「できる」が56.5%と多く、「一人ではできないが助けてくれる人がいる」が25.3%、「一人ではできなく助けてくれる人もいない」が9.4%である。

障がい種別では、身体障がいと精神障がい、難病患者は「できる」が多いが、知的障がいで23.7%と少なく、「一人ではできないが助けてくれる人がいる」が50.4%である。

身体障害者手帳交付者では、「一人ではできなく助けてくれる人もいない」が11.5%だが、身体障害者手帳2級交付者は21.1%、「一人ではできないが助けてくれる人がいる」が38.0%、「できる」が33.8%である。また、「一人ではできないが助けてくれる人がいる」は、療育手帳(A)交付者と精神障害者保健福祉手帳1級交付者で多く回答されている。



(その他: わからない、体調による等)

		問25災害時の自力避難[%]					
		できる	一人ではできないが助け てくれる人がいる	一人ではでき なく助けしてくれ る人もいない	その他	無回答	
全	体	304	170	72	35	12	15
		100.0	55.9	23.7	11.5	3.9	4.9
問 4 - 1 級 身 体 障 害 者 手 帳 の 等	1級	95	51	22	9	6	7
		100.0	53.7	23.2	9.5	6.3	7.4
	2級	71	24	27	15	-	5
		100.0	33.8	38.0	21.1	-	7.0
	3級	53	35	9	4	4	1
		100.0	66.0	17.0	7.5	7.5	1.9
	4級	49	37	8	2	1	1
	100.0	75.5	16.3	4.1	2.0	2.0	
	5級	21	13	5	3	-	-
		100.0	61.9	23.8	14.3	-	-
	6級	11	9	-	1	1	-
		100.0	81.8	-	9.1	9.1	-
	無回答	4	1	1	1	-	1
		100.0	25.0	25.0	25.0	-	25.0

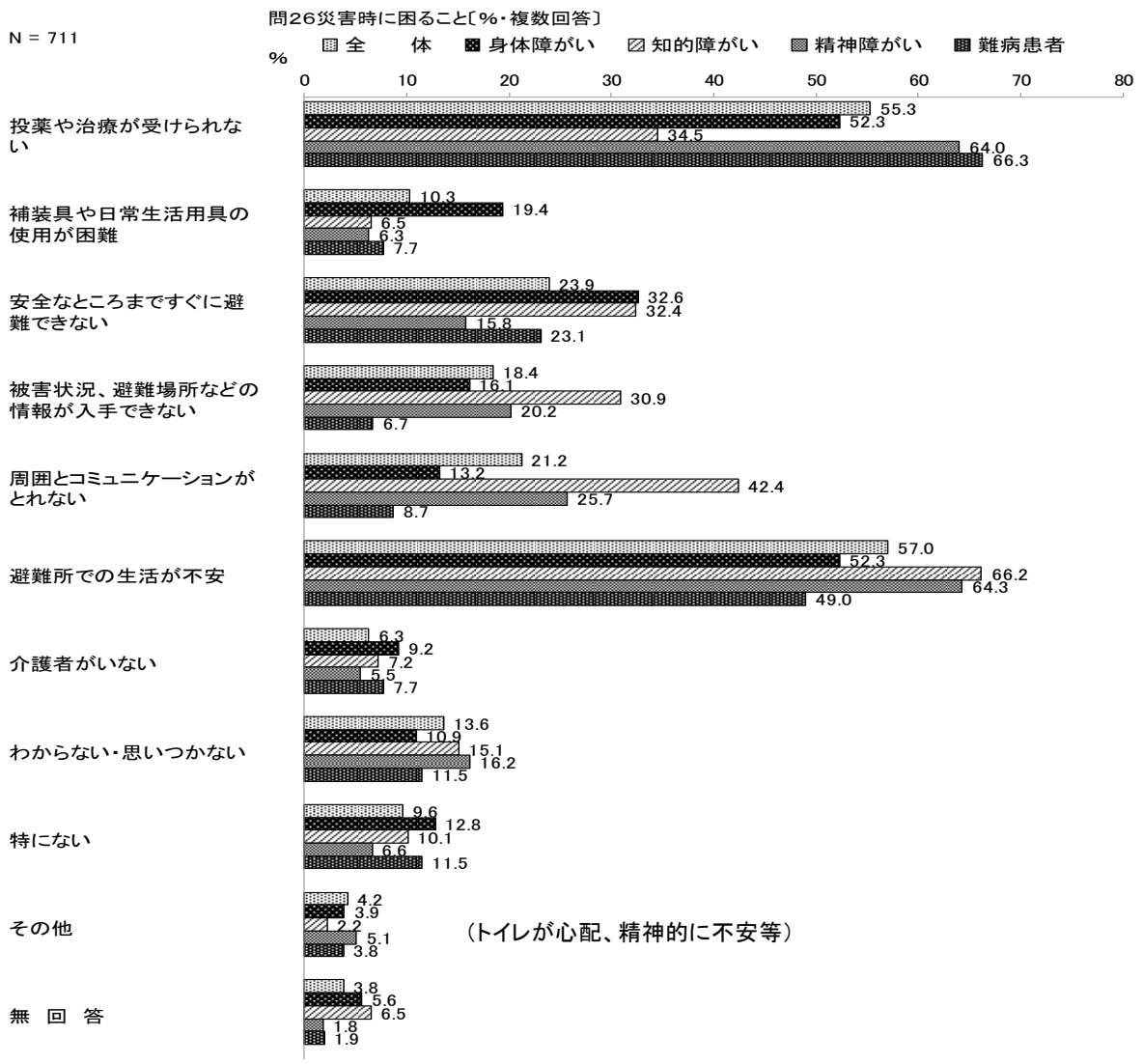
		問25災害時の自力避難[%]					
		できる	一人ではでき ないが助け てくれる 人がいる	一人ではでき なく助け てくれる人 もいない	その他	無回答	
全	体	139	33	70	16	6	14
		100.0	23.7	50.4	11.5	4.3	10.1
問 4 - 3 療 育 手 帳 の 程 度	OA	46	1	29	5	3	8
		100.0	2.2	63.0	10.9	6.5	17.4
	A	28	4	17	4	1	2
		100.0	14.3	60.7	14.3	3.6	7.1
	B	35	11	16	5	1	2
		100.0	31.4	45.7	14.3	2.9	5.7
	C	29	17	7	2	1	2
	100.0	58.6	24.1	6.9	3.4	6.9	
	無回答	1	-	1	-	-	-
		100.0	-	100.0	-	-	-

		問25災害時の自力避難[%]					
		できる	一人ではでき ないが助け てくれる 人がいる	一人ではでき なく助け てくれる人 もいない	その他	無回答	
全	体	272	173	55	24	9	11
		100.0	63.6	20.2	8.8	3.3	4.0
者 問 4 - 保 健 福 祉 精 神 障 害 等 級	1級	12	5	5	1	-	1
		100.0	41.7	41.7	8.3	-	8.3
	2級	156	92	37	14	6	7
		100.0	59.0	23.7	9.0	3.8	4.5
	3級	101	76	13	8	1	3
	100.0	75.2	12.9	7.9	1.0	3.0	
	無回答	3	-	-	1	2	-
		100.0	-	-	33.3	66.7	-

## 問 26 災害時に困ることは何ですか。

全体では「避難所での生活が不安」が 57.0%、「投薬や治療が受けられない」が 55.3%と多く、「安全なところまで迅速に避難できない」が 23.9%、「周囲とコミュニケーションが取れない」が 21.2%、「被害状況・避難場所などの情報が入手できない」18.4%である。

障がい種別では、身体障がいでは「補装具や日常生活用具の使用が困難」が 19.4%、知的障がいでは「周囲とコミュニケーションが取れない」が 42.4%、「被害状況、避難場所などの情報が入手できない」が 30.9%である。「投薬や治療が受けられない」は精神障がいと難病患者で 65%前後回答されている。



問 27 災害時の避難先について、知っているものをご回答ください。

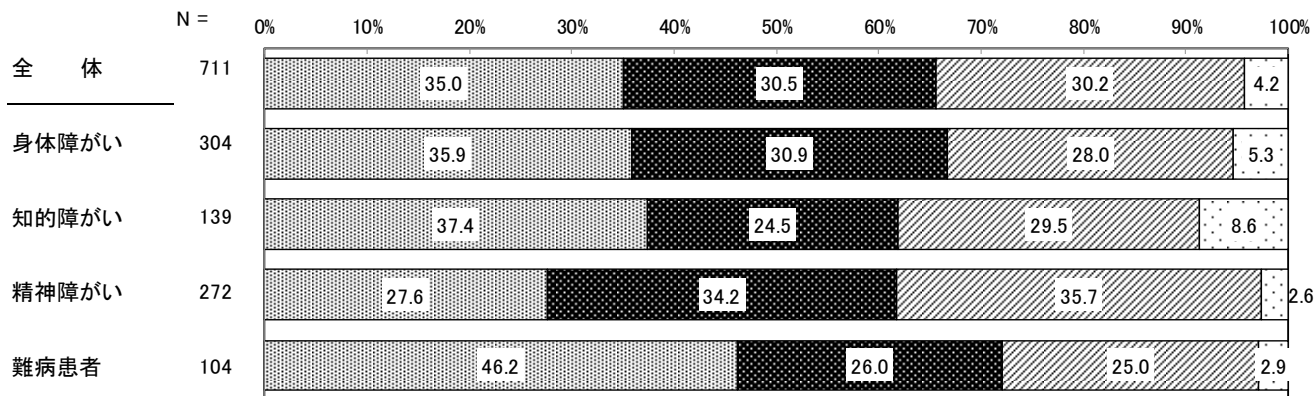
①指定緊急避難場所

全体では「指定されている場所を知っている」が 35.0%、「聞いたことはあるが場所は知らない」が 30.5%、「知らない」が 30.2%である。

障がい種別では、「指定されている場所を知っている」は難病患者で 46.2%と多く、精神障がいは 27.6%と少ない。

問27避難先の認知①指定緊急避難場所[%]

指定されている場所を知っている 聞いたことはあるが場所は知らない 知らない 無回答



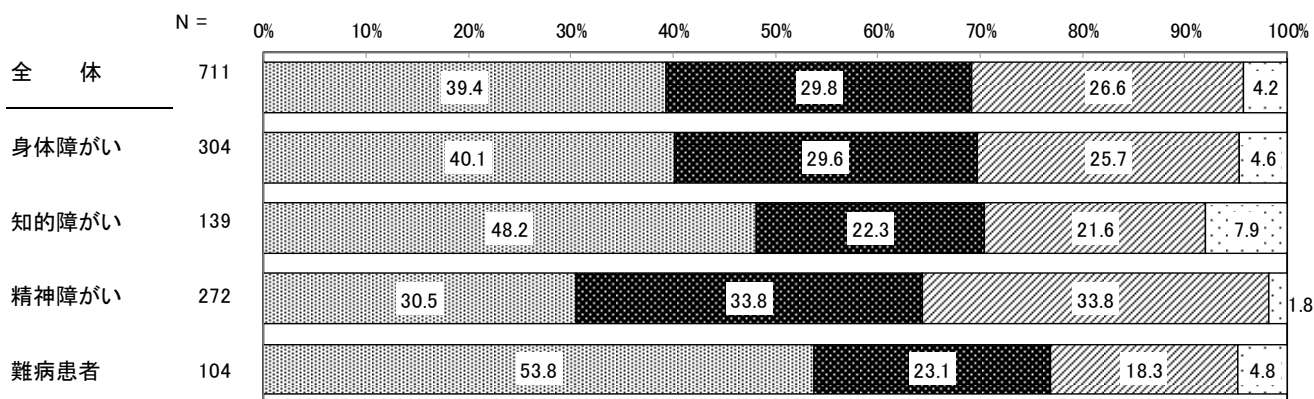
②指定避難所

全体では「指定されている場所を知っている」が 39.4%、「聞いたことはあるが場所は知らない」が 29.8%、「知らない」が 26.6%である。

障がい種別では、「指定されている場所を知っている」が難病患者と知的障がいでそれぞれ 53.8%、48.2%（前回 33.1%）で、前回調査より知的障がいは 15.1 ポイント高い。

問27避難先の認知②指定避難所[%]

指定されている場所を知っている 聞いたことはあるが場所は知らない 知らない 無回答



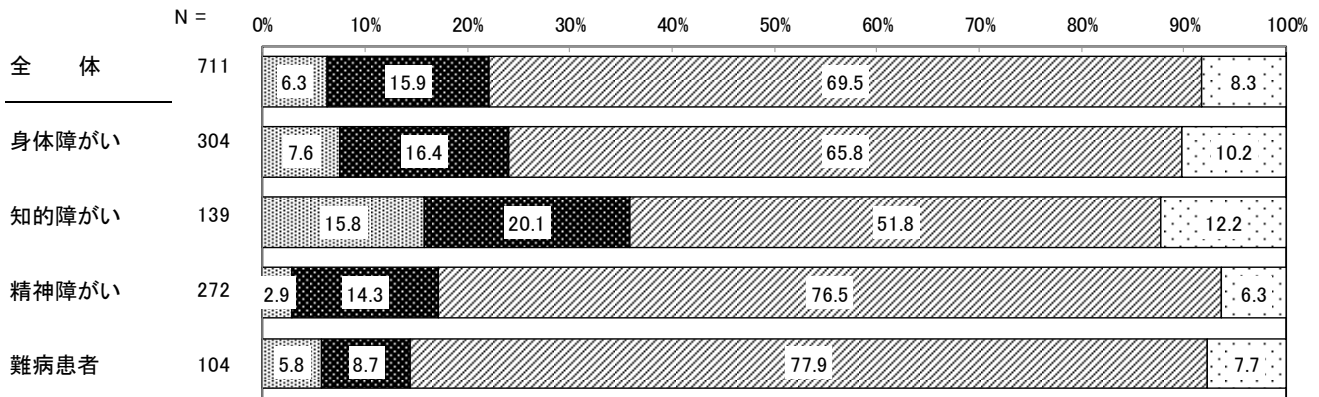
### ③福祉避難所

全体では、「知らない」が69.5%と多く、「聞いたことはあるが場所は知らない」が15.9%、「指定されている場所を知っている」が6.3%である。

障がい種別では、知的障がい「指定されている場所を知っている」が15.8%と多い。

問27避難先の認知③福祉避難所〔%〕

■ 指定されている場所を知っている ■ 聞いたことはあるが場所は知らない ▨ 知らない □ 無回答



### 問28 災害時の避難先として考えている場所をご回答ください。

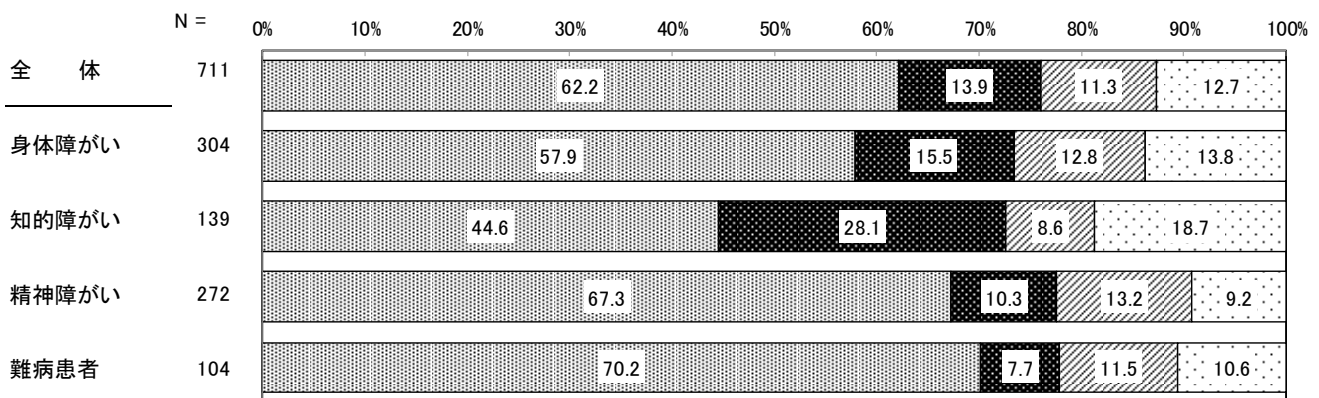
全体では、「指定避難所」が62.2%、「福祉避難所」が13.9%、「その他」が11.3%である。

障がい種別では、知的障がいは「指定避難所」が44.6%、「福祉避難所」が28.1%と多い。

「福祉避難所」は療育手帳Ⓐ交付者で41.3%、身体障害者手帳2級交付者で23.9%である。

問28想定する避難先〔%〕

■ 指定避難所 ■ 福祉避難所 ▨ その他 □ 無回答



(その他: わからない、考えていない等)

		問28想定する避難先〔%〕				
		指定避難所	福祉避難所	その他	無回答	
全	全体	304	176	47	39	42
		100.0	57.9	15.5	12.8	13.8
問4-1 級 身 体 障 害 者 手 帳 の 等	1級	95	52	17	12	14
		100.0	54.7	17.9	12.6	14.7
	2級	71	37	17	6	11
		100.0	52.1	23.9	8.5	15.5
	3級	53	34	7	6	6
		100.0	64.2	13.2	11.3	11.3
	4級	49	31	4	10	4
		100.0	63.3	8.2	20.4	8.2
	5級	21	13	1	4	3
	100.0	61.9	4.8	19.0	14.3	
6級	11	8	1	-	2	
	100.0	72.7	9.1	-	18.2	
無回答	4	1	-	1	2	
	100.0	25.0	-	25.0	50.0	

		問28想定する避難先〔%〕				
		指定避難所	福祉避難所	その他	無回答	
全	全体	139	62	39	12	26
		100.0	44.6	28.1	8.6	18.7
問4 程 度 3 療 育 手 帳 の 無 回 答	Ⓐ	46	12	19	5	10
		100.0	26.1	41.3	10.9	21.7
	A	28	8	9	3	8
		100.0	28.6	32.1	10.7	28.6
	B	35	19	7	2	7
		100.0	54.3	20.0	5.7	20.0
	C	29	22	4	2	1
		100.0	75.9	13.8	6.9	3.4
	無回答	1	1	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	

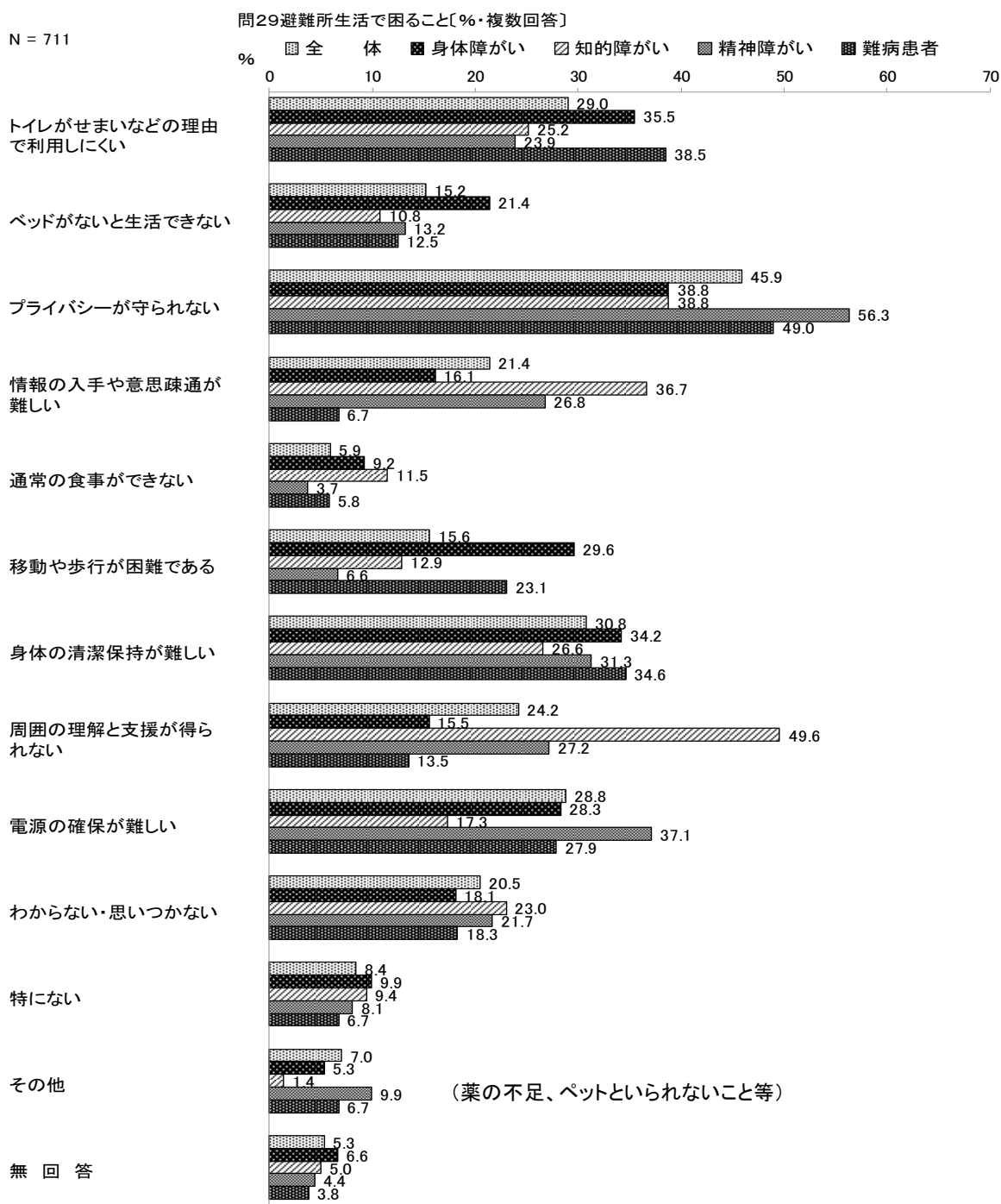
問 29 避難所での生活で困ることは何ですか。

全体では、「プライバシーが守られない」が 45.9%と多く、「身体の清潔保持が難しい」が 30.8%、「トイレがせまいなどの理由で利用しにくい」が 29.0%、「電源の確保が難しい」が 28.8%、「周囲の理解と支援が得られない」24.2%、「情報の入手や意思疎通が難しい」21.4%である。

障がい種別では、身体障がい「移動や歩行が困難である」が 29.6%、知的障がい「周囲の理解と支援が得られない」が 49.6%、「情報の入手や意思疎通が難しい」が 36.7%、精神障がい「プライバシーが守られない」が 56.3%となっている。

医療的ケアを受けている回答者では、「身体の清潔保持が難しい」と「電源の確保が難しい」が 35%前後回答されている。

「電源の確保が難しい」は、身体障害者手帳5級交付者で 42.9%回答されている。



		問29避難所生活で困ること[%・複数回答]													
		トイレがせ まいなどの 理由で利用 しにくい	ベッドが ないと生 活できな い	プライバ シーが守 られない	情報の入手 や意思疎通 が難しい	通常の食 事ができ ない	移動や歩 行が困難 である	身体の清 潔保持が 難しい	周囲の理 解と支援が 得られない	電源の確 保が難し い	わからな い・思い つかない	特にな い	その他	無 回 答	
全 体		711	206	108	326	152	42	111	219	172	205	146	60	50	38
		100.0	29.0	15.2	45.9	21.4	5.9	15.6	30.8	24.2	28.8	20.5	8.4	7.0	5.3
問 4 - 1 級 身 体 障 害 者 手 帳 の 等	受けてい る	212	65	44	98	39	16	36	79	55	74	45	12	19	19
		100.0	30.7	20.8	46.2	18.4	7.5	17.0	37.3	25.9	34.9	21.2	5.7	9.0	9.0
	受けてい ない	450	130	56	207	108	24	64	126	111	121	92	41	31	12
		100.0	28.9	12.4	46.0	24.0	5.3	14.2	28.0	24.7	26.9	20.4	9.1	6.9	2.7
	無 回 答	49	11	8	21	5	2	11	14	6	10	9	7	-	7
		100.0	22.4	16.3	42.9	10.2	4.1	22.4	28.6	12.2	20.4	18.4	14.3	-	14.3

		問29避難所生活で困ること[%・複数回答]												
		トイレがせ まいなどの 理由で利用 しにくい	ベッドが ないと生 活できな い	プライバ シーが守 られない	情報の入手 や意思疎通 が難しい	通常の食 事ができ ない	移動や歩 行が困難 である	身体の清 潔保持が 難しい	周囲の理 解と支援が 得られ ない	電源の確 保が難し い				
全 体		304	108	65	118	49	28	90	104	47	86			
		100.0	35.5	21.4	38.8	16.1	9.2	29.6	34.2	15.5	28.3			
問 4 - 1 級 身 体 障 害 者 手 帳 の 等	1級	95	34	22	39	14	11	31	36	16	33			
		100.0	35.8	23.2	41.1	14.7	11.6	32.6	37.9	16.8	34.7			
	2級	71	27	21	26	14	6	31	25	18	20			
		100.0	38.0	29.6	36.6	19.7	8.5	43.7	35.2	25.4	28.2			
	3級	53	17	8	25	7	4	13	16	4	11			
		100.0	32.1	15.1	47.2	13.2	7.5	24.5	30.2	7.5	20.8			
	4級	49	15	3	15	9	2	5	16	4	8			
		100.0	30.6	6.1	30.6	18.4	4.1	10.2	32.7	8.2	16.3			
5級	21	10	7	10	4	3	6	8	4	9				
	100.0	47.6	33.3	47.6	19.0	14.3	28.6	38.1	19.0	42.9				
6級	11	2	3	1	-	1	2	1	-	2				
	100.0	18.2	27.3	9.1	-	9.1	18.2	9.1	-	18.2				
	無 回 答	4	3	1	2	1	2	2	2	1	3			
		100.0	75.0	25.0	50.0	25.0	25.0	50.0	50.0	25.0	75.0			

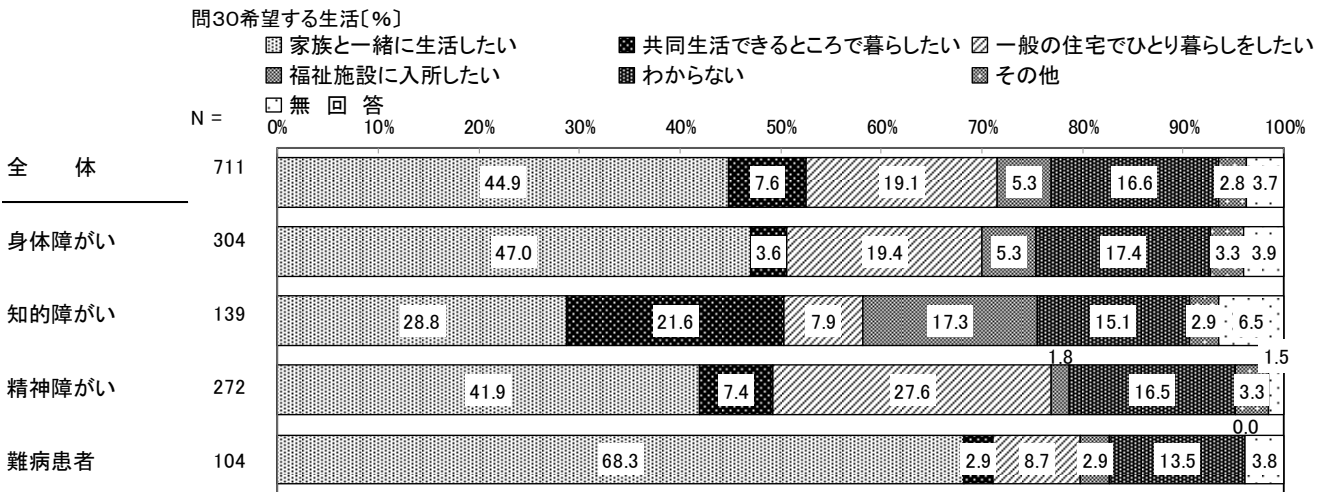
## 6 今後の地域での生活

### 問 30 将来どのような生活を望んでいますか。

全体では、「家族と一緒に生活したい」が 44.9%と多く、「一般の住宅でひとり暮らしをしたい」が 19.1%、「わからない」が 16.6%である。

障がい種別では、知的障がいでは「共同生活できるところで暮らしたい」が 21.6%（前回「グループホームなどの共同生活」32.3%）、難病患者で「家族と一緒に生活したい」が 68.3%と多く、「一般の住宅でひとり暮らしをしたい」は精神障がいでは 27.6%である。前回調査より知的障がいは「共同生活できるところで暮らしたい」が 10.7ポイント低い。

療育手帳 A・B・C 交付者は「家族と一緒に生活したい」が多く、療育手帳 ㉠ 交付者は「福祉施設に入所したい」が多く回答されている。精神障害者保健福祉手帳 2・3 級交付者は「一般の住宅でひとり暮らしをしたい」が多く、精神障害者保健福祉手帳 1 級交付者は「家族と一緒に生活したい」の他、「共同生活できるところで暮らしたい」が回答されている。



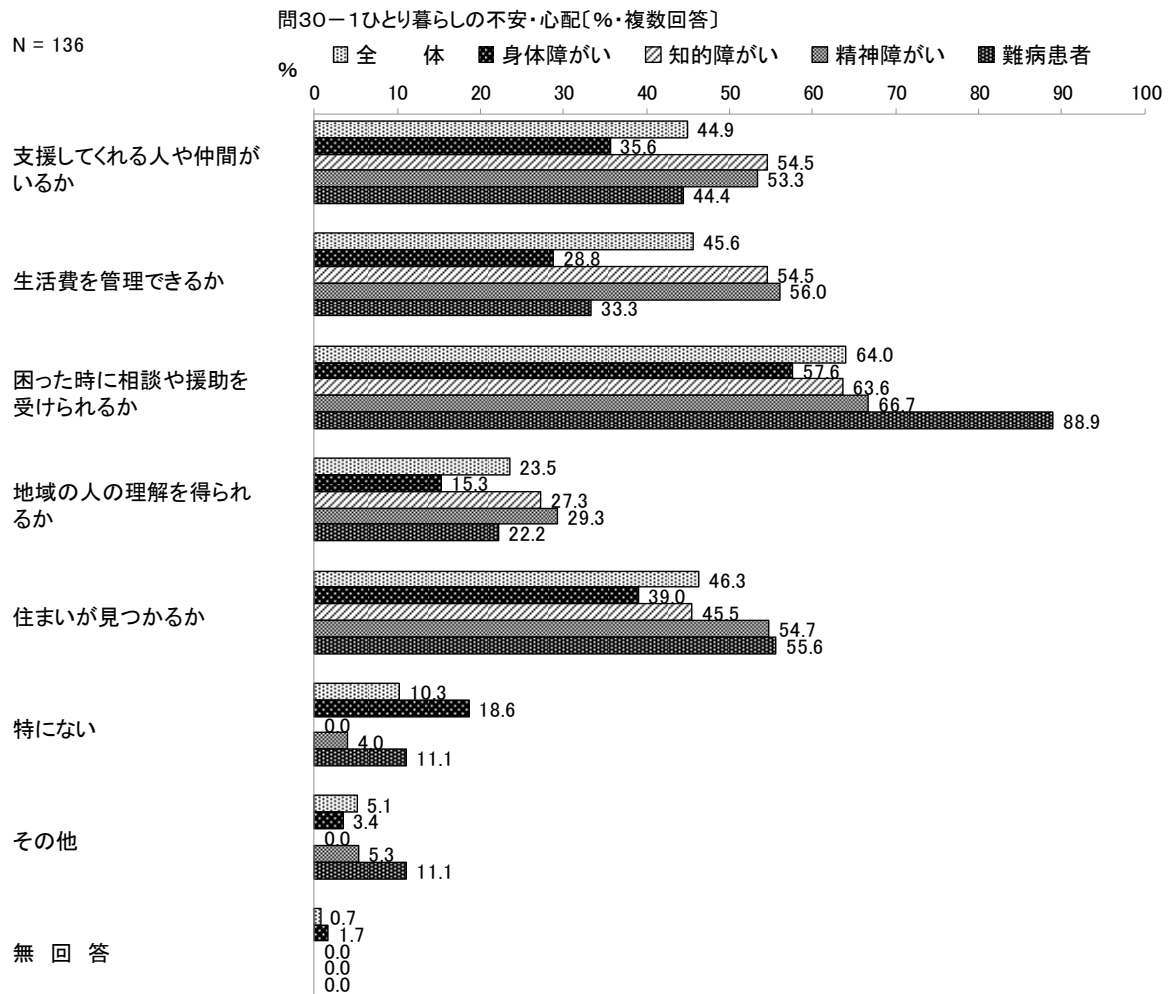
		問30希望する生活[%]							
		家族と一緒に生活したい	共同生活できるところで暮らしたい	一般の住宅でひとり暮らしをしたい	福祉施設に入所したい	わからない	その他	無回答	
全 体		139	40	30	11	24	21	4	9
		100.0	28.8	21.6	7.9	17.3	15.1	2.9	6.5
問 4	㉠	46	9	9	-	18	3	2	5
		100.0	19.6	19.6	-	39.1	6.5	4.3	10.9
程 度 1	A	28	9	7	2	4	2	1	3
		100.0	32.1	25.0	7.1	14.3	7.1	3.6	10.7
程 度 2	B	35	12	6	3	1	12	1	-
		100.0	34.3	17.1	8.6	2.9	34.3	2.9	-
程 度 3	C	29	10	7	6	1	4	-	1
		100.0	34.5	24.1	20.7	3.4	13.8	-	3.4
療育手帳の無回答		1	-	1	-	-	-	-	-
		100.0	-	100.0	-	-	-	-	-

		問30希望する生活[%]							
		家族と一緒に生活したい	共同生活できるところで暮らしたい	一般の住宅でひとり暮らしをしたい	福祉施設に入所したい	わからない	その他	無回答	
全 体		272	114	20	75	5	45	9	4
		100.0	41.9	7.4	27.6	1.8	16.5	3.3	1.5
帳 害 問 4	1 級	12	5	3	1	-	3	-	-
		100.0	41.7	25.0	8.3	-	25.0	-	-
等 保 健 4	2 級	156	61	12	47	3	25	6	2
		100.0	39.1	7.7	30.1	1.9	16.0	3.8	1.3
級 福 精 3 級		101	47	5	26	2	16	3	2
		100.0	46.5	5.0	25.7	2.0	15.8	3.0	2.0
障 害 手 帳 無 回 答		3	1	-	1	-	1	-	-
		100.0	33.3	-	33.3	-	33.3	-	-

問 30-1 (問 30 で「一般の住宅でひとり暮らしをしたい」と回答した方)ひとり暮らしをするにあたって、不安や心配に感じていることはありますか。

全体では、「困ったときに相談や援助を受けられるか」が 64.0%、「住まいが見つかるか」が 46.3%、「生活費を管理できるか」が 45.6%、「支援してくれる人や仲間がいるか」が 44.9%（前回 29.8%）で、前回調査より「支援してくれる人や仲間がいるか」が 15.1 ポイント高い。

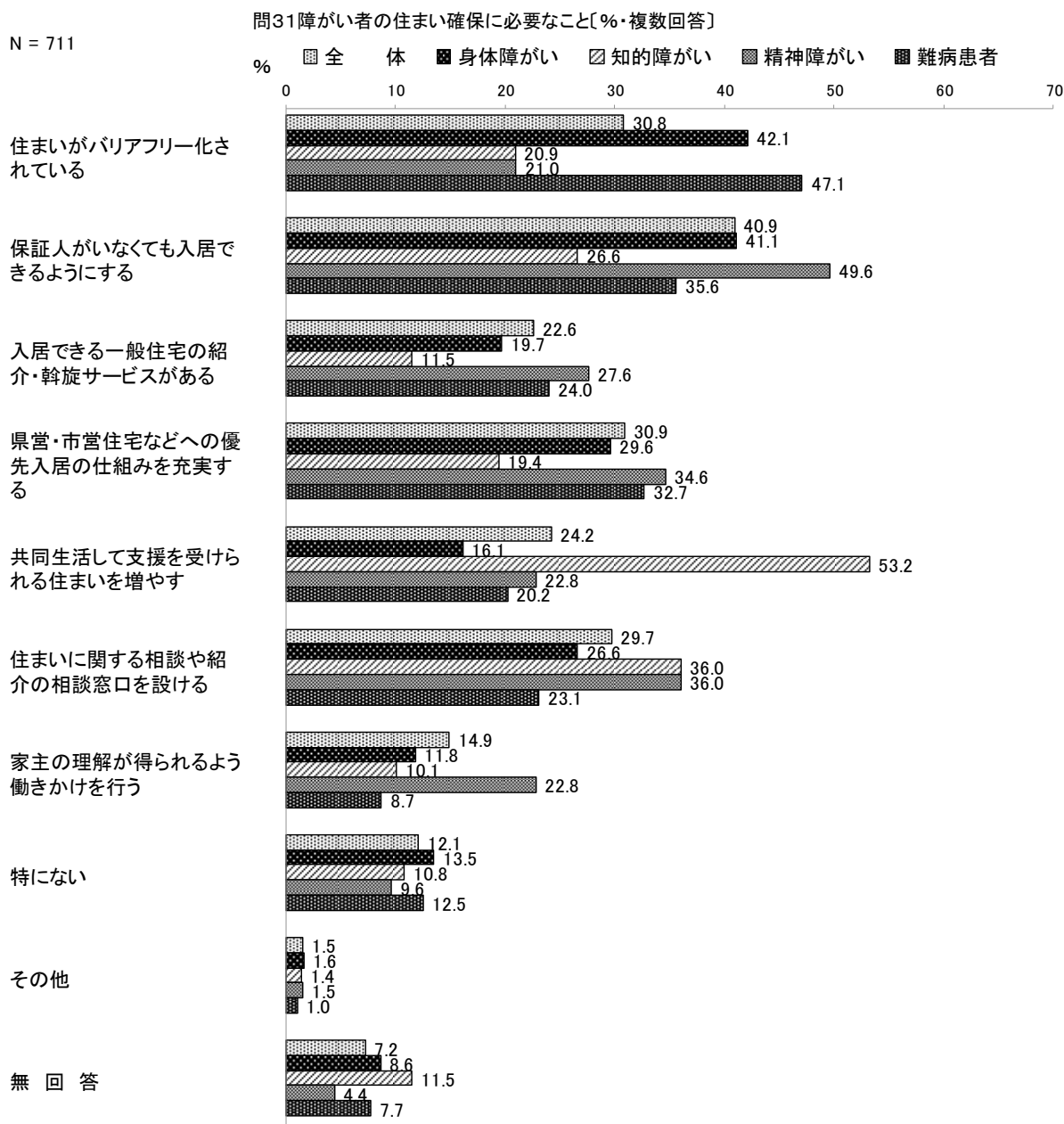
障がい種別では、難病患者で「困ったときに相談や援助を受けられるか」が 88.9%回答されている。



問 31 地域で障がいのある人の住まいを確保するために特に必要だと思うことは何ですか。

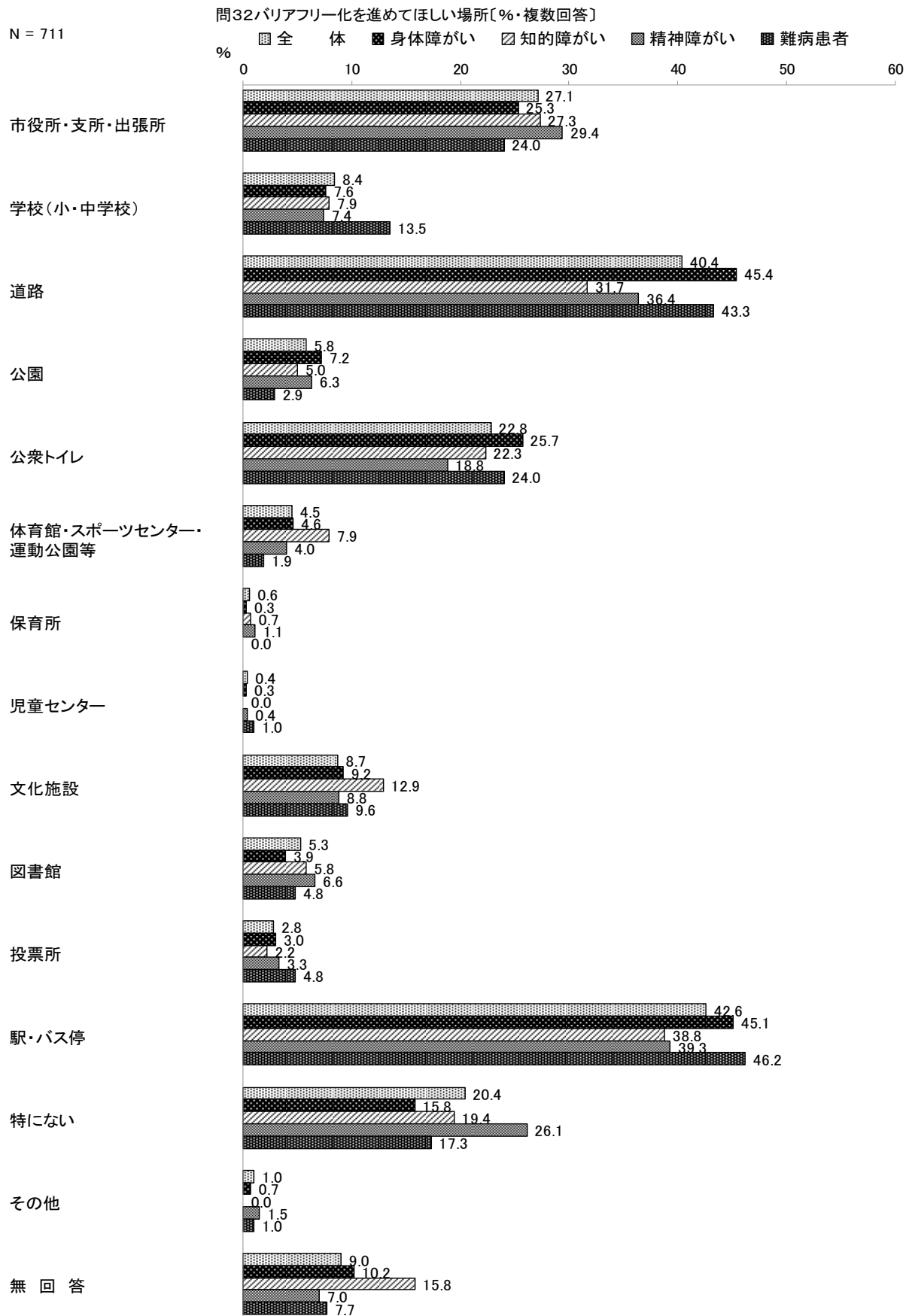
全体では、「保証人がいなくても入居できるようにする」が 40.9%、「県営・市営住宅などへの優先入居の仕組みを充実する」が 30.9%、「住まいがバリアフリー化されている」が 30.8%、「住まいに関する相談や紹介の相談窓口を設ける」が 29.7%、「共同生活して支援を受けられる住まいを増やす」が 24.2%である。

障がい種別では、身体障がいと難病患者で「住まいがバリアフリー化されている」が 42.1%、47.1%、知的障がいと精神障がいでは「共同生活して支援を受けられる住まいを増やす」が 53.2%、精神障がいと難病患者で「保証人がいなくても入居できるようにする」が 49.6%となっている。



問 32 ふじみ野市内の公共性の高い施設で、特にバリアフリー化を進めてほしいところはどこですか。

全体では、「駅・バス停」が 42.6%、「道路」が 40.4%と多く、「市役所・支所・出張所」が 27.1%、「公衆トイレ」が 22.8%、「特にない」は 20.4%である。



問 33 ふじみ野市は、障がいのある人にとって住みやすいまちだと思いますか。

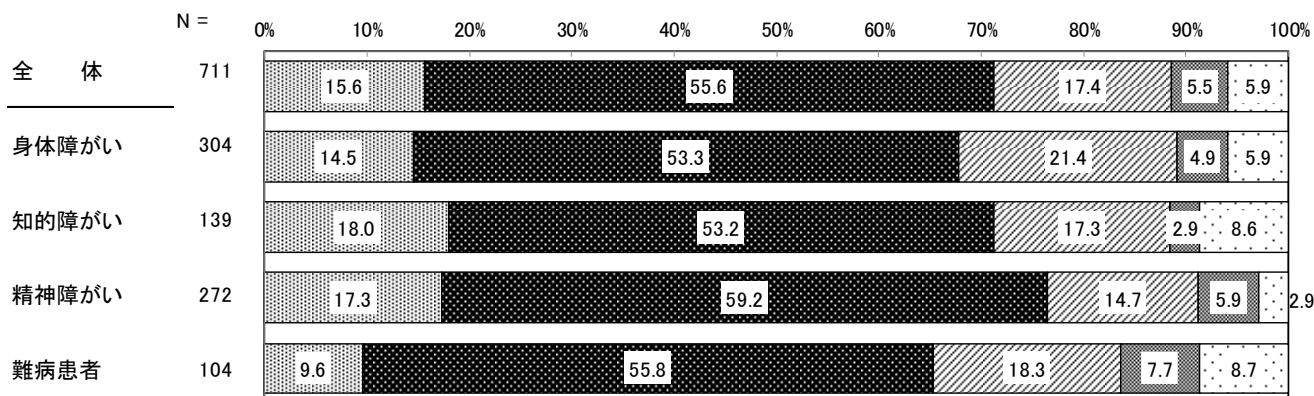
全体では、『住みやすい』（「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」の計）は 71.2%、『住みにくい』（「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」の計）が 22.9% である。

障がい種別では、『住みやすい』は精神障がい者で 76.5%とやや多い。

身体障害者手帳交付者では、『住みやすい』は 67.8%だが、3～5級は 80%前後である。

問33障がい者の住みやすさ[%]

■ 住みやすい ■ どちらかといえば住みやすい ▨ どちらかといえば住みにくい ■ 住みにくい □ 無 回 答



		問33障がい者の住みやすさ[%]					
		住みやす い	どちらかとい えば住みやす い	どちらかとい えば住みにく い	住みにく い	無回答	
全 体		304	44	162	65	15	18
		100.0	14.5	53.3	21.4	4.9	5.9
問 4 - 1 身 体 障 害 者 手 帳 の 等 級	1級	95	12	40	27	5	11
		100.0	12.6	42.1	28.4	5.3	11.6
	2級	71	12	37	14	5	3
		100.0	16.9	52.1	19.7	7.0	4.2
	3級	53	10	32	8	1	2
		100.0	18.9	60.4	15.1	1.9	3.8
	4級	49	7	31	8	2	1
	100.0	14.3	63.3	16.3	4.1	2.0	
5級	21	1	17	2	1	-	
	100.0	4.8	81.0	9.5	4.8	-	
6級	11	1	5	5	-	-	
	100.0	9.1	45.5	45.5	-	-	
無 回 答	4	1	-	1	1	1	
	100.0	25.0	-	25.0	25.0	25.0	

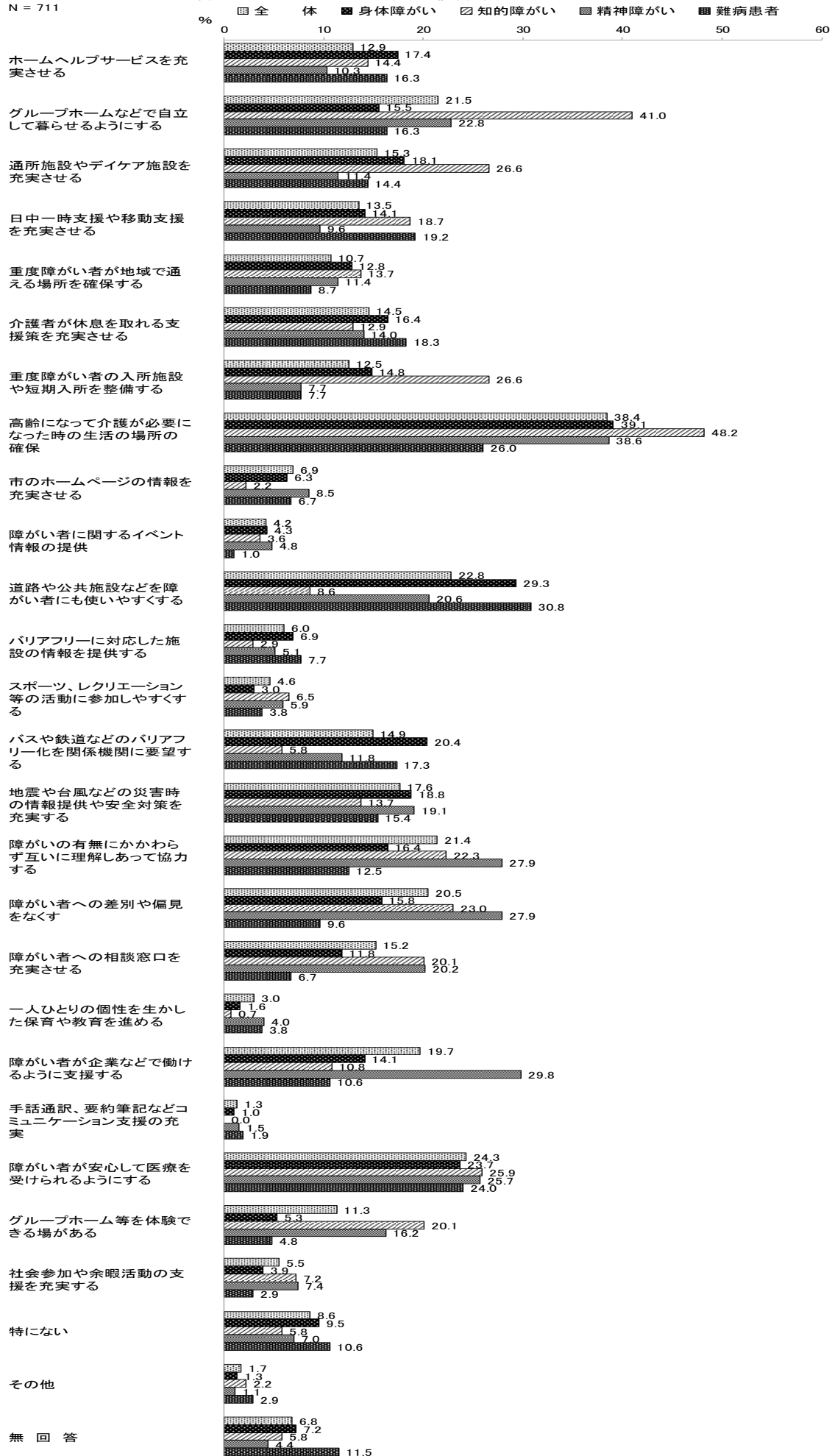
問 34 今後、ふじみ野市に重点的に進めてほしいと思う障がい者福祉の取組は何ですか。

全体では、「高齢になって介護が必要になった時の生活の場所の確保」が 38.4%（前回 43.0%）と多く、「障がい者が安心して医療を受けられるようにする」24.3%（前回 41.3%）、「道路や公共施設などを障がい者にも使いやすくする」が 22.8%（前回 32.4%）、「グループホームなどで自立して暮らせるようにする」21.5%「障がいの有無にかかわらず互いに理解しあって協力する」が 21.4%（前回 40.5%）となっている。

障がい種別では、知的障がい者で「高齢になって介護が必要になった時の生活の場所の確保」が 48.2%「グループホームなどで自立して暮らせるようにする」が 45.7%、「通所施設やデイケア施設を充実させる」と「重度障がい者の入所施設や短期入所を整備する」がともに 26.6%、精神障がい者で「障がい者が企業などで働けるように支援する」が 29.8%と多い。

N = 711

問34重点的に進めてほしい取組[%・複数回答]



第1章

第2章 障がい者調査

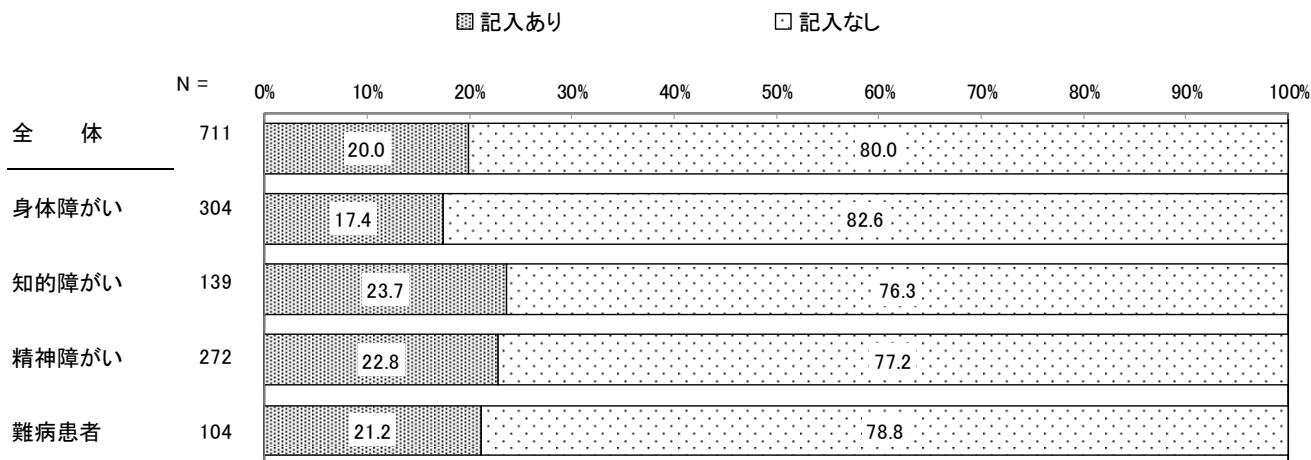
第3章

第4章

問 35 障がい者福祉に関するご意見などがありましたらご自由にお書きください。

全体では 20.0%の記入があり、生活環境に関することや生涯の不安に関することがみられる。

問35自由意見[%]



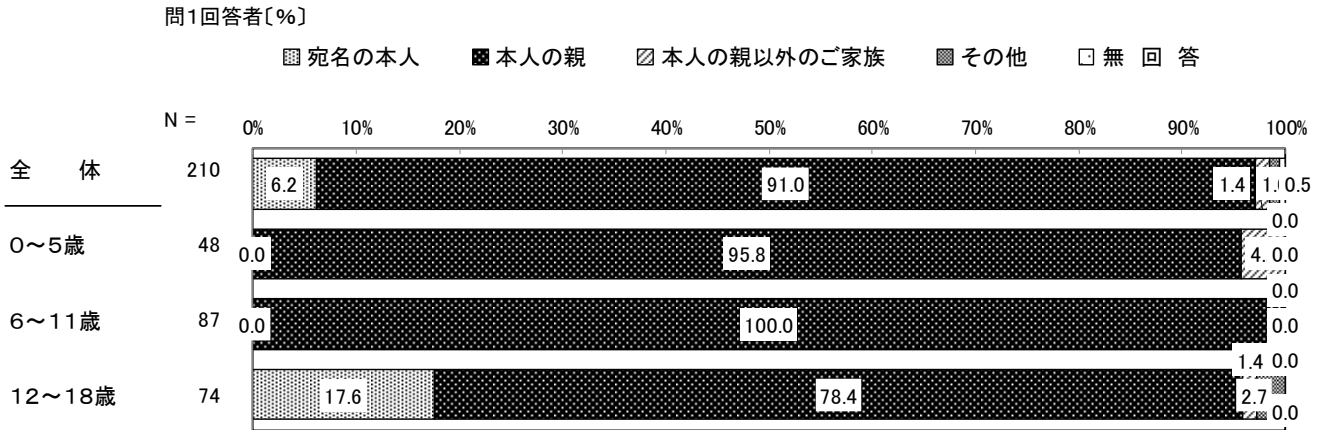
順位	内容	件数
1位	生活環境に関すること	18件
	障がい者が生活しやすくしてほしい。道路整備をお願いする。障がいのある人も安心して歩けるまちづくりを目指してほしい。県営住宅に入居したいが、目が見えにくいので申込みができない。	
2位	将来の不安に関すること	14件
	障がい者の介護をしている者が高齢、もしくは病気療養等で介護が難しくなった時、安心して託せる施設があることを切に希望する。現在は母親の世話になっているが、先行きがとても心配である。	
3位	外出・移動手段に関すること	各12件
	通院のための移動手段を充実してほしい。駐車スペースを充実してほしい。車いすで乗降可能なスペースがある駐車場がない。お出かけタクシーサポートに枠があるため利用できなかったことがある。	
	手続き等に関すること	
	市役所での手続きがわかりづらい。手続きのサポートをしっかりとってほしい。本庁に行かないといけない手続きがあるので、支所でも全ての手続きができるようにしてほしい。	
5位	就労に関すること	11件
	障がい者の就労できる場所を増やす。障がい者雇用で就職したいのに、いくら経っても就職できない。毎日仕事があるということはありがたいと思っている。このまま続けられればと願っている。	

# 第3章 障がい児調査

## 1 回答者の状況

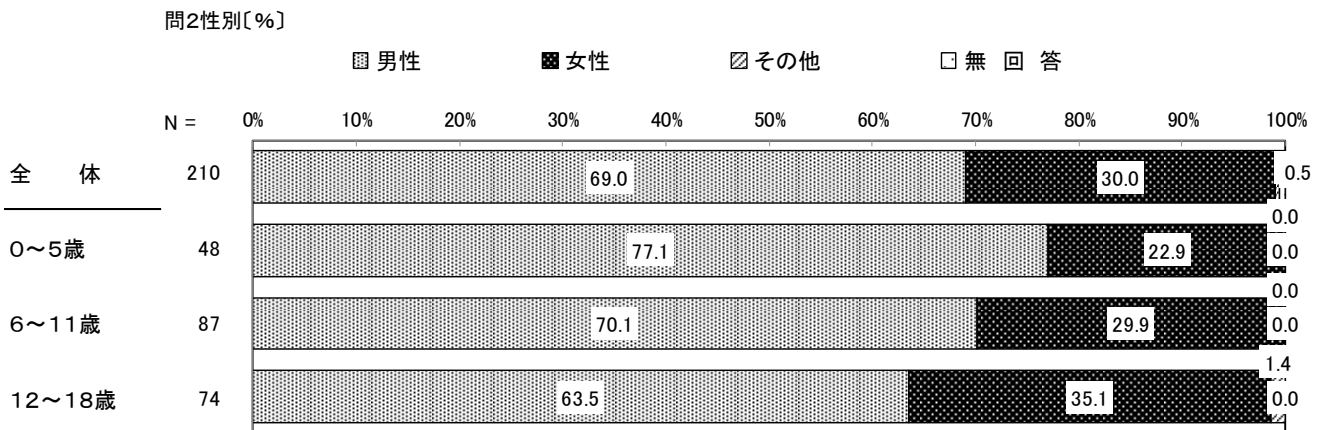
問1 回答するのはどなたですか。

全体では、「本人の親」が91.0%とほとんどである。



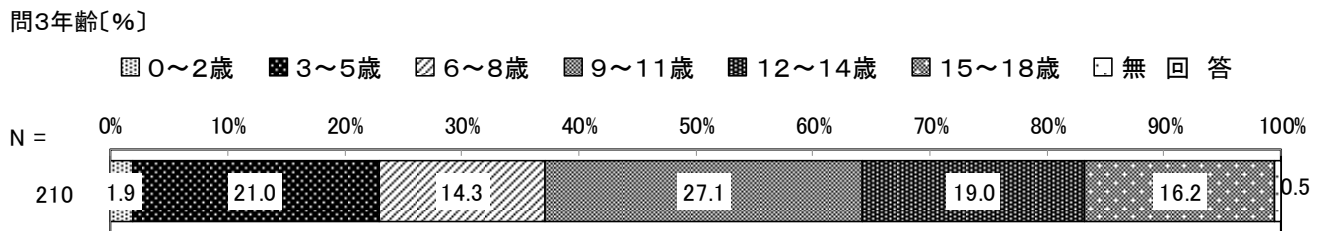
問2 宛名の方の性別をご回答ください。

全体では、「男性」が69.0%、「女性」が30.0%である。



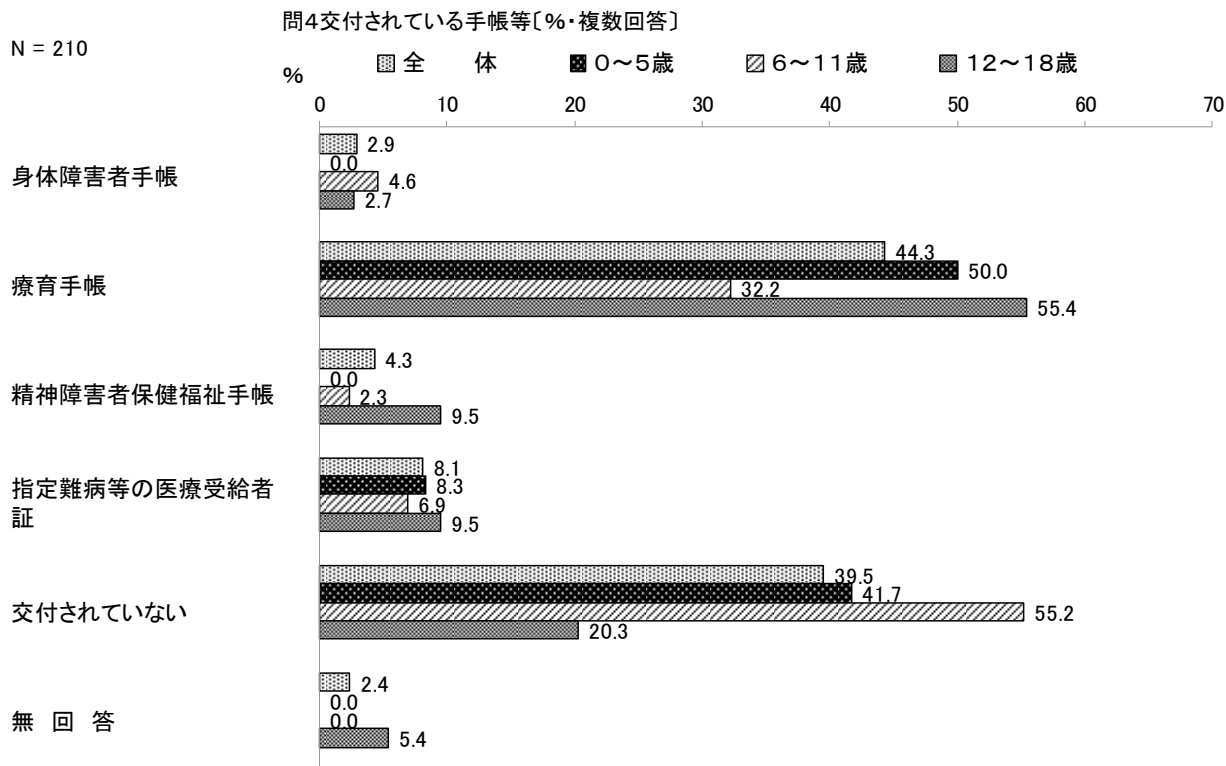
問3 宛名の方の年齢をご回答ください。

全体では、「9~11歳」が27.1%、「3~5歳」が21.0%、「12~14歳」が19.0%、「15~18歳」が16.2%、「6~8歳」が14.3%、「0~2歳」が1.9%である。



問4 宛名の方が交付されている手帳等をご回答ください。

全体では「療育手帳」が44.3%と多く、「交付されていない」が39.5%である。  
年齢別では、「6～11歳」で「交付されていない」が55.2%となっている。

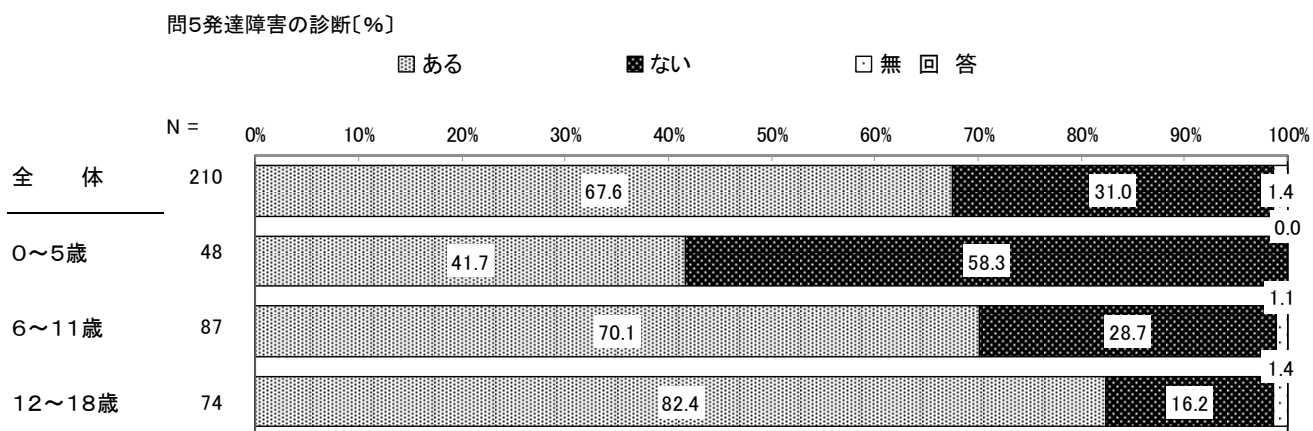


問4-1(身体障害者手帳を交付されている方)障害者手帳に記載されている障がいは何ですか。

身体障害者手帳の交付を受けている児童は少数で、ほとんどが「肢体不自由」を回答している。

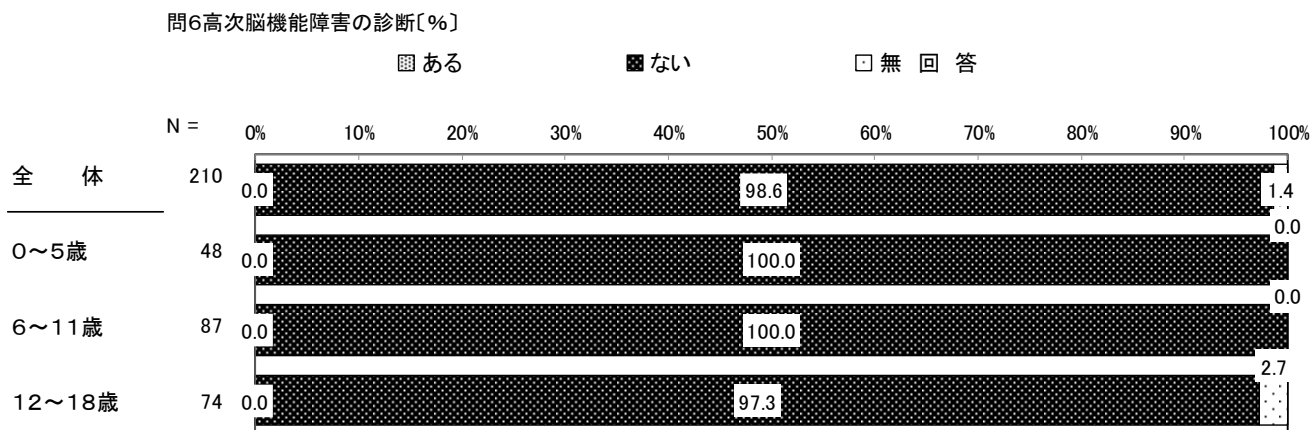
問5 宛名の方は、専門機関や医療機関で発達障害と診断されたことはありますか。

全体では「ない」が67.6%と多く、「ある」は31.0%である。  
年齢別では、年齢が上がると「ある」が増え、「12～18歳」で82.4%となっている。



問6 宛名の方は、専門機関や医療機関で高次脳機能障害と診断されたことはありますか。

全体では「ない」が98.6%と大半を占めている。

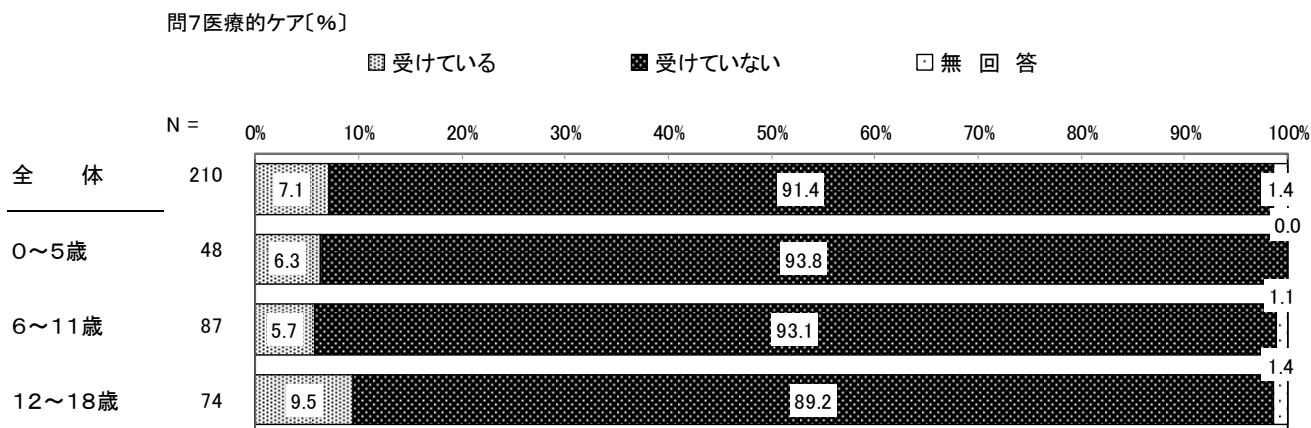


問7 宛名の方は、医療的ケアを受けていますか。

全体では「受けていない」が91.4%を占め、「受けている」は7.1%である。

年齢別では、12~18歳で「受けている」が9.5%でやや多い。

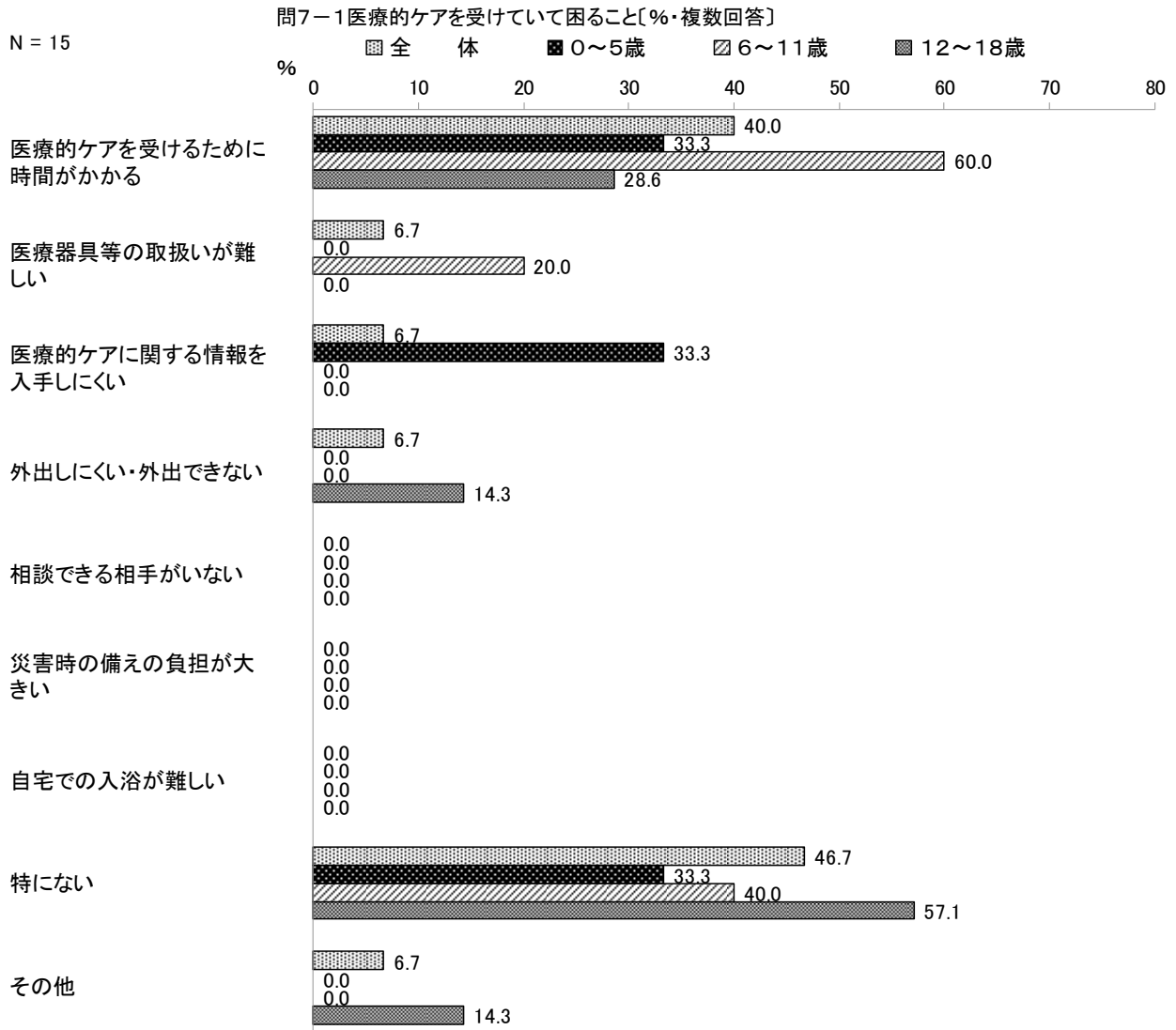
障がい種別では、「受けている」は療育手帳交付者と未交付者で少数みられる。



	N	問7医療的ケア[%]		
		受けている	受けていない	無回答
全体	210	7.1	91.4	1.4
問4等				
身体障害者手帳	6	-	6	-
療育手帳	93	6.5	92.5	1.1
精神障害者保健福祉手帳	9	2	7	-
指定難病等の医療受給者証	17	1	15	1
交付されていない手帳	83	6	77	-
無回答	5	-	4	1
	100.0	-	80.0	20.0

問7-1 (問7で「受けている」と回答した方) 医療的ケアを受けていて困っていることは何ですか。

全体では、「特にない」が 46.7%、「医療的ケアを受けるために時間がかかる」が 40.0% (前回「時間が拘束される」27.8%) と多く、「医療器具等の取扱いが難しい」「医療的ケアに関する情報を入手しにくい」「外出しにくい・外出できない」がともに 6.7%である。

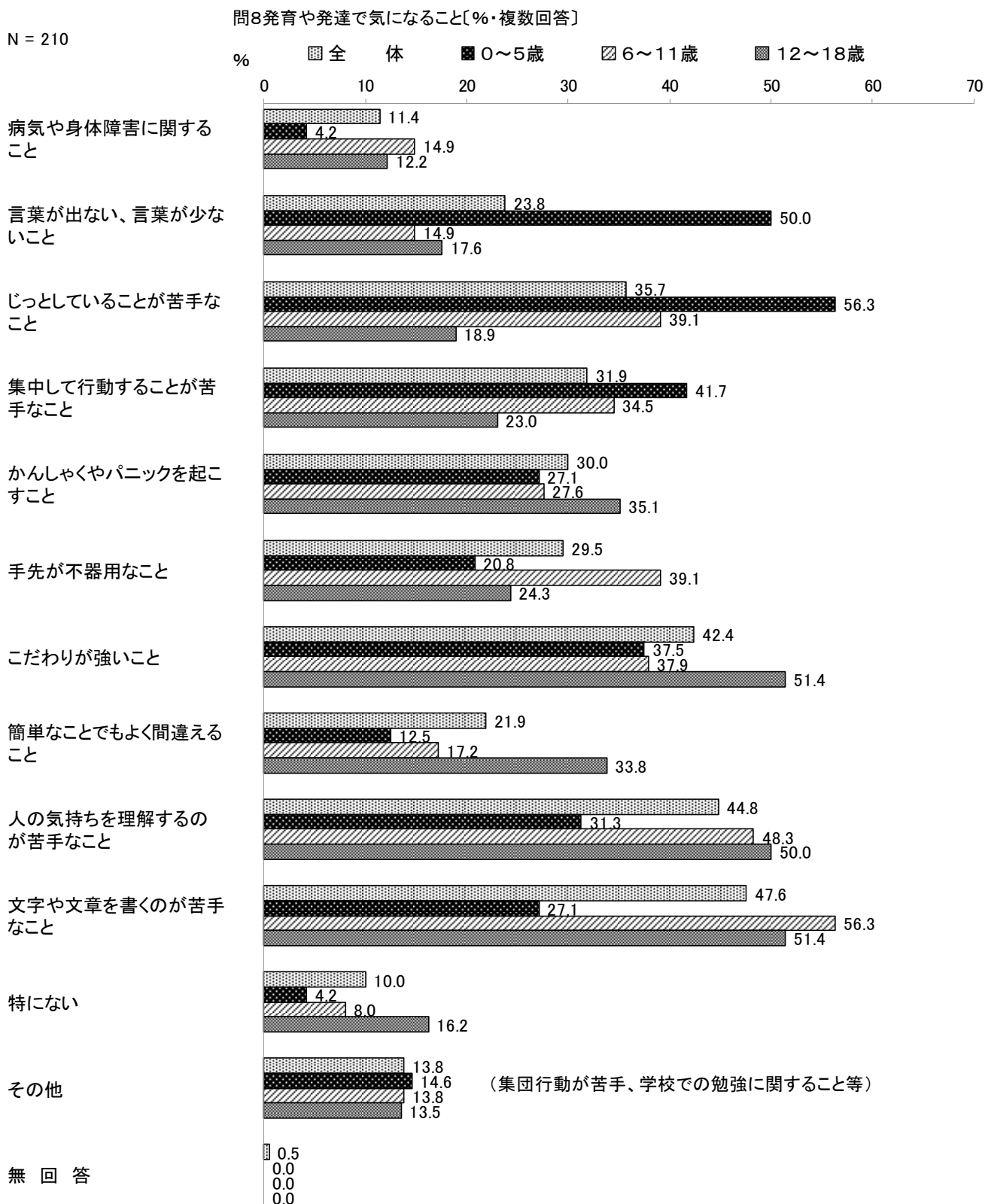


## 2 発育・発達に関すること

問8 宛名の方の発育や発達で気になることはありますか。

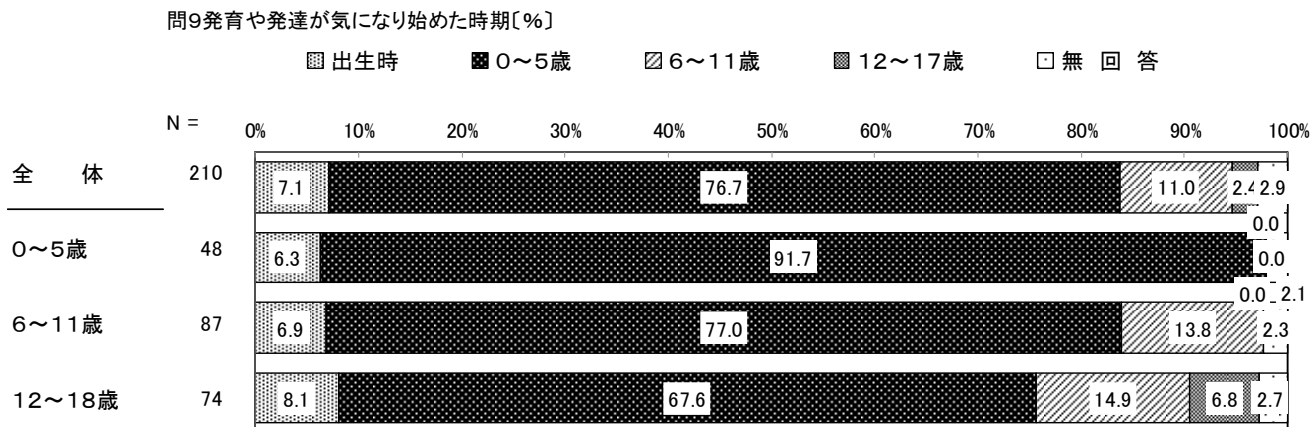
全体では、「文字や文章を書くことが苦手なこと」が 47.6%、「人の気持ちを理解するのが苦手なこと」が 44.8%、「こだわりが強いこと」が 42.4%、「じっとしていることが苦手なこと」が 35.7%である。

年齢別では、0～5歳で「じっとしていることが苦手なこと」と「言葉が出ない、言葉が少ないこと」、12～18歳で「こだわりが強いこと」がともに50%以上と多い。



問9 宛名の方の発育や発達が初めて気になったのは、宛名の方が何歳の時ですか。

全体では、「0～5歳」が76.7%、「6～11歳」が11.0%、「12～17歳」が2.4%、「出生時」が7.1%である。



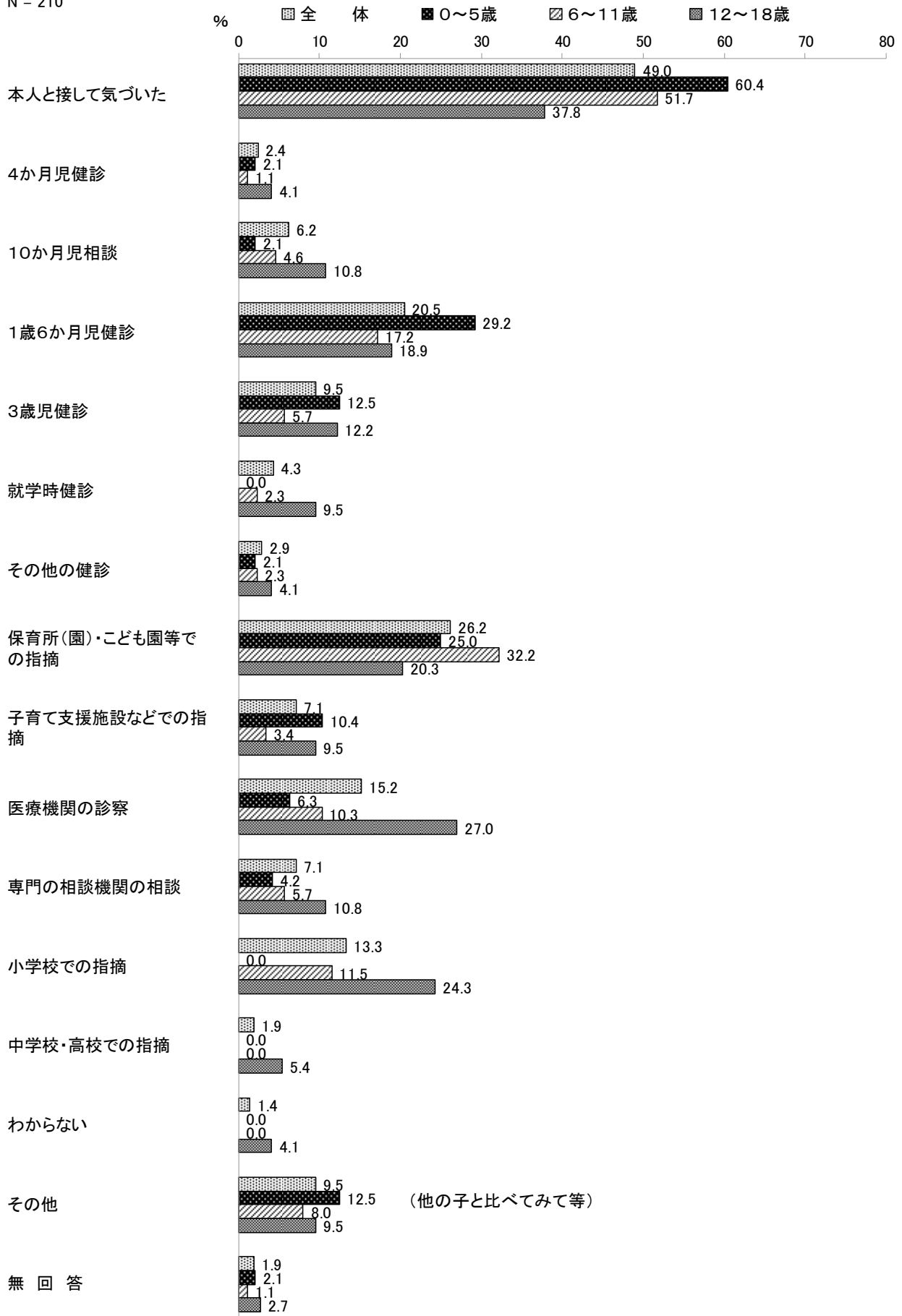
問10 宛名の方に障がいや発育・発達に不安があることに気づいたきっかけは何ですか。

「本人と接して気づいた」が49.0%と多く、「保育所（園）・こども園等での指摘」が26.2%、「1歳6か月児健診」が20.5%、「医療機関の診察」が15.2%、「小学校での指摘」が13.3%である。

年齢別では、0～5歳で「本人と接して気づいた」が60.4%、12～18歳は「医療機関の診察」が27.0%、「小学校での指摘」が24.3%である。

N = 210

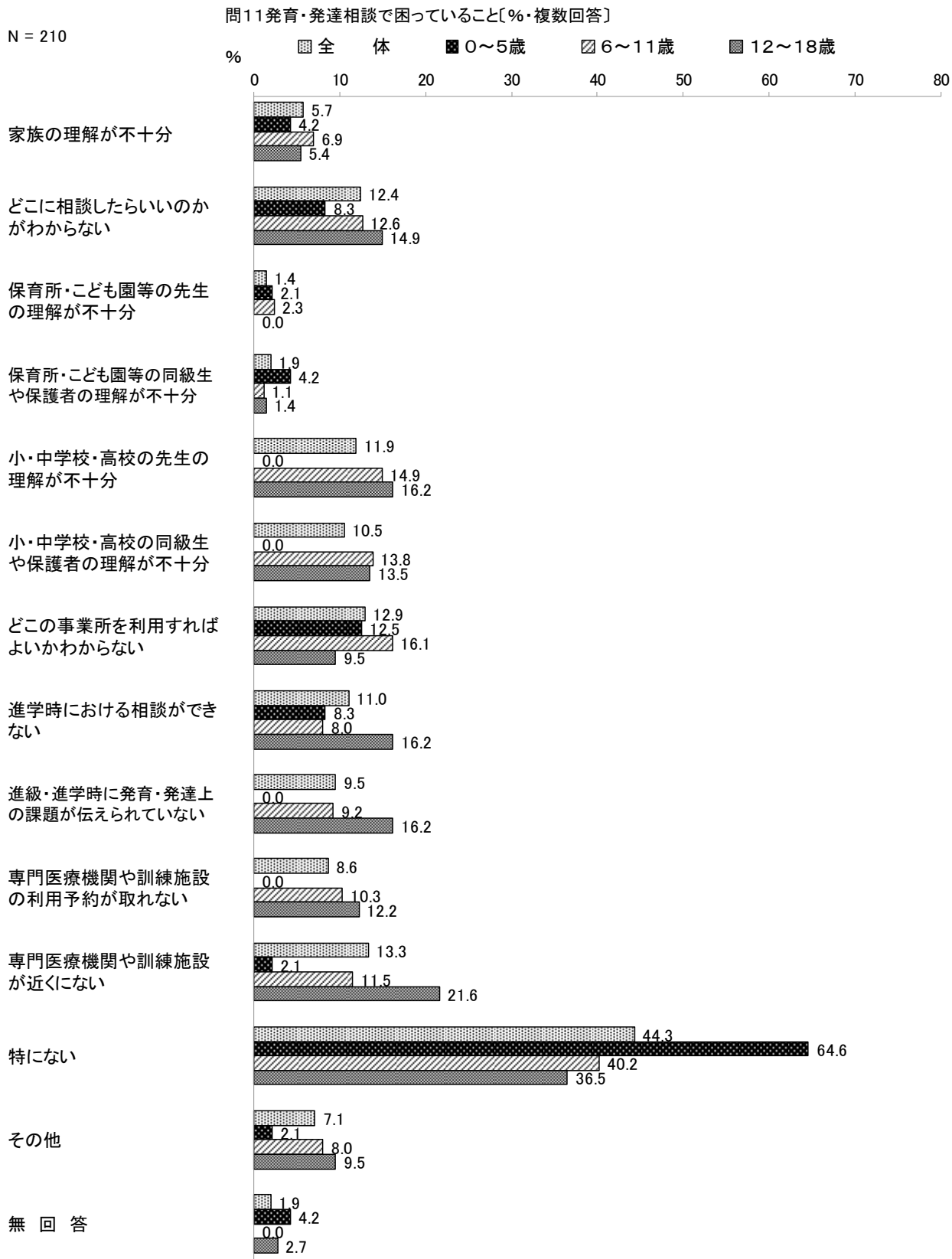
問10障がいや発育等気づいたきっかけ[%・複数回答]



(他の子と比べてみて等)

問 11 宛名の方の発育・発達に関する相談などについて、困っていることは何ですか。

「特にない」が 44.3%（前回 32.5%）と多く、「専門医療機関や訓練施設が近くにない」が 13.3%、「どこの事業所を利用すればよいかわからない」が 12.9%、「どこに相談したらいいのかわからない」が 12.4%、「小・中学校・高校の先生の理解が不十分」が 11.9% である。前回調査より「特にない」が 11.8 ポイント高い。



問 12 宛名の方は、以下の障害児通所支援サービスを利用したことはありますか。

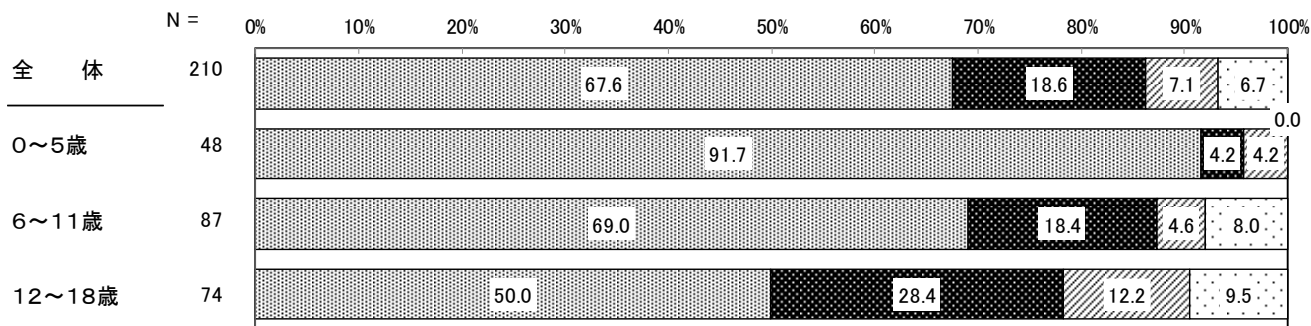
①児童発達支援

全体では、「利用したことがある」が 67.6%、「サービスを知っているが利用したことはない」が 18.6%、「サービスを知らない」が 7.1%である。

年齢別では、0～5歳で「利用したことがある」が91.7%（前回 75.0%）とほとんどで、前回調査より 16.7ポイント高い。

問12利用状況①児童発達支援[%]

■ 利用したことがある ■ サービスを知っているが利用したことはない ▨ サービスを知らない □ 無回答

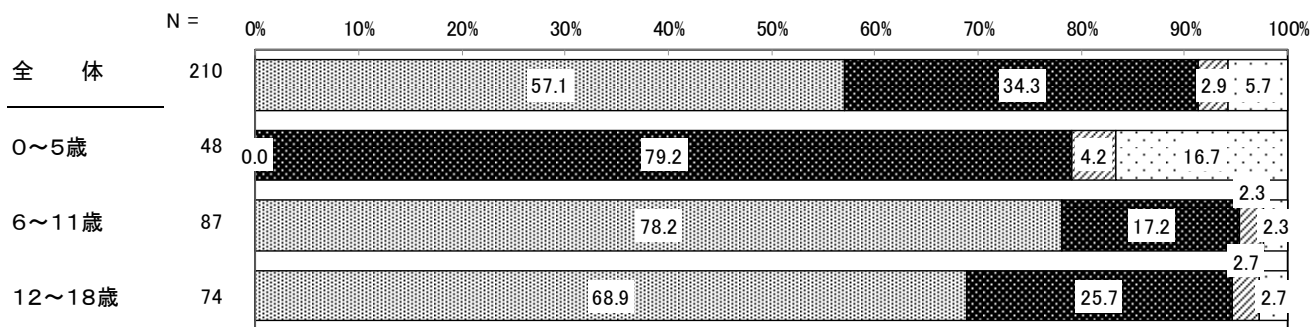


②放課後等デイサービス

全体では、「利用したことがある」が 57.1%、「サービスを知っているが利用したことはない」が 34.3%、「サービスを知らない」が 2.9%である。

問12利用状況②放課後等デイサービス[%]

■ 利用したことがある ■ サービスを知っているが利用したことはない ▨ サービスを知らない □ 無回答

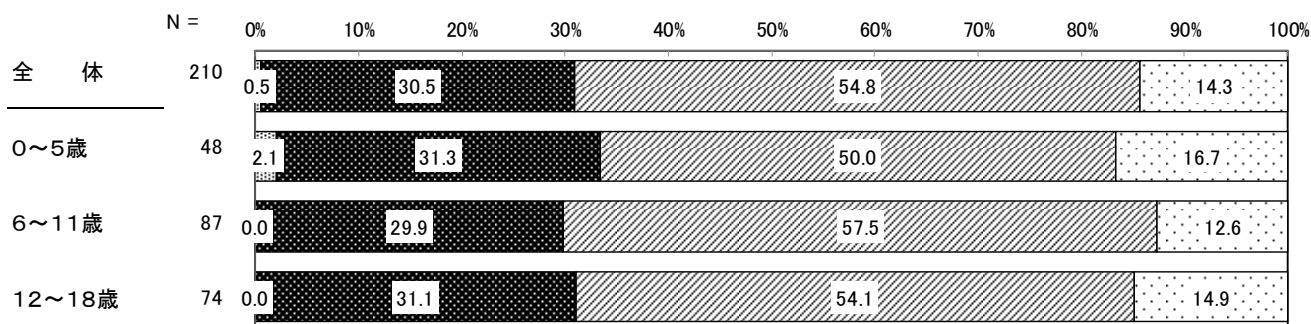


③居宅訪問型児童発達支援

全体では、「サービスを知らない」が 54.8%、「サービスを知っているが利用したことはない」が 30.5%、「利用したことがある」が 0.5%である。

問12利用状況③居宅訪問型児童発達支援[%]

■ 利用したことがある ■ サービスを知っているが利用したことはない ▨ サービスを知らない □ 無回答

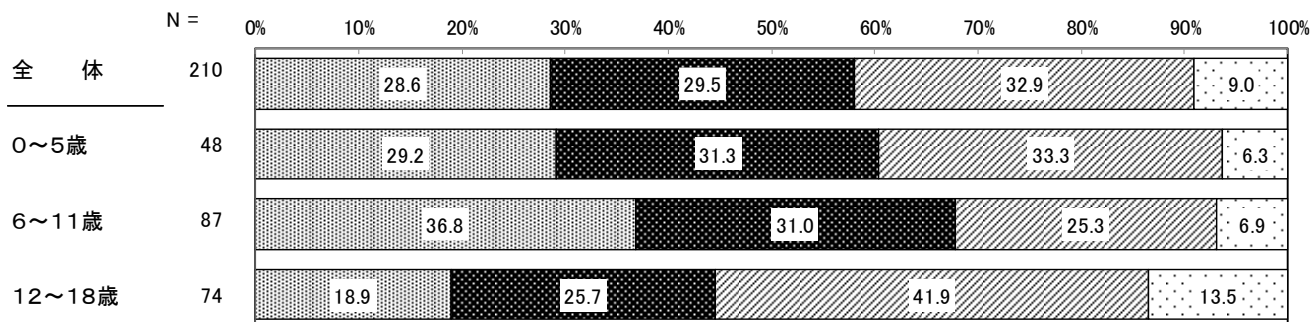


#### ④保育所等訪問支援

全体では、「サービス知らない」が 32.9%、「サービスを知っているが利用したことはない」が 29.5%、「利用したことがある」が 28.6%である。

問12利用状況④保育所等訪問支援[%]

■ 利用したことがある ■ サービスを知っているが利用したことはない ▨ サービス知らない □ 無回答

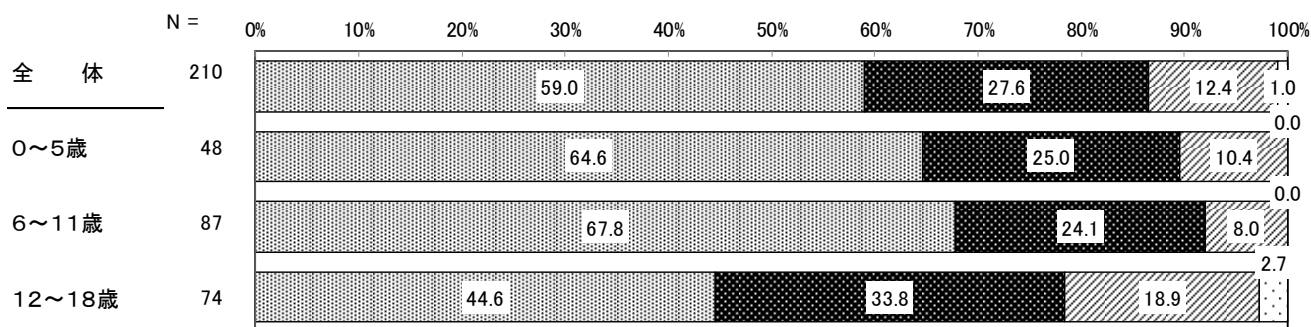


問 13 「ふじみ野市立児童発育・発達支援センター(令和8年4月1日より「ふじみ野市立こども発達支援センター」)」を利用したことはありますか。

全体では、「利用したことがある」が 59.0%、「知っているが利用したことはない」が 27.6%、「知らない」が 12.4%である。

問13ふじみ野市立児童発育・発達支援センターの利用[%]

■ 利用したことがある ■ 知っているが利用したことはない ▨ 知らない □ 無回答

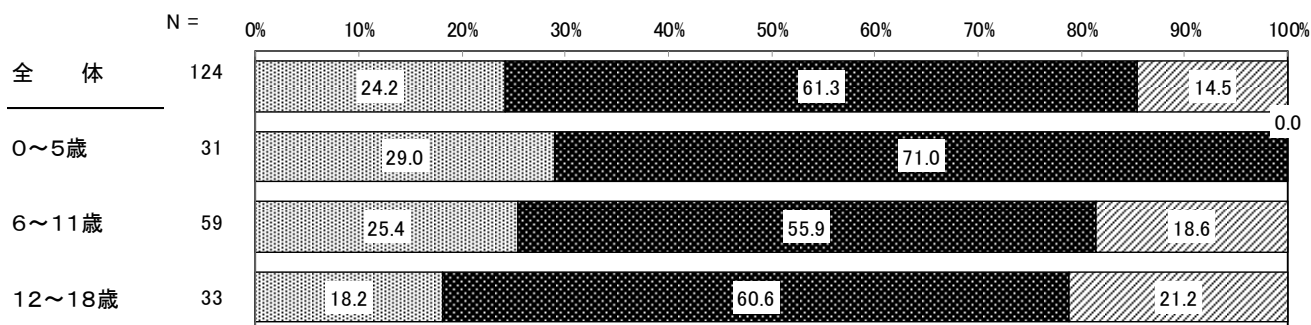


問13-1(問13で「利用したことがある」と回答した方)「ふじみ野市立児童発育・発達支援センター」を利用して、気にかかっていたことや不安に感じていたことは解消されましたか。

全体では、「ある程度解消された」が 61.3% (前回 80.2%)、「解消された」が 24.2% (前回 9.9%)、「まったく解消されなかった」が 14.5% (前回 8.6%)で、前回調査より「ある程度解消された」が 18.9ポイント低く、「解消された」が 14.3ポイント高い。

問13-1気にかかっていたことや不安の解消[%]

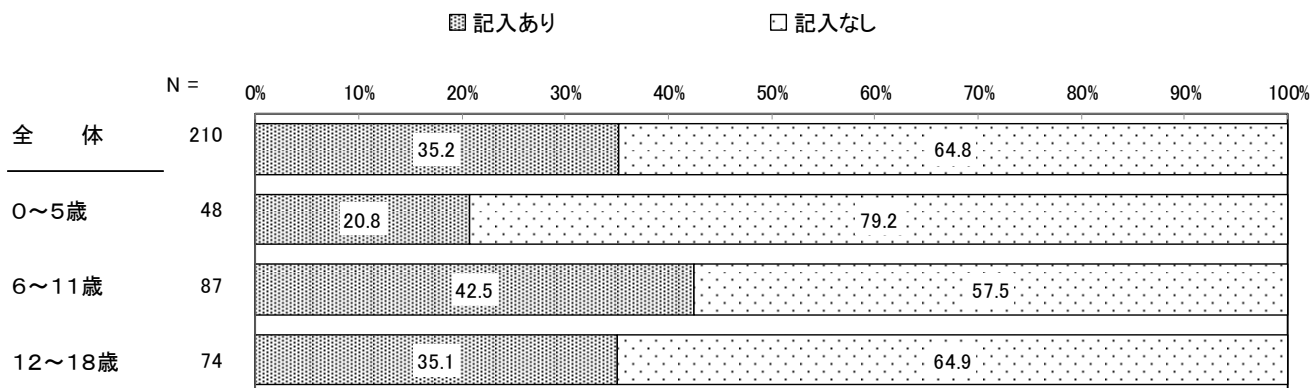
■ 解消された ■ ある程度解消された ▨ まったく解消されなかった



問 14 「ふじみ野市立児童発育・発達支援センター」に期待することは何ですか。

全体では 35.2%の記入があり、情報提供や利用しやすさ、対応やアドバイスに関するなどの意見があげられている。

問14児童発育・発達支援センターに期待すること[%]



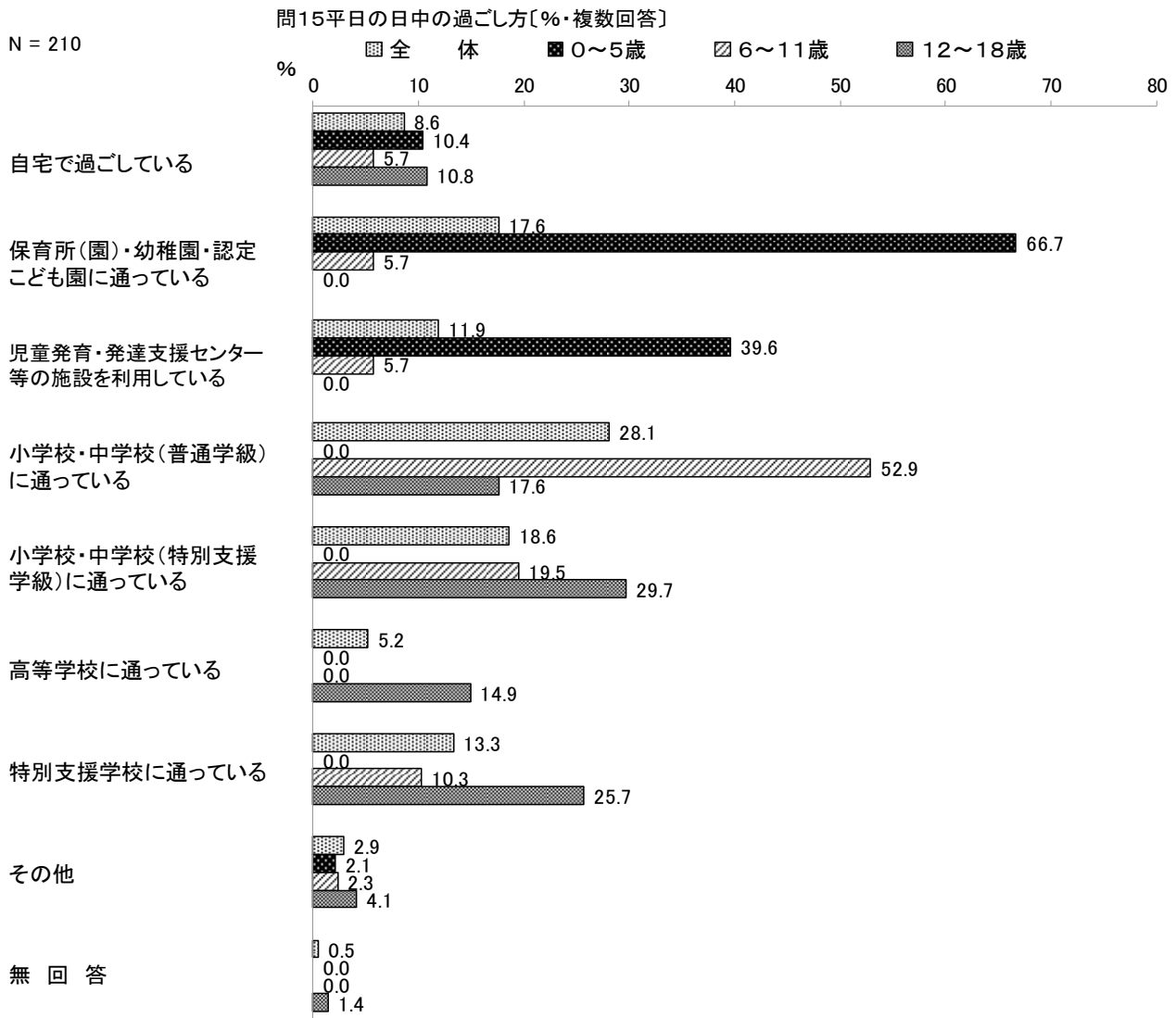
順位	内容	件数
1位	情報の提供に関すること 継続して受けられる環境や困っていることに対する情報の提供をお願いしたい。個人で各事業所の情報収集をするのが大変なため、事業所の情報(特色など)があるとよい。発達障がいに対する支援情報の提供があればよいと思う。	各11件
	利用のしやすさに関すること フクトピアまで少し距離がある。大井総合支所などでも受入があるととても助かる。成長してからも療育や相談を利用しやすくしてほしい。気軽に相談し、必要なタイミングで支援に入れることが、保護者としては一番ありがたい環境だと思う。	
	対応やアドバイスに関すること 子ども・保護者に寄り添った対応やアドバイス、専門知識があることが必要である。踏み込んだ支援をしてほしい。適切な支援アドバイスをしてほしい。発達に不安なことがあったり、実際に発達障がいの診断を受けたときに、どう対応すればよいのか知りたい。	
4位	保護者の支援に関すること 子どもの発達障がいを受け入れるのに精神的に辛いこともあるので、そのような時に話を聞いて寄り添ってほしい。発達に問題がある子どものいる家庭への支援の充実をしてほしい。	8件
5位	継続的な支援に関すること 継続的な相談や、就学・進学時の相談やサポート等をしてほしい。小学校、中学校、高校、その先の進路まで切れ目なく支援が続いてくれるとありがたい。	5件

### 3 日中の過ごし方

問 15 宛名の方の平日の日中の過ごし方をご回答ください。

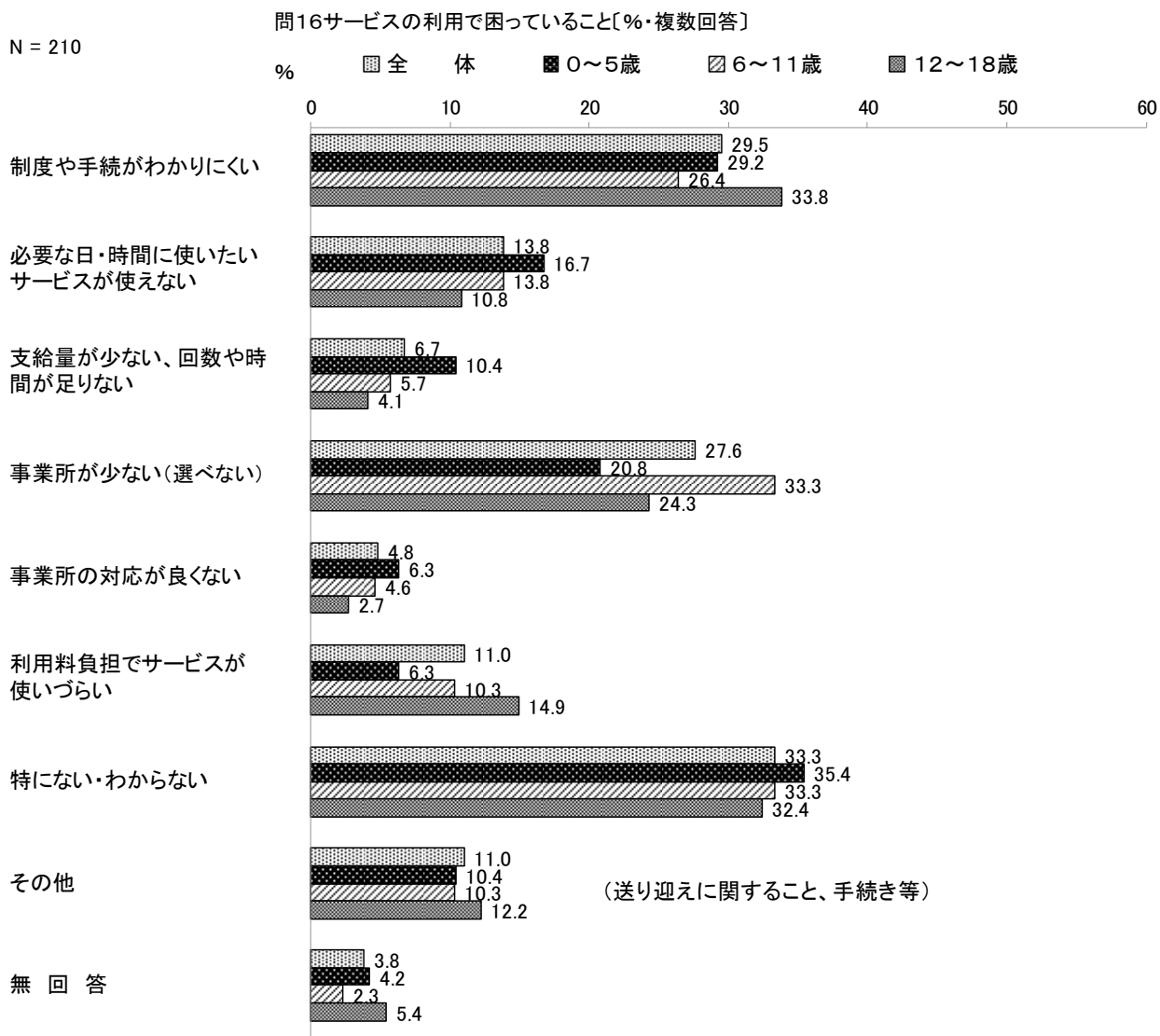
全体では、「小学校・中学校（普通学級）に通っている」が 28.1%と多く、「小学校・中学校（特別支援学級）に通っている」が 18.6%、「保育所（園）・幼稚園・認定こども園に通っている」が 17.6%、「特別支援学校に通っている」が 13.3%である。

年齢別では、12～18歳で「特別支援学校に通っている」が 25.7%回答されている。



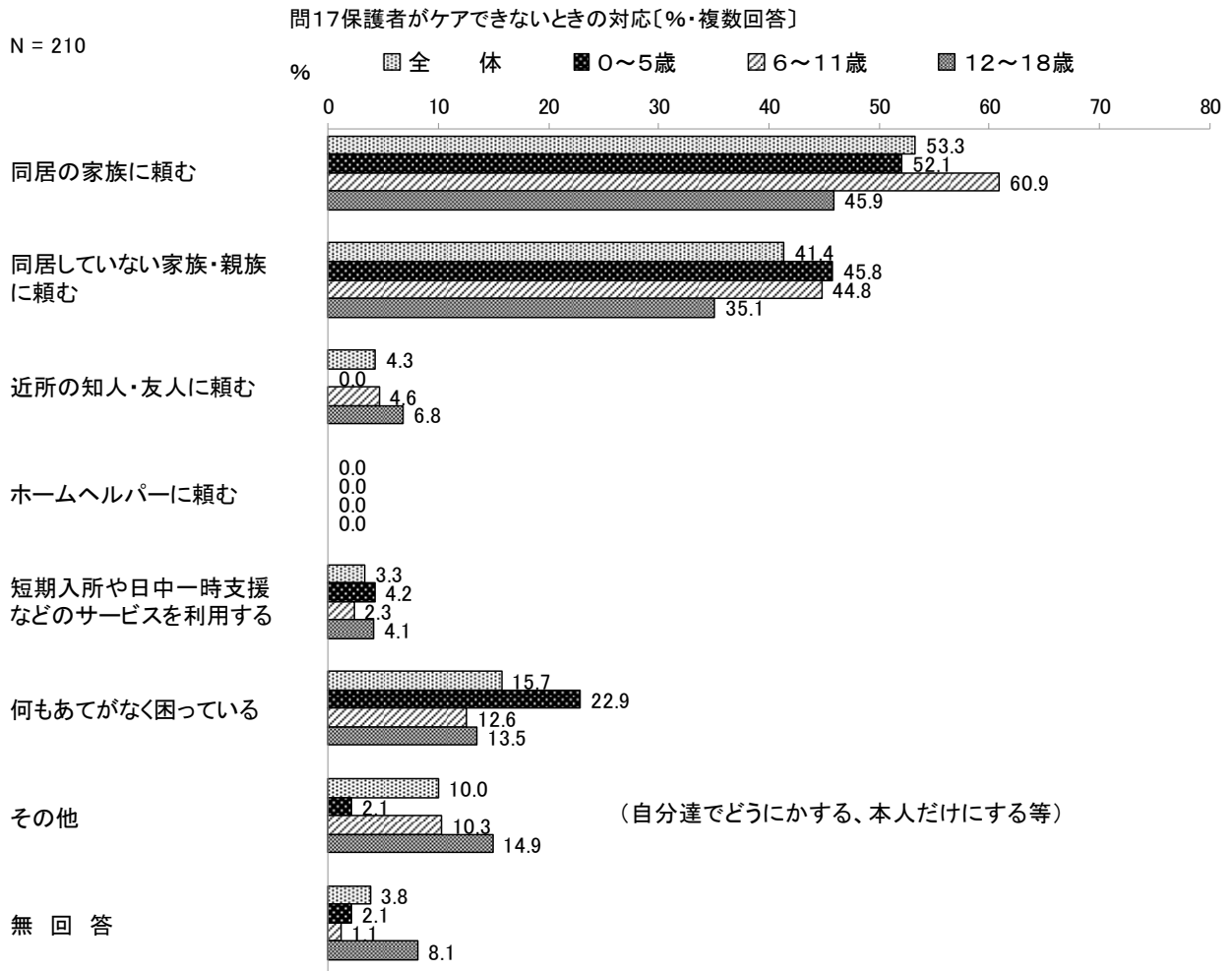
問 16 福祉サービス等を利用するにあたって、困っていることは何ですか。

全体では、「特にない・わからない」が 33.3%、「制度や手続きがわかりにくい」が 29.5%、「事業者が少ない（選べない）」が 27.6%、「必要な日・時間に使いたいサービスが使えない」が 13.8%、「利用料負担でサービスが使いづらい」が 11.0%である。



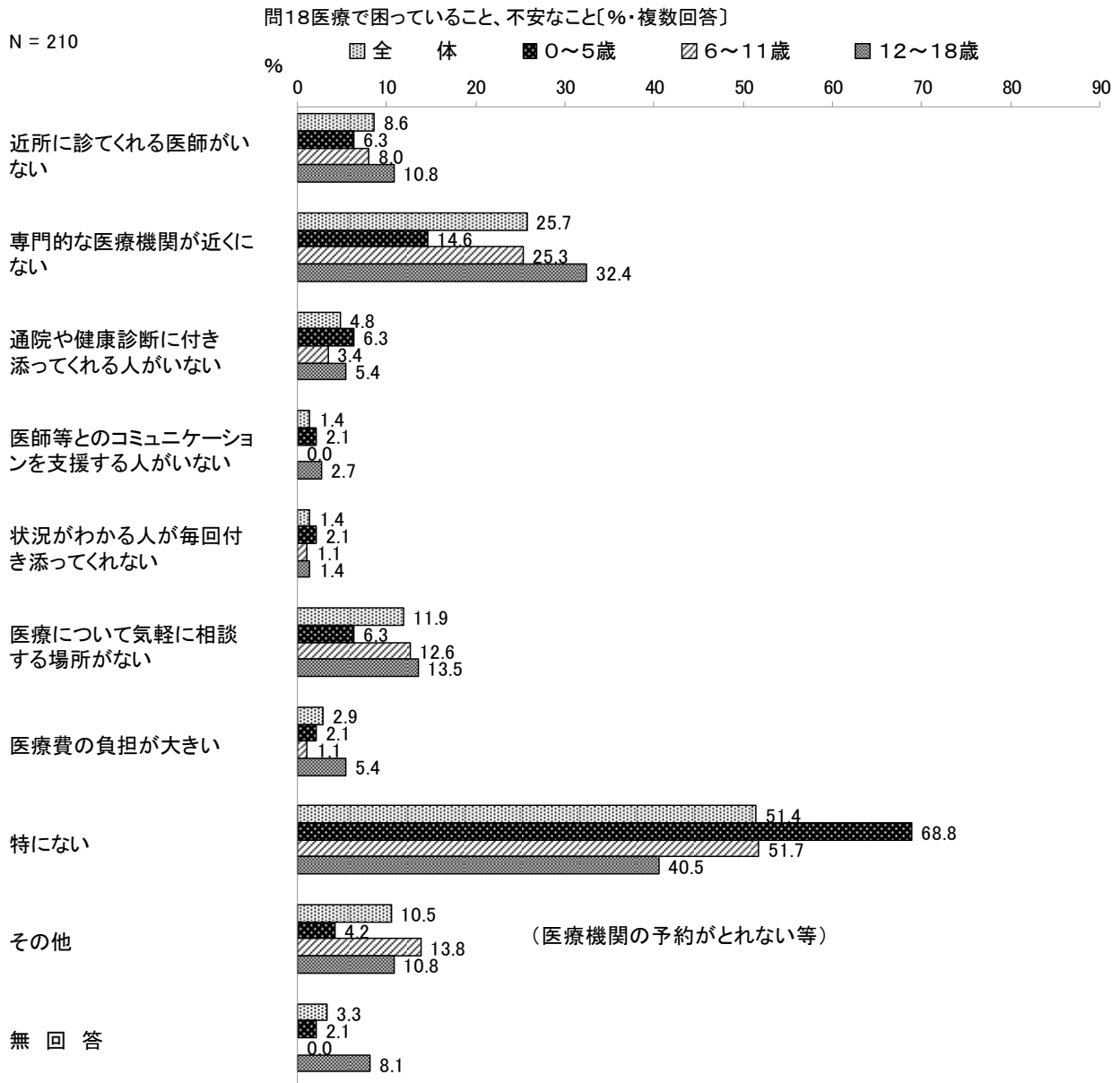
問 17 保護者の方が病気や休養、冠婚葬祭などで一時的に宛名の方をケアできない時、どうしていますか。

全体では、「同居の家族に頼む」が 53.3%、「同居していない家族・親族に頼む」が 41.4%、「何もあてがなく困っている」が 15.7%である



問 18 医療について困っていることや不安なことは何ですか。

全体では、「特にない」が 51.4%、「専門的な医療機関が近くにない」が 25.7%「医療について気軽に相談する場所がない」が 11.9%、「近所に診てくれる医師がいない」が 8.6%である。

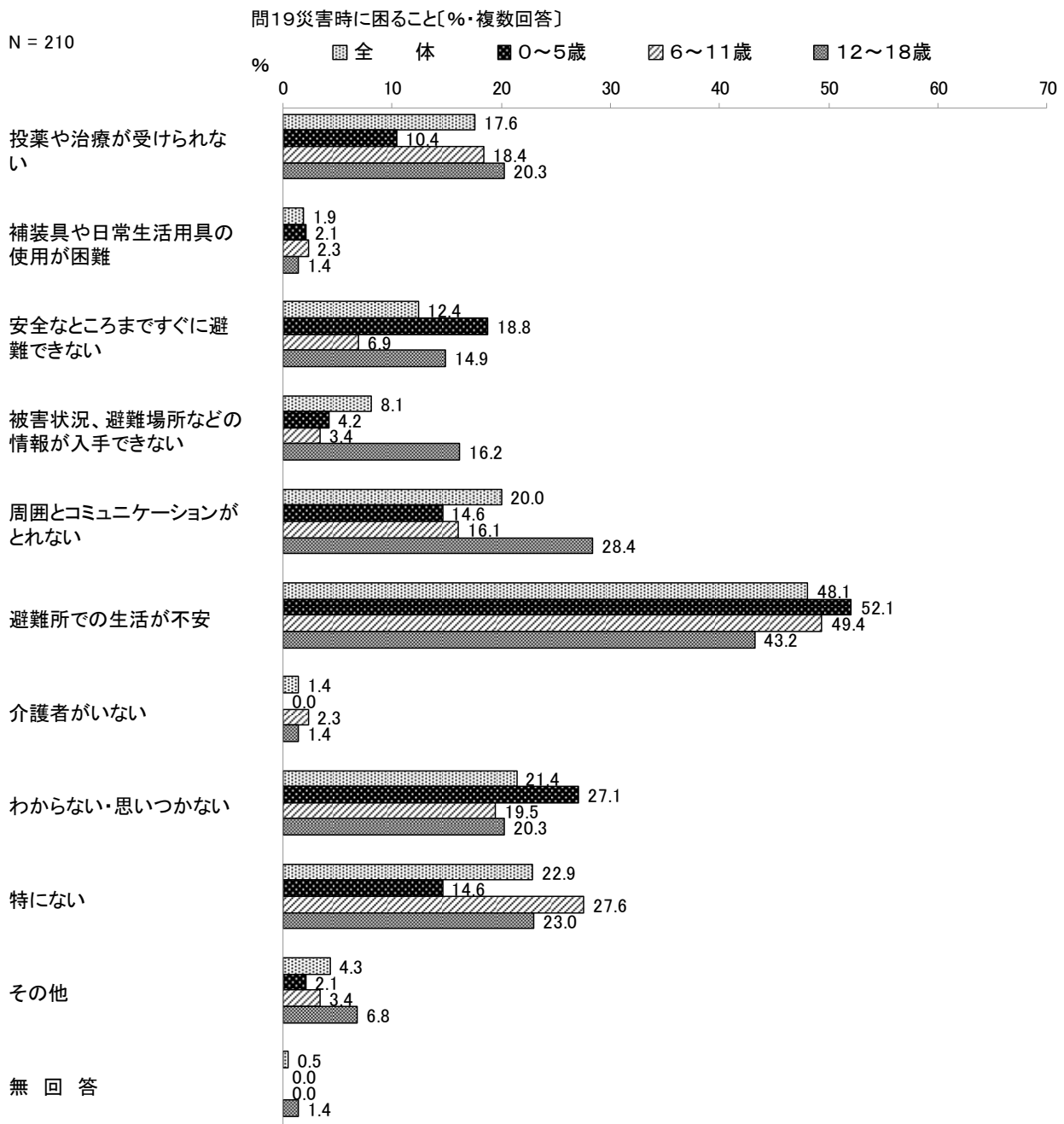


## 4 災害時の対応

### 問 19 災害時に困ることは何ですか。

全体では、「避難所での生活が不安」が 48.1%（前回 65.6%）と多く、「特にない」が 22.9%、「わからない・思いつかない」が 21.4%、「周囲とコミュニケーションがとれない」が 20.0%、「投薬や治療が受けられない」が 17.6%（前回 27.8%）、「安全なところまですぐに避難できない」が 12.4%で、前回調査より「避難所での生活が不安」と「投薬や治療が受けられない」でそれぞれ 17.5、10.2 ポイント低い。

年齢別では、12～18 歳で「周囲とコミュニケーションが取れない」が 28.4%となっている。



問 20 災害時の避難先について、知っているものをご回答ください。

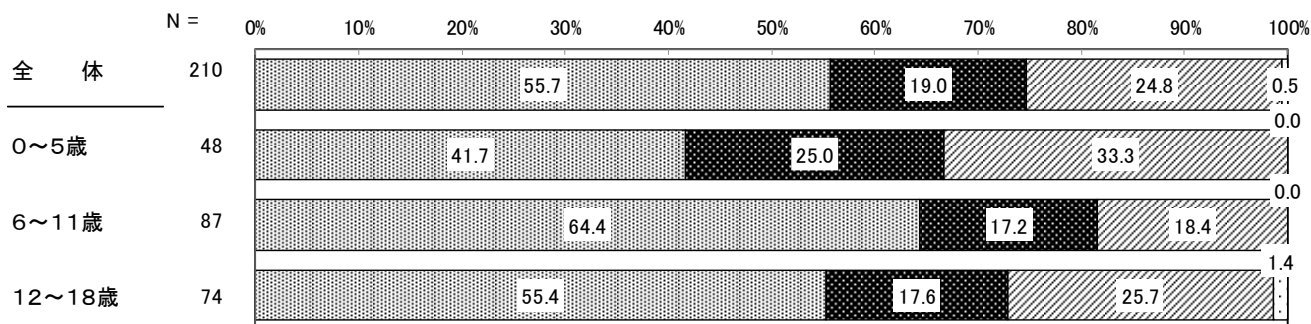
### ①指定緊急避難場所

全体では「指定されている場所を知っている」が 55.7%と多く、と「知らない」が 24.8%、「聞いたことはあるが場所は知らない」が 19.0%である。

年齢別では、6～11歳で「指定されている場所を知っている」が64.4%となっている。

問20避難先の認知①指定緊急避難場所[%]

■ 指定されている場所を知っている ■ 聞いたことはあるが場所は知らない ▨ 知らない □ 無回答



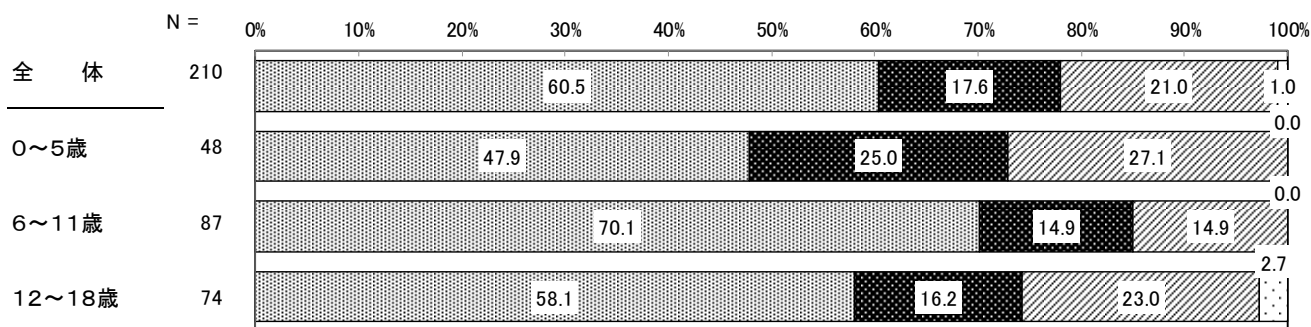
### ②指定避難所

全体では「指定されている場所を知っている」が 60.5%と多く、「知らない」が 21.0%、「聞いたことはあるが場所は知らない」が 17.6%である。

年齢別では、6～11歳で「指定されている場所を知っている」が 70.1%回答されている。

問20避難先の認知②指定避難所[%]

■ 指定されている場所を知っている ■ 聞いたことはあるが場所は知らない ▨ 知らない □ 無回答

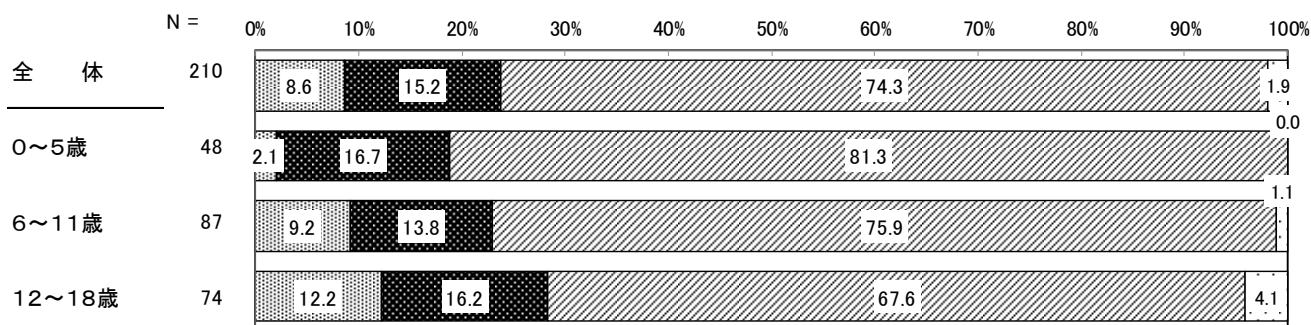


### ③福祉避難所

全体では、「知らない」が 74.3%と多く、「聞いたことはあるが場所は知らない」が 15.2%、「指定されている場所を知っている」が 8.6%である。

問20避難先の認知③福祉避難所[%]

■ 指定されている場所を知っている ■ 聞いたことはあるが場所は知らない ▨ 知らない □ 無回答

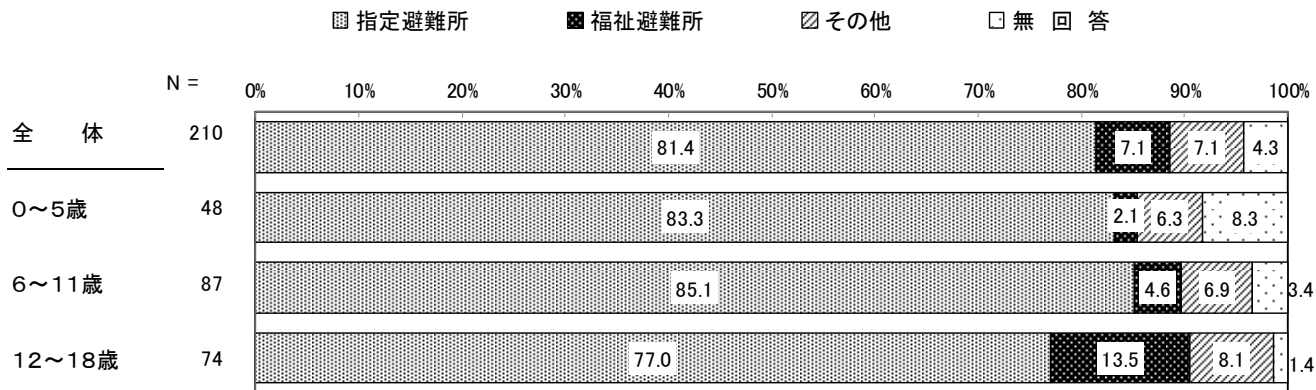


問 21 災害時の避難先として考えている場所をご回答ください。

全体では、「指定避難所」が 81.4%と多く、「福祉避難所」と「その他」がともに 7.1%である。

障がい種別では、「福祉避難所」は療育手帳交付者で多く回答されている。

問21 想定する避難先[%]



(その他: 自宅等)

	N	問21 想定する避難先[%]			
		指定避難所	福祉避難所	その他	無回答
全 体	210	171	15	15	9
	100.0	81.4	7.1	7.1	4.3
問 等 4 交 付 さ れ て い る 手 帳	身体障害者手帳	6	5	1	-
		100.0	83.3	16.7	-
	療育手帳	93	71	13	7
		100.0	76.3	14.0	7.5
	精神障害者保健福祉手帳	9	5	2	1
		100.0	55.6	22.2	11.1
	指定難病等の医療受給者証	17	15	-	1
	100.0	88.2	-	5.9	
交付されていない	83	74	-	5	
	100.0	89.2	-	6.0	
無回答	5	3	-	1	
	100.0	60.0	-	20.0	

問 22 避難所での生活で困ることは何ですか。

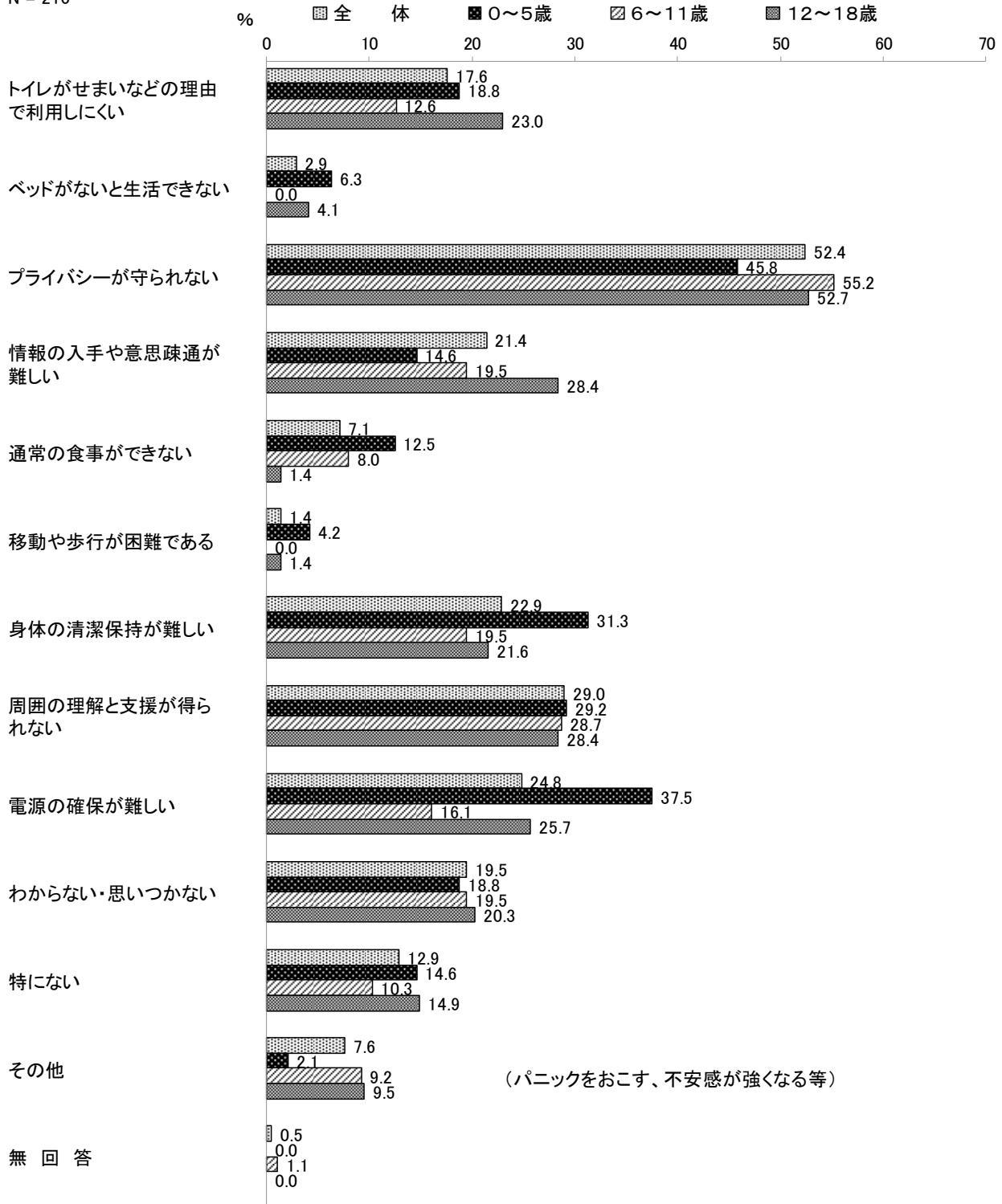
全体では、「プライバシーが守られない」52.4%と多く、「周囲の理解と支援が得られない」が 29.0%、「電源の確保が難しい」が 24.8%、「身体の清潔保持が難しい」が 22.9%、「情報の入手や意思疎通が難しい」が 21.4%、「わからない・思いつかない」が 19.5%、「トイレがせまいなどの理由で利用しにくい」が 17.6%である。

年齢別では、0~5歳で「電源の確保が難しい」が 37.5%と多い。

医療的ケアを受けている回答者では、「プライバシーが守られない」「身体の清潔保持が難しい」「電源の確保が難しい」が多く回答されている。

N = 210

問22避難所生活で困ること[%・複数回答]



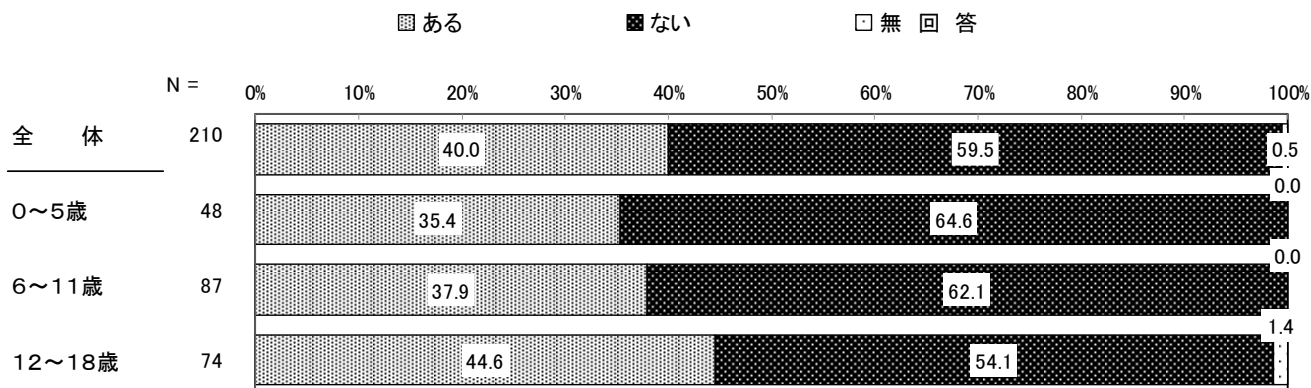
		問22避難所生活で困ること[%・複数回答]												
		トイレがせまいなどの理由で利用しにくい	ベッドがないと生活できない	プライバシーが守られない	情報の入手や意思疎通が難しい	通常の食事ができない	移動や歩行が困難である	身体の清潔保持が難しい	周囲の理解と支援が得られない	電源の確保が難しい	わからない・思いつかない	特にな	その他	無回答
全 体	210	37	6	110	45	15	3	48	61	52	41	27	16	1
	100.0	17.6	2.9	52.4	21.4	7.1	1.4	22.9	29.0	24.8	19.5	12.9	7.6	0.5
ケ問 ア7	15	5	2	10	6	2	-	5	5	6	1	2	-	1
	100.0	33.3	13.3	66.7	40.0	13.3	-	33.3	33.3	40.0	6.7	13.3	-	6.7
医療 的	192	32	4	98	39	12	3	43	55	45	39	25	16	-
	100.0	16.7	2.1	51.0	20.3	6.3	1.6	22.4	28.6	23.4	20.3	13.0	8.3	-
的 無 回 答	3	-	-	2	-	1	-	-	1	1	1	-	-	-
	100.0	-	-	66.7	-	33.3	-	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-

## 5 今後の地域での生活

問 23 この3年の間に、宛名の方が障がいがあることが理由でいやな思いや経験をしたことがありますか。

全体では、「ない」が59.5%、「ある」が40.0%である。

問23障がいがある理由のいやな思いや経験(3年間)〔%〕



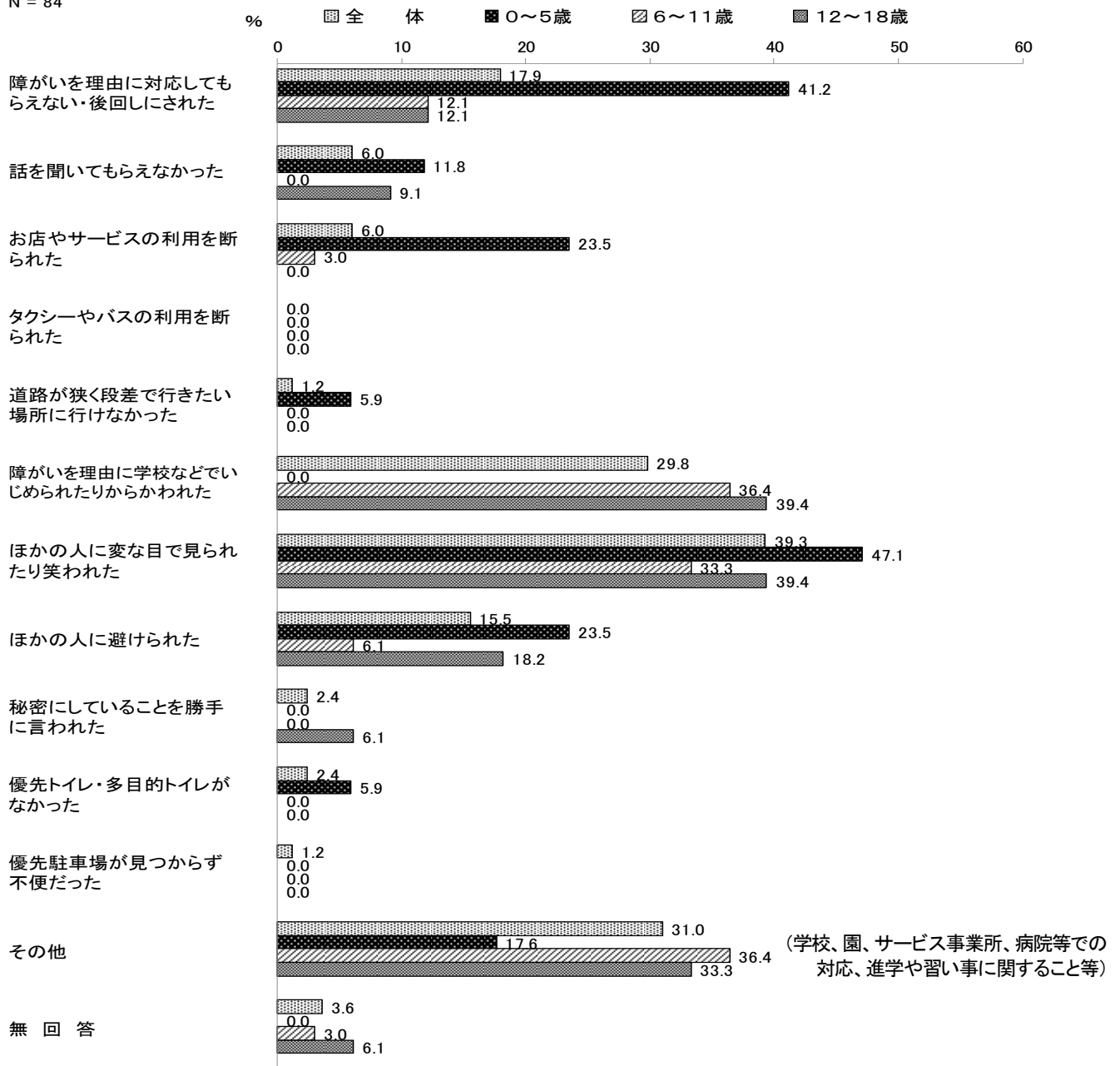
問 23-1 (問 23 で「ある」と回答した方)どのようないやな思いや経験をしましたか。

全体では、「ほかの人に変な目で見られたり笑われた」が 39.3% (前回 54.7%) が多く、「障がいを理由に学校などでいじめられたりからかわれた」が 29.8%、「障がいを理由に対応してもらえない・後回しにされた」が 17.9%、「ほかの人に避けられた」が 15.5% (前回 30.2%) である。

年齢別では、0～5歳で「障がいを理由に対応してもらえない・後回しにされた」が 41.2%、「お店やサービスの利用を断られた」が 23.5%と多くなっている。

N = 84

問23-1いやな思いや経験の内容[%・複数回答]



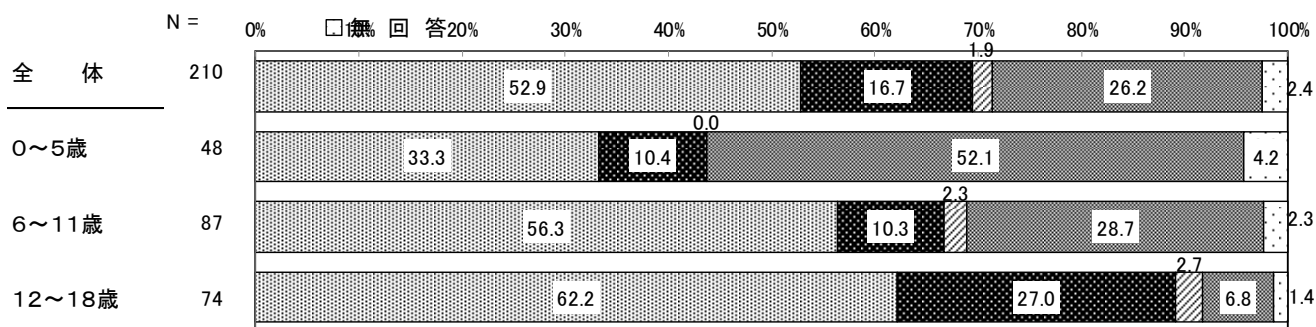
問24 宛名の方は、将来働きたいと思いますか。

全体では、「企業などで働きたい（自営業含む）」が 52.9%と多く、「わからない」が 26.2%、「福祉施設や作業所などで働きたい」が 16.7%、「働きたくない」が 1.9%である。  
 年齢別では、年齢が上がるとともに「企業などで働きたい（自営業も含む）」が多くなっている。

障がい種別では、「福祉施設や作業所などで働きたい」は療育手帳交付者で 31.2%と多く、特別支援学校に通っている回答者で 67.9%と多い。

問24就労意向[%]

企業などで働きたい(自営業も含む)
  福祉施設や作業所などで働きたい  
 働きたくない
  わからない

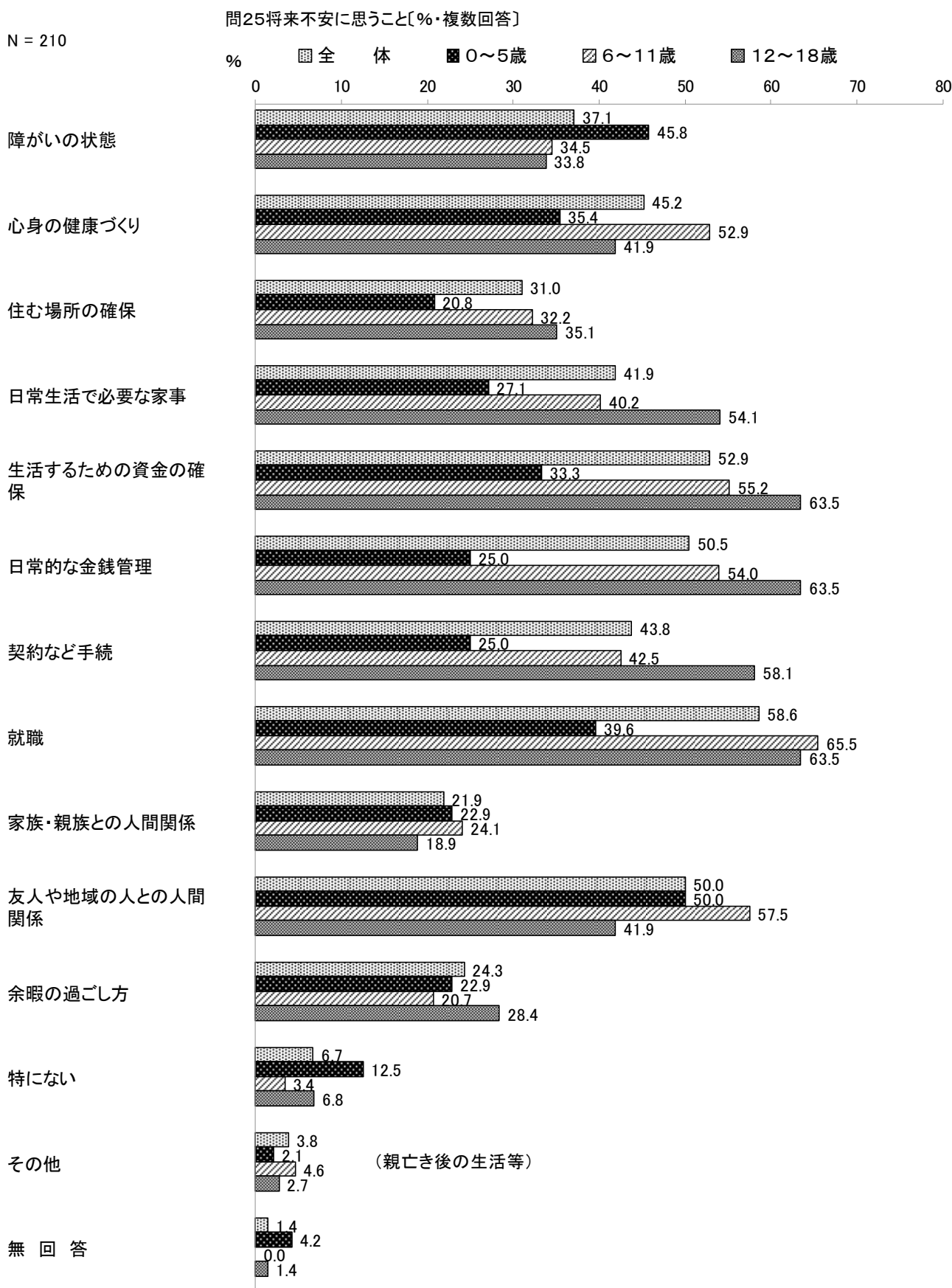


		問24就労意向[%]				
		企業などで働きたい(自営業も含む)	福祉施設や作業所などで働きたい	働きたくない	わからない	無回答
全体	210	111	35	4	55	5
	100.0	52.9	16.7	1.9	26.2	2.4
問4交付された回数回答している手帳	身体障害者手帳	6	4	-	2	-
	療育手帳	93	40	29	1	22
	精神障害者保健福祉手帳	9	5	2	-	2
	指定難病等の医療受給者証	17	11	2	1	3
	交付されていない	83	50	1	2	26
	無回答	5	2	2	-	1
	100.0	40.0	40.0	-	20.0	-

		問24就労意向[%]				
		企業などで働きたい(自営業も含む)	福祉施設や作業所などで働きたい	働きたくない	わからない	無回答
全体	210	111	35	4	55	5
	100.0	52.9	16.7	1.9	26.2	2.4
問15平日の過ごし方回答	自宅で過ごしている	18	10	3	-	5
	保育所(園)・幼稚園・認定こども園に通っている	37	16	1	-	19
	児童発達・発達支援センター等の施設を利用している	25	7	7	-	10
	小学校・中学校(普通学級)に通っている	59	40	-	2	15
	小学校・中学校(特別支援学級)に通っている	39	26	7	1	5
	高等学校に通っている	11	10	-	1	-
	特別支援学校に通っている	28	6	19	-	3
	その他	6	3	1	-	2
	無回答	1	-	-	-	1
	100.0	50.0	16.7	-	33.3	-

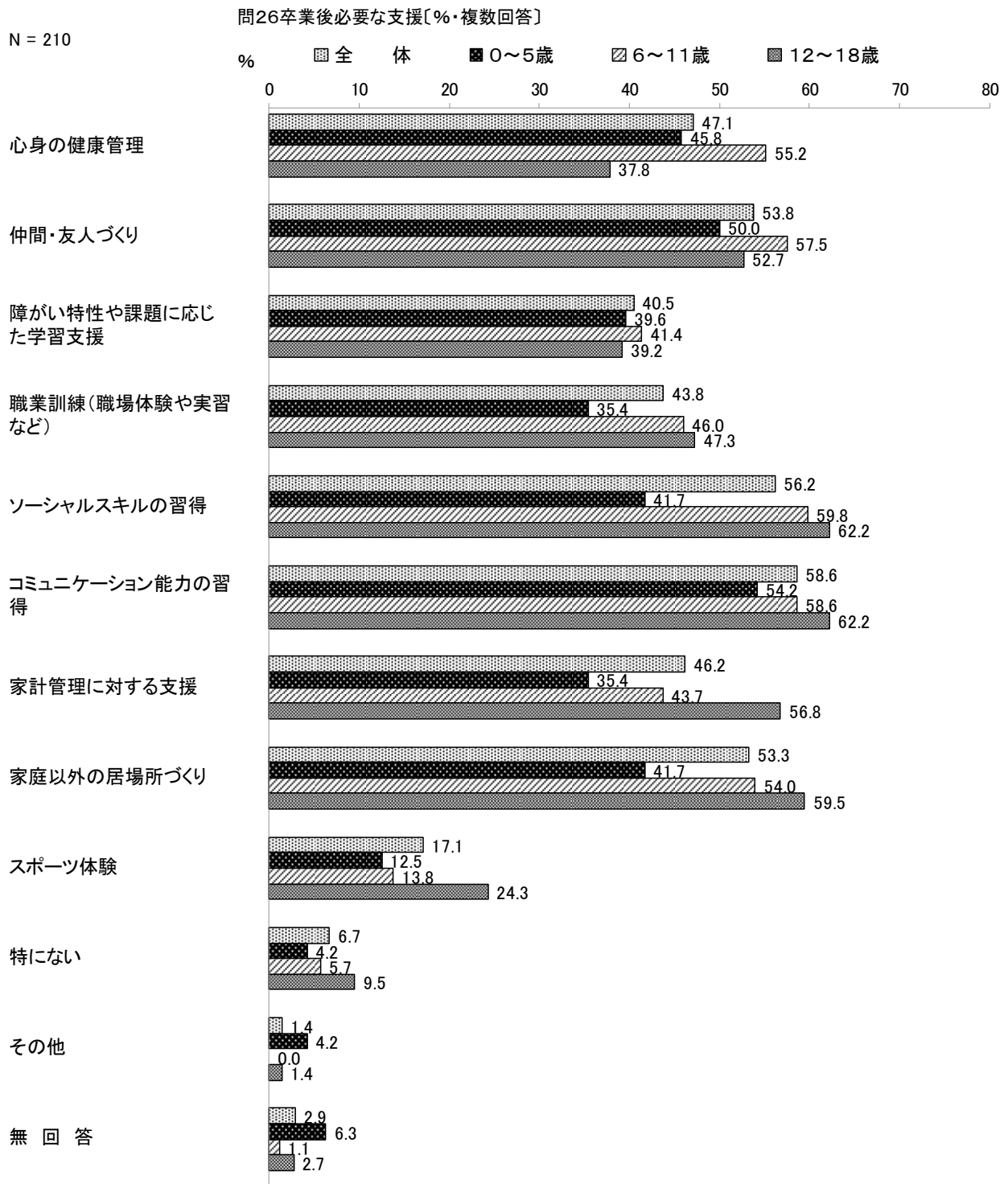
問 25 宛名の方の将来で不安に思うことは何ですか。

全体では、「就職」が 58.6%が多く、「生活するための資金の確保」が 52.9%、「日常的な金銭管理」が 50.5%、「友人や地域の人との人間関係」が 50.0%、「契約など手続」が 43.8%、「日常生活に必要な家事」が 41.9%である。



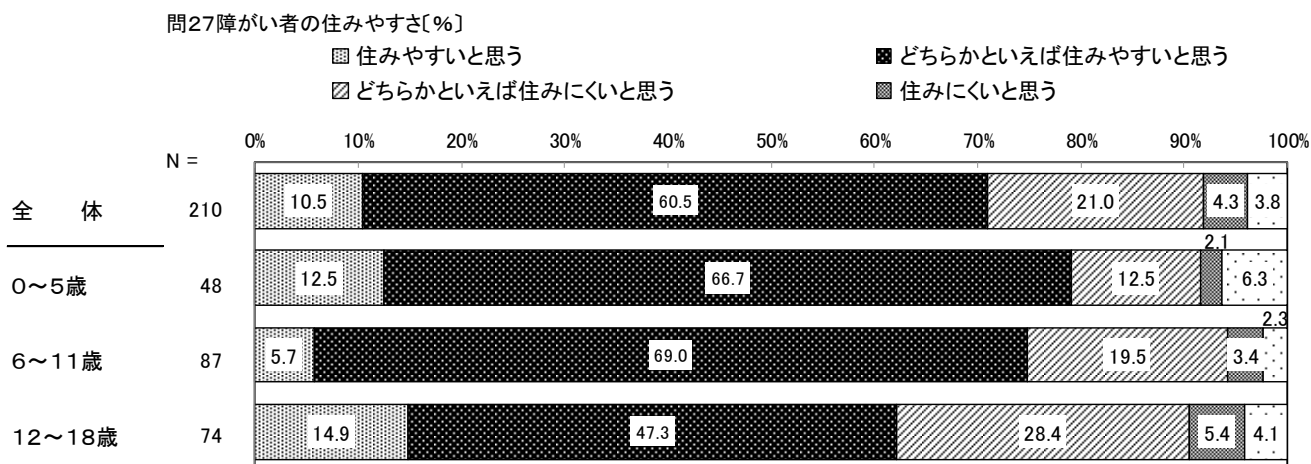
問 26 宛名の方が、学校を卒業して社会に出た時に円滑な日常生活や社会生活を送るために必要な支援は何ですか。

全体では、「コミュニケーション能力の習得」が 58.6%、「ソーシャルスキルの習得」が 56.2%、「仲間・友人づくり」が 53.8%、「家庭以外の居場所づくり」が 53.3%である。



問 27 ふじみ野市は、障がいのある人にとって住みやすいまちだと思いますか。

全体では、『住みやすい』（「住みやすいと思う」「どちらかといえば住みやすいと思う」の計）が 71.0%と多く、『住みにくい』（「住みにくい」「どちらかといえば住みにくいと思う」の計）が 25.3%である。

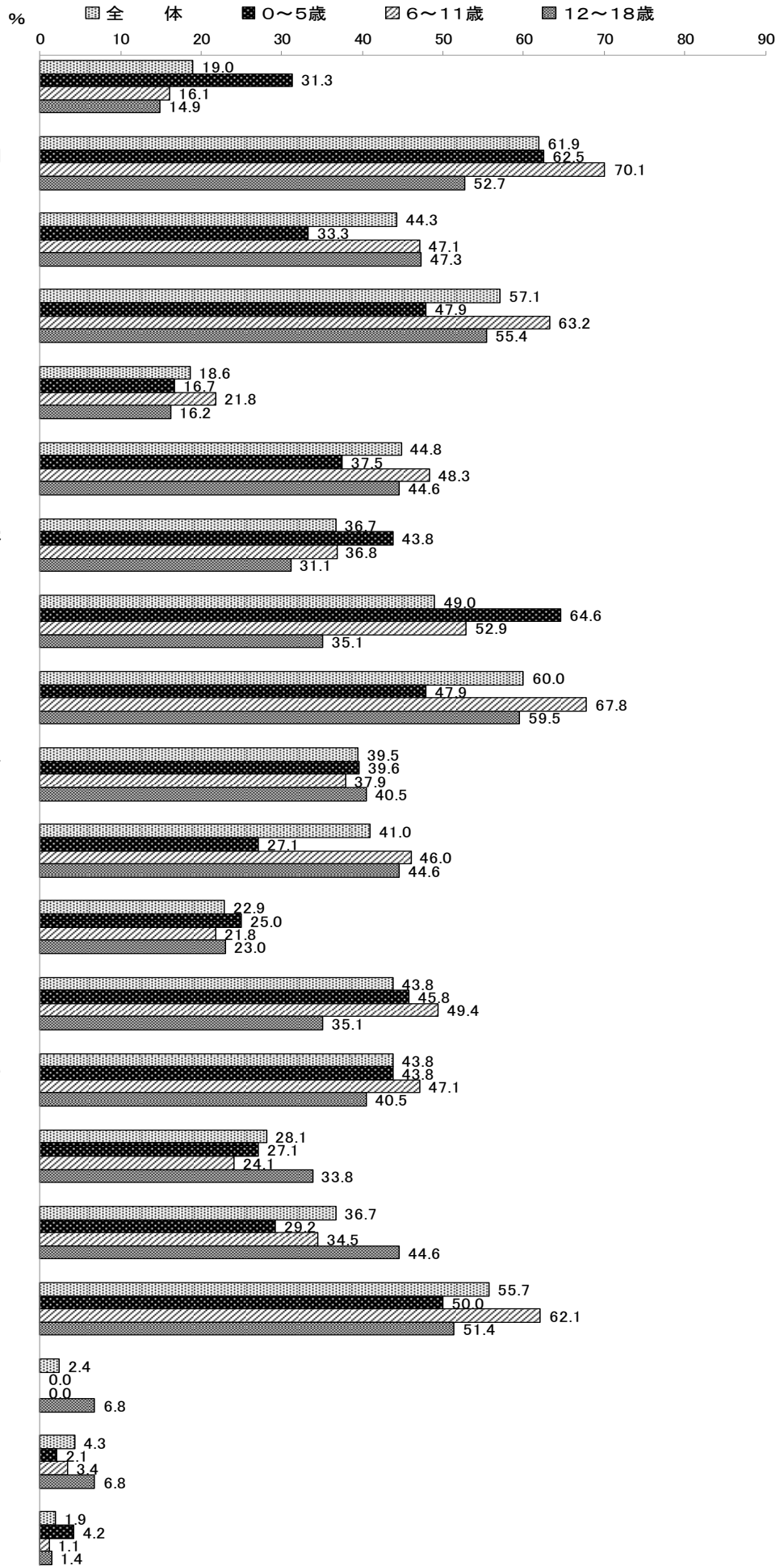


問 28 支援が必要な子どものための施策について、重要だと思うものは何ですか。

全体では、「発育・発達上の課題の早期発見・診断」が 61.9%と多く、「支援が必要な子の小・中学校・高校の教育機会の充実」が 60.0%、「相談対応の充実」が 57.1%、「障がいや発育・発達などへの周囲の理解や配慮」が 55.7%である。

問28支援が必要な子どものための施策[%・複数回答]

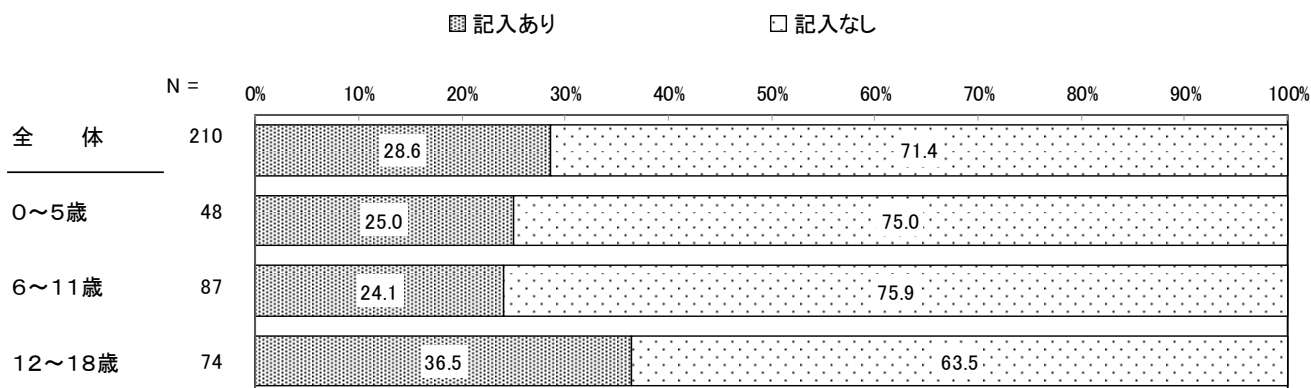
N = 210



問 29 障がい児福祉に関するご意見などがありましたらご自由にお書きください。

全体では 28.6%の記入があり、学校に関すること、サービス利用に関することなどの意見がみられる。

問29自由意見[%]



順位	内容	件数
1位	学校に関すること	14件
	教育現場の方の障がい児に対する理解を深め、適切な対応が取れる体制を整えてほしい。特別支援学校をふじみ野市にも作ってくれたら助かる。	
2位	サービスの利用に関すること	10件
	放課後等デイサービスは、小学校の近くに作ってほしい。送迎つきだとおよい。相談支援員、個別対応のできる放課後等デイサービスが少ないので増えるとよいと思う。放課後等デイサービスの利用料金について、同じ時間に同じ支援を受けるのにも関わらず所得によって利用料金が変わるのはおかしい。	
3位	発育・発達に関する相談に関すること	9件
	もっとアドバイスしてくれるところが増えると助かる。自分の子でありながらわからないことも多く、困ることもある。サービスなど、こちら側からではなく職員から色々と話してくれると助かる。どこを頼って相談したらよいのかわからなかった。相談に行っても事務的な対応しかしてくれないのは残念である。就学前で明確な診断がつかないこと、個人差があることも十分理解しているが、そのなかで親が支援するためには何があるのか、どのように動けばよいのかを指導してくれる所があるとよいと思った。	
4位	障がい児の保護者に関すること	7件
	障がい児の親の負担が多い。金銭的にも心にも余裕がない。障がい児の親は子どもの将来のことですいつも悩んだり困ったりしている。もっと親身になっていただける仕組みができるとよいと思う。	
5位	子どもの将来に関すること	6件
	親が亡くなった後の障がい児の生活がとても心配である。一人で生活するのは困難なのでサポートを充実してほしい。子どもの将来を考えると不安しかない。親が亡くなったらご飯をどうやって食べていくのだろうと考えると夜も眠れない。	

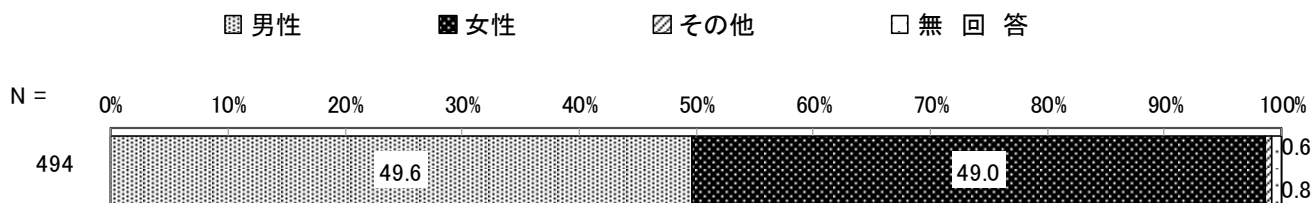
## 第4章 一般市民調査

### 1 回答者の属性

問1 性別をご回答ください。

性別は、「男性」が49.6%（前回42.3%）、「女性」が49.0%（前回56.2%）と同程度で、「その他」が0.6%で、前回より「男性」が7.8ポイント高い。

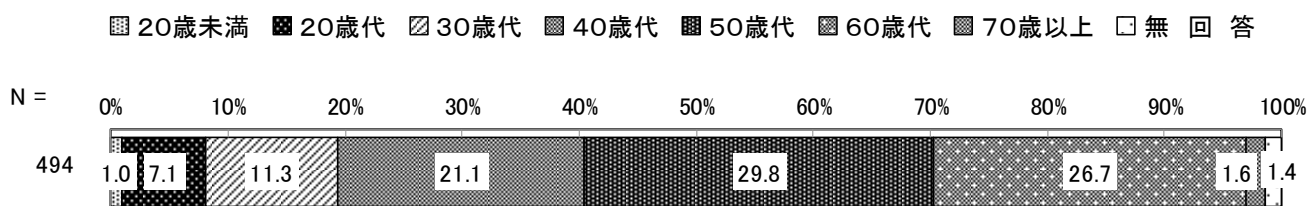
問1性別[%]



問2 年齢をご回答ください。

「50代」が29.8%（前回26.6%）、60代が26.7%（前回22.4%）と多く、前回よりも高くなっている。ついで、「40代」が21.1%（前回22.4%）、「30代」が11.3%で続いている。

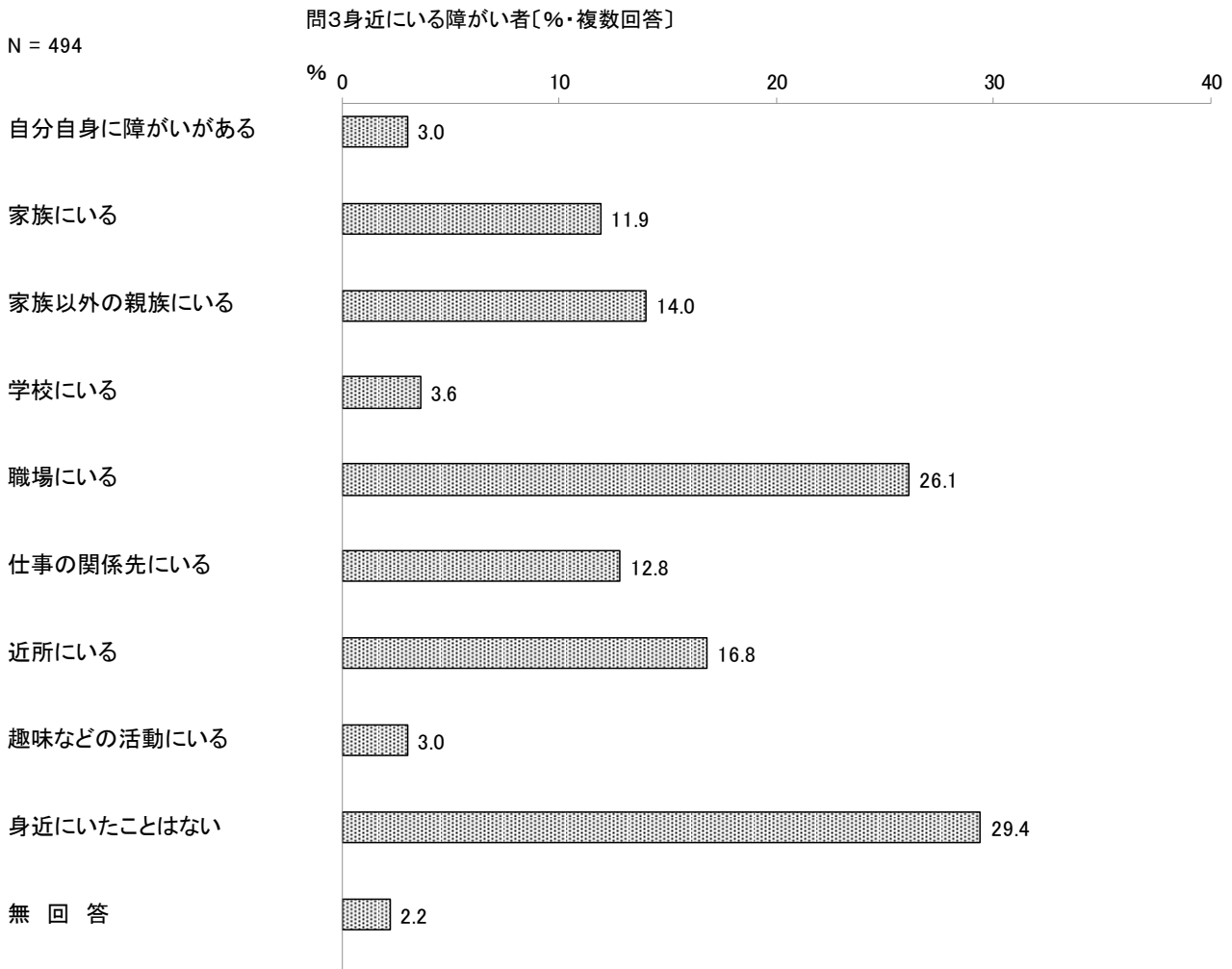
問2年齢[%]



## 2 障がいに関する意識

問3 職場や地域など、身近に障がいのある人はいますか。

「身近にいたことはない」が 29.4%（前回 29.6%）が最も多く、「職場にいる」が 26.1%で（前回 24.6%）、「近所にいる」が 16.8%（前回 16.9%）、「家族以外の親族にいる」が 14.0%（前回 12.9%）、「仕事の関係先にいる」が 12.8%（前回 11.2%）となっている。

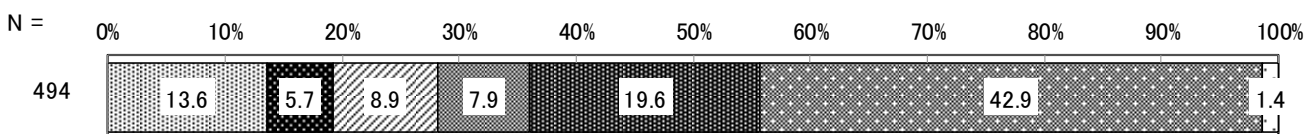


問4 障がいのある人と接する機会はどのくらいありますか。

「ほとんどない」が 42.9%（前回 45.3%）と最も多く、「年に数回」が 19.6%（前回 19.7%）、「ほぼ毎日」は 13.6%（前回 14.4%）となっている。

問4障がい者と接する機会[%]

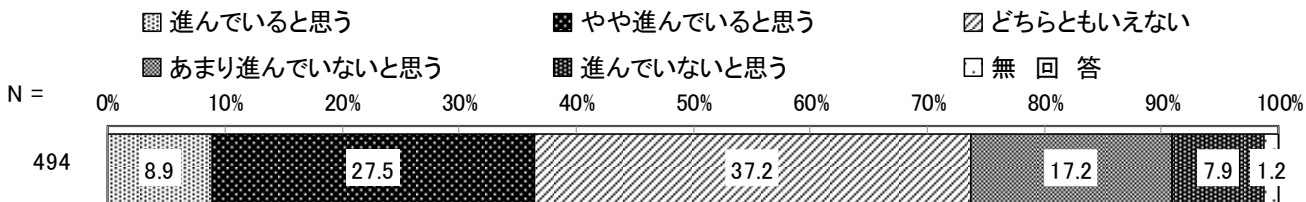
ほぼ毎日
  週に3、4回
  週に1、2回
  月に2、3回
  年に数回
  ほとんどない
  無回答



問5 職場や地域において、障がいのある人への理解や配慮が進んでいると思いますか。

「どちらともいえない」が 37.2%（前回 35.3%）、ついで「やや進んでいると思う」が 27.5%（前回 24.4%）、「あまり進んでいないと思う」が 17.2%（前回 26.6%）となっており、「あまり進んでいないと思う」が9.4ポイント低くなり、『進んでいると思う（「進んでいると思う」「やや進んでいると思う」の計）』は 36.4%となり、前回の 28.9%より 7.5ポイント高い。

問5障がい者理解・配慮の推進[%]

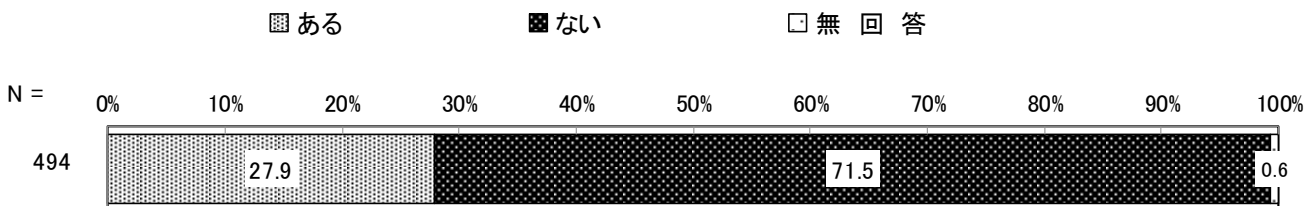


問6 この3年の間に、障がいのある人への差別や偏見を感じたことがありますか。

「ない」が 71.5%と多くを占め、「ある」は 27.9%である。前回調査では『ある（「あると思う」「少しあると思う」の計）』が 83.3%であったが、55.4ポイント低い。

「ある」は、障がい者とほぼ毎日接する機会のある回答者で 56.7%と多い。

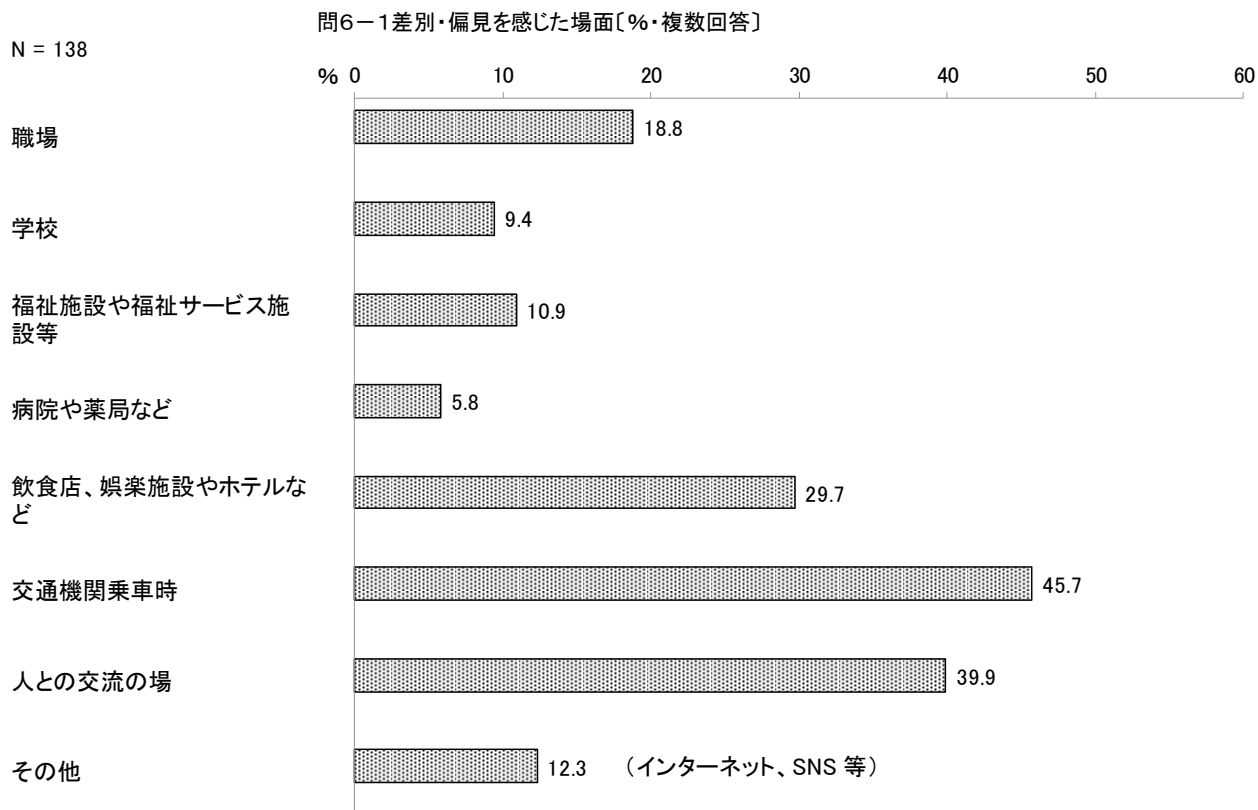
問6障がい者への差別・偏見を感じたこと(3年間)[%]



		問6障がい者への差別・偏見を感じたこと(3年間)[%]			
		ある	ない	無回答	
全 体		494	138	353	3
		100.0	27.9	71.5	0.6
問4障がい者と接する機会	ほぼ毎日	67	38	29	-
		100.0	56.7	43.3	-
	週に3、4回	28	8	20	-
		100.0	28.6	71.4	-
	週に1、2回	44	13	31	-
		100.0	29.5	70.5	-
	月に2、3回	39	10	29	-
		100.0	25.6	74.4	-
	年に数回	97	26	71	-
	100.0	26.8	73.2	-	
ほとんどない	212	41	171	-	
	100.0	19.3	80.7	-	
無回答	7	2	2	3	
	100.0	28.6	28.6	42.9	

問6-1 (問6で「ある」と回答した方)それはどのような場面ですか。

「交通機関乗車時」が 45.7%、「人との交流の場」が 39.9%、「飲食店、娯楽施設やホテルなど」が 29.7%と多く回答されている。

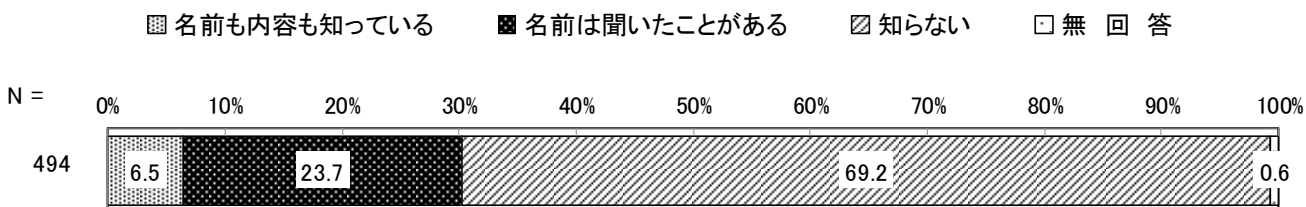


問7 以下の法律等を知っていますか。

①障害者差別解消法

「知らない」が69.2%（前回「まったく知らなかった」62.7%）、「名前は聞いたことがある」が23.7%（前回「名称は知っているが目的や内容は知らない」22.4%）で、「名前も内容も知っている」は 6.5%で、前回の「目的や内容も知っている」（11.4%）よりやや低い。

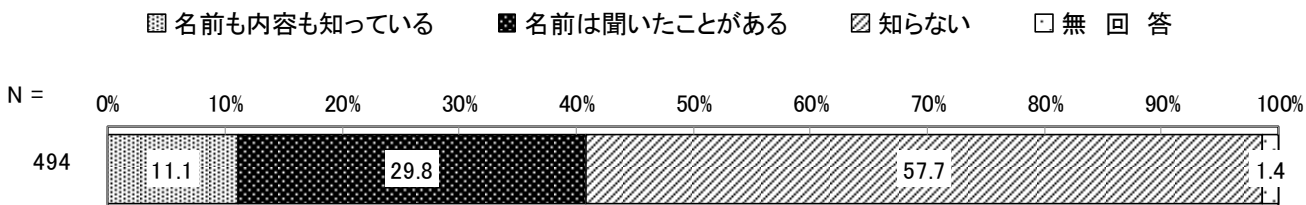
問7法律の認知状況①障害者差別解消法〔%〕



## ②障害者虐待防止法

「知らない」が57.7%（前回「まったく知らなかった」59.0%）、「名前は聞いたことがある」が29.8%（前回「名称は知っているが目的や内容は知らない」24.6%）、「名前も内容も知っている」は11.1%で、前回の「目的や内容も知っている」（13.2%）よりやや低い。

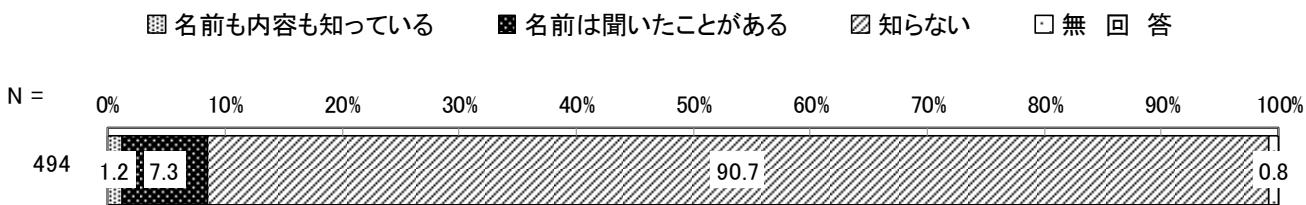
問7法律の認知状況②障害者虐待防止法[%]



## ③ふじみ野市手話言語条例

「知らない」が90.7%（前回「まったく知らなかった」87.8%）「名前は聞いたことがある」が7.3%（前回「名称は知っているが目的や内容は知らない」6.5%）で、「名前も内容も知っている」は1.2%で、前回の「目的や内容も知っている」（2.5%）よりやや低い。

問7法律の認知状況③ふじみ野市手話言語条例[%]

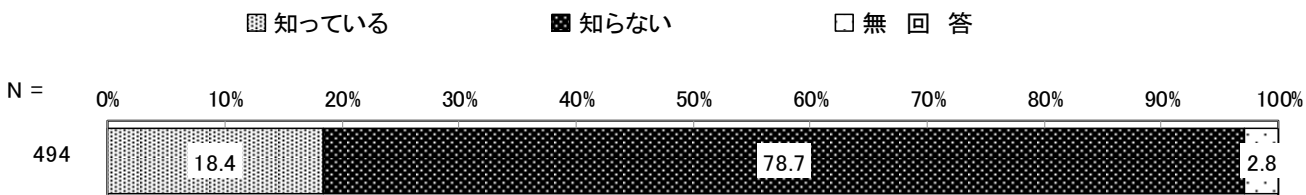


## 問8 以下の項目について知っていますか。

### ①障害者週間

「知らない」が78.7%（前回80.8%）、「知っている」が18.4%（前回15.9%）と2.5ポイント認知度が高い。

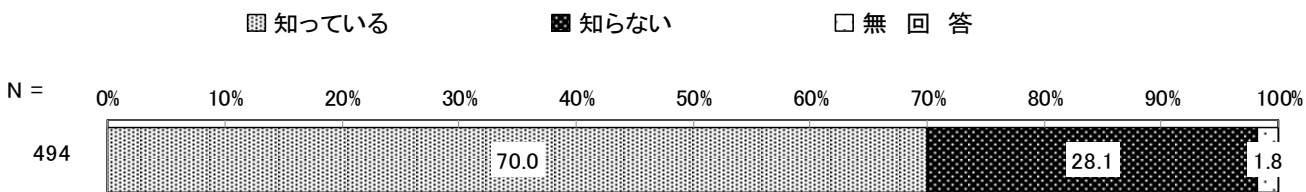
問8認知状況①障害者週間[%]



### ②聴導犬

「知っている」が70.0%（前回70.1%）、「知らない」が28.1%（前回27.4%）である。

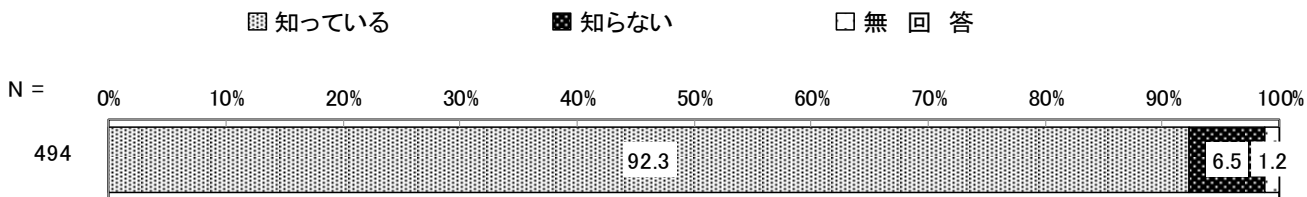
問8認知状況②聴導犬[%]



### ③介助犬

「知っている」が92.3%（前回92.0%）、「知らない」が6.5%（前回5.5%）である。

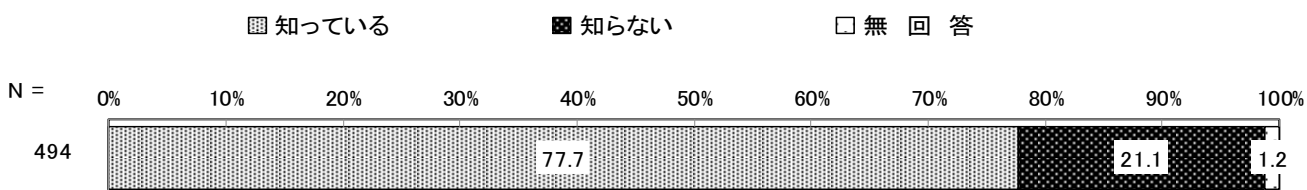
問8認知状況③介助犬[%]



### ④ケアラー(ヤングケアラー)

「知っている」が77.7%（前回72.4%）、「知らない」が21.1%（前回25.1%）で認知度が7.5ポイント高い。

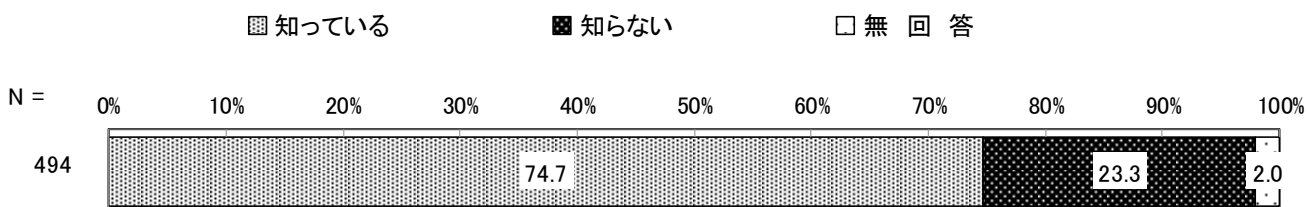
問8認知状況④ケアラー(ヤングケアラー)[%]



### ⑤ヘルプマーク

「知っている」が74.7%（前回67.2%）、「知らない」が23.3%（前回32.1%）と、認知度が7.5ポイント高い。

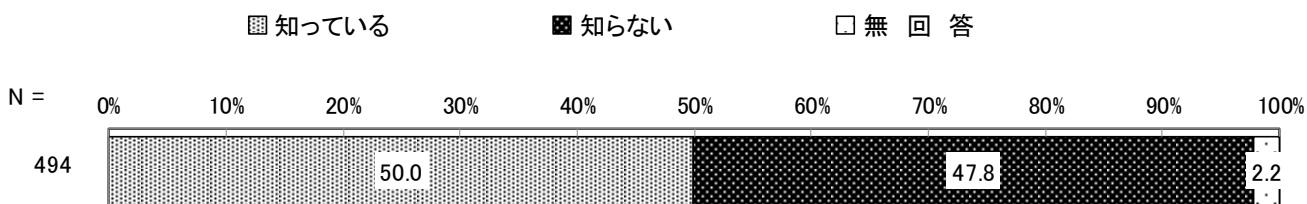
問8認知状況⑤ヘルプマーク[%]



### ⑥医療的ケア

「知っている」が50.0%（前回45.0%）、「知らない」が47.8%（前回54.0%）と、認知度が5.0ポイント高い。

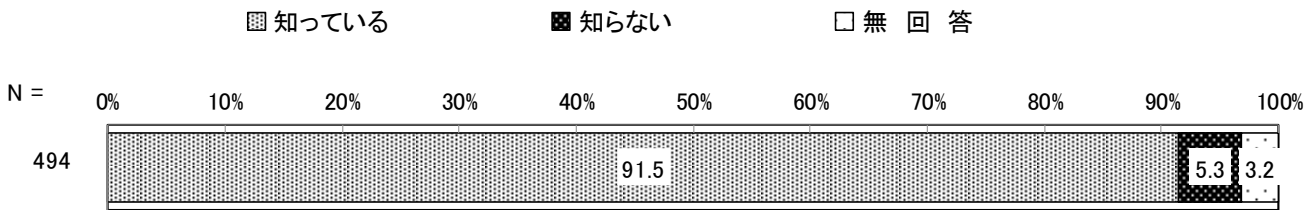
問8認知状況⑥医療的ケア[%]



### ⑦発達障害

「知っている」が91.5%（前回94.0%）、「知らない」が5.3%（前回4.5%）と認知度が2.5ポイント低い。

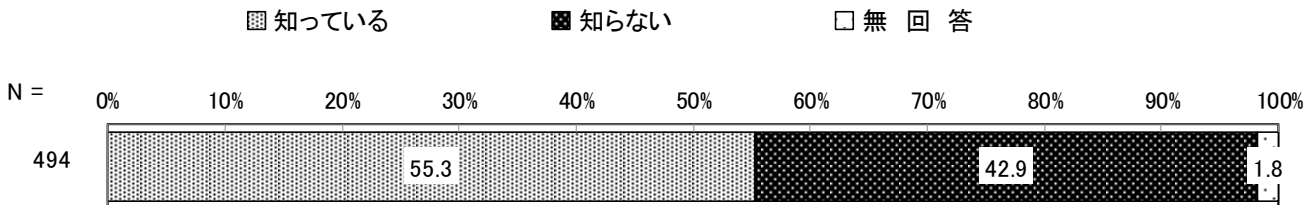
問8認知状況⑦発達障害[%]



### ⑧高次脳機能障害

「知っている」が55.3%（前回47.5%）、「知らない」が42.9%（前回51.2%）と、「知っている」が過半数を超え、認知度は7.8ポイント高い。

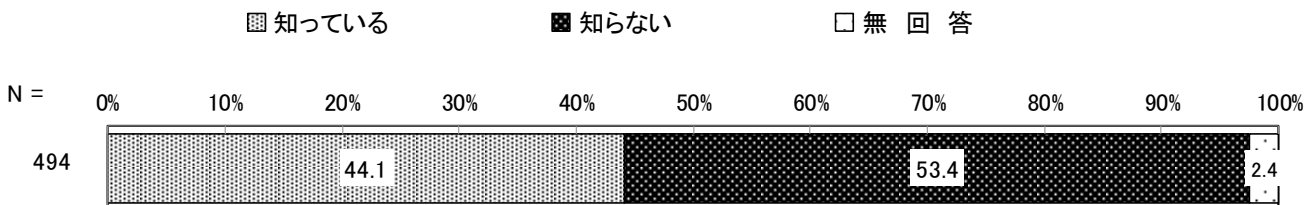
問8認知状況⑧高次脳機能障害[%]



### ⑨地域共生社会

「知っている」が44.1%、「知らない」が53.4%で、「知らない」方が多い。

問8認知状況⑨地域共生社会[%]

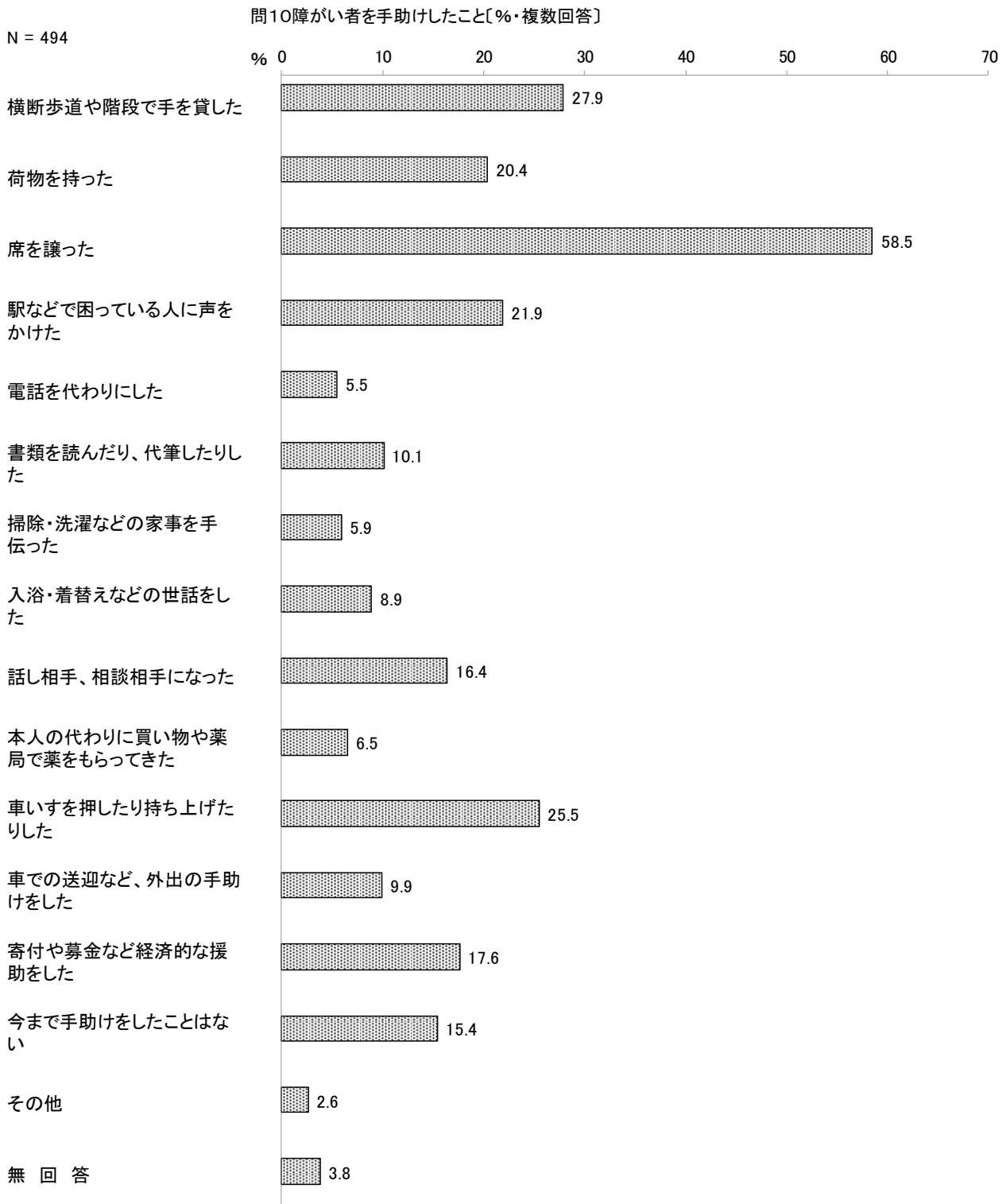




### 3 障がいのある人への支援

問 10 これまで、障がいのある人にどのような手助けをしたことがありますか。

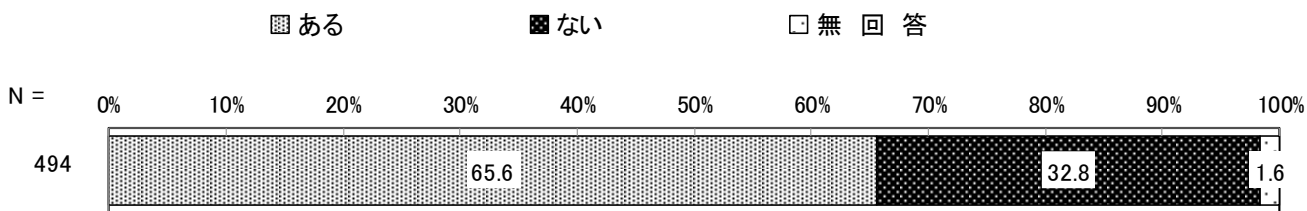
「席を譲った」が 58.5%（前回 50.2%）が最も多く、「横断歩道や階段で手を貸した」が 27.9%（前回 23.9%）、「車いすを押したり持ち上げたりした」が 25.5%（前回 22.4%）、「駅などで困っている人に声をかけた」が 21.9%（前回 18.9%）、「荷物を持った」が 20.4%（前回 19.2%）などが回答されており、前回よりやや高くなっている。



問 11 障がいのある人を手助けしにくいと思ったことはありますか。

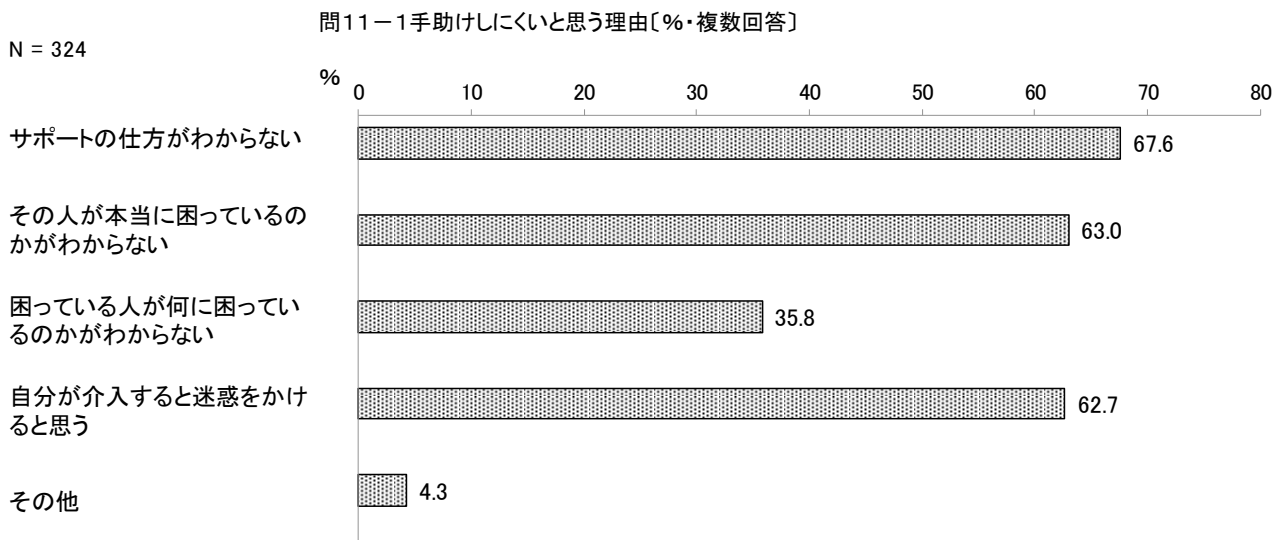
「ある」が 65.6%（前回 71.1%）、「ない」が 32.8%（前回 26.9%）となっており、「ない」は 5.9 ポイント高い。

問11障がい者を手助けしにくいと思ったこと[%]



問 11-1（問 11 で「ある」と回答した方）障がいのある人を手助けしにくいと思う理由は何ですか。

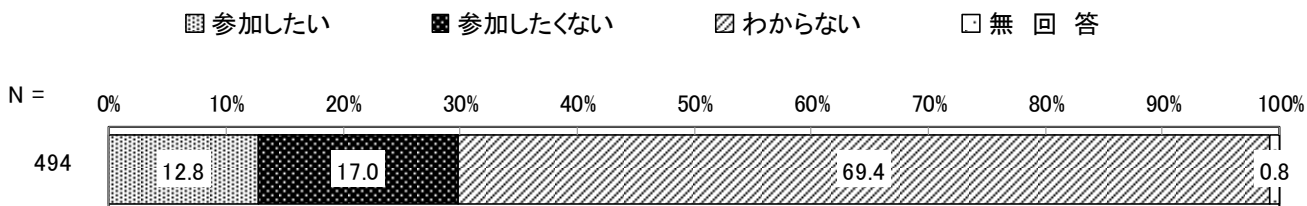
「サポートの仕方がわからない」67.6%、「その人が本当に困っているのかがわからない」が 63.0%、「自分が介入すると迷惑をかけると思う」が 62.7%と多く回答されている。前回調査では「知識や技能がなく方法がわからない」（前回 66.1%）、「本当に困っているのかがわからない」（前回 62.9%）、「かえって迷惑をかけるかもと思う」（前回 57.3%）などの同様の回答が多かった。



問 12 今後、障がいのある人を手助けするボランティア活動に参加したいですか。

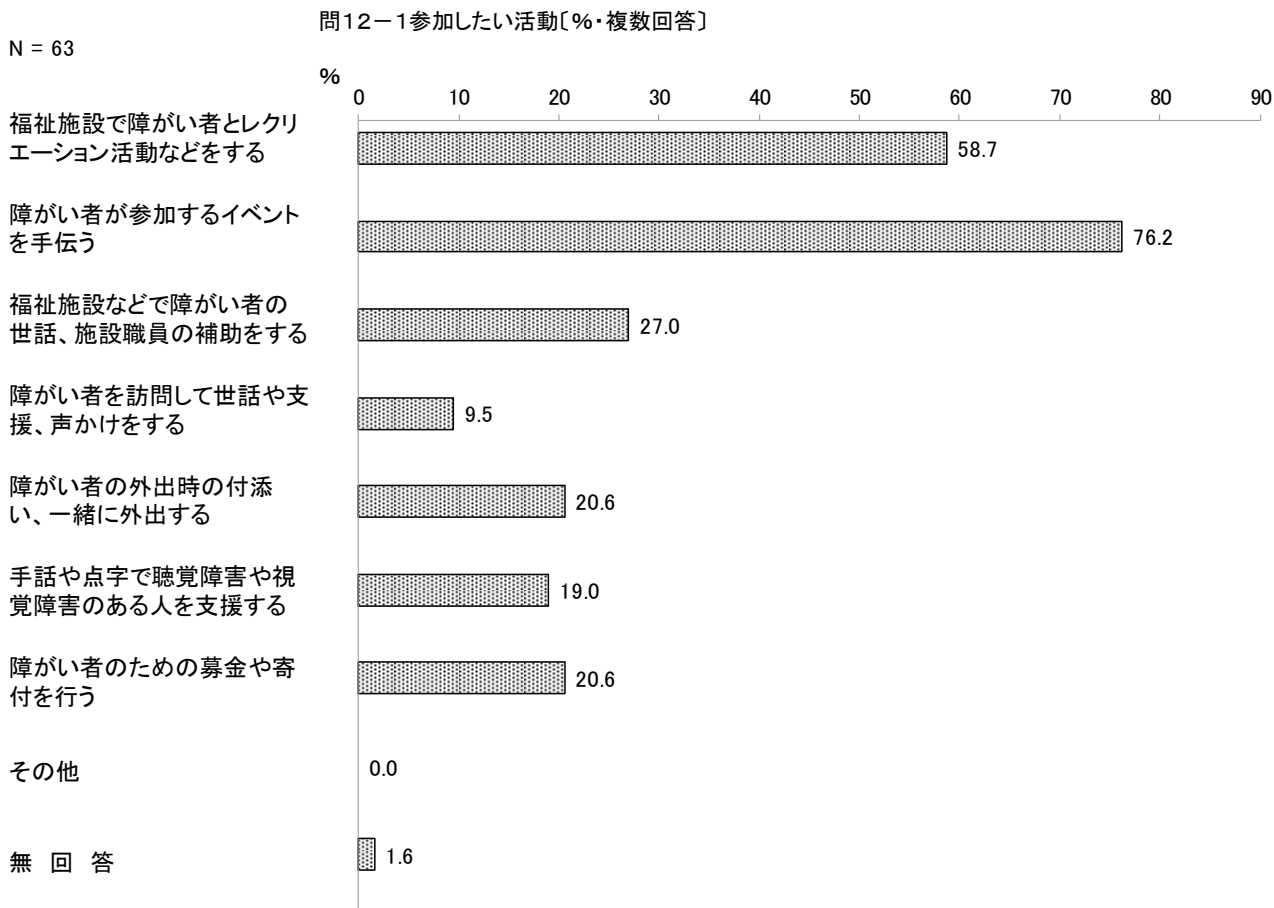
「わからない」が 69.4%（前回 49.8%）と多く、「参加したくない」が 17.0%（前回 30.1%）、「参加したい」が 12.8%（前回 12.9%）で前回と同程度である。

問12障がい者支援ボランティア活動への参加[%]



問 12-1 (問 12 で「参加したい」と回答した方) どのような活動に参加したいですか。

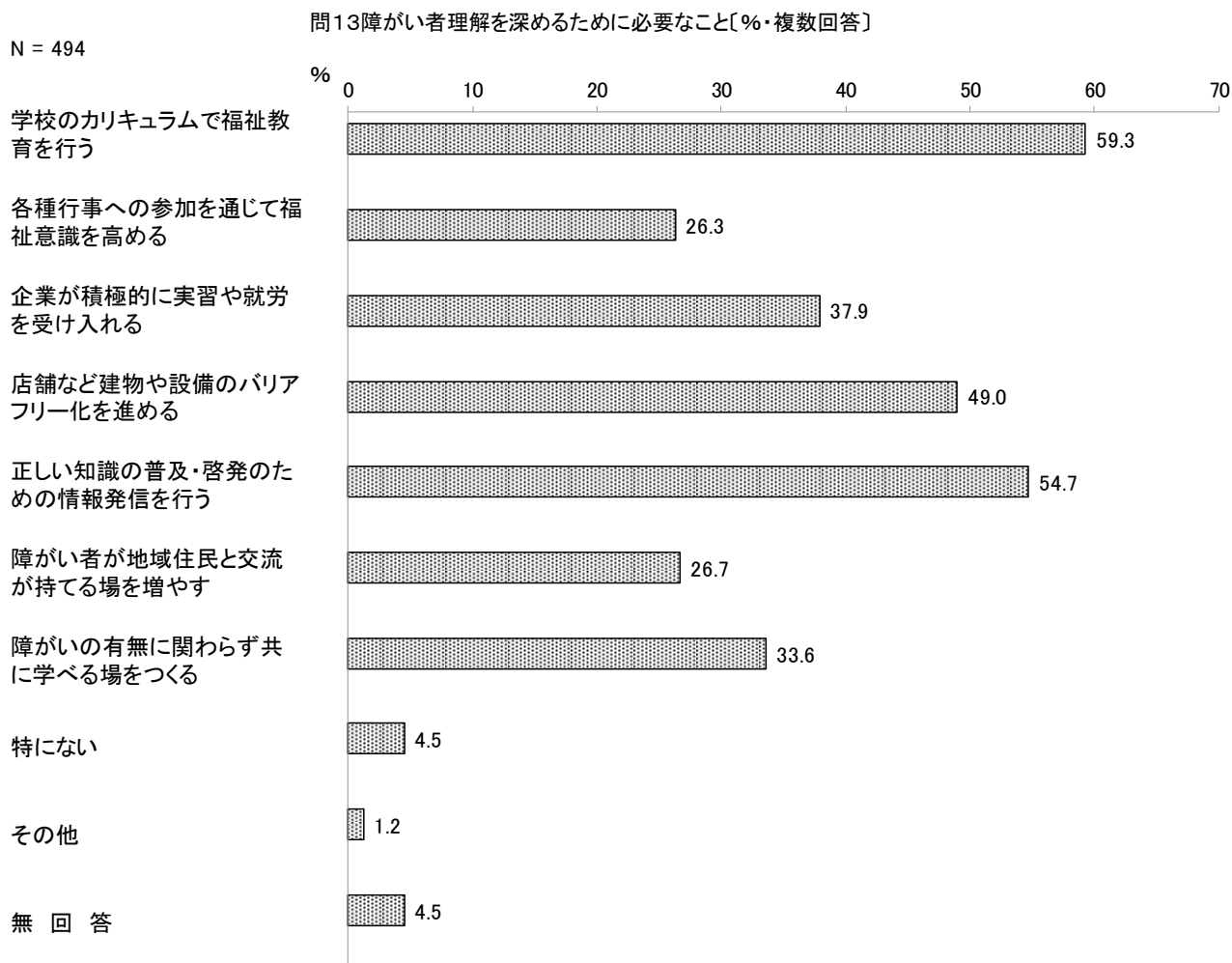
「障がい者が参加するイベント」が 76.2%と最も多く、前回の「障がいのある人向けのイベント運営の手伝い」(前回 57.7%) よりもポイントが高い。「福祉施設で障がい者とレクリエーション活動などをする」が 58.7%で前回の「施設でのレクリエーション活動」(前回 40.4%) よりもポイントが高い。「福祉施設などで障がい者の世話、施設職員の補助をする」が 27.0%で、前回の「施設などでの身の回りの世話」(前回 19.2%) よりもポイントが高く、参加意欲のある回答者の参加したい活動内容の回答は増えている。



## 4 障がい福祉の取組

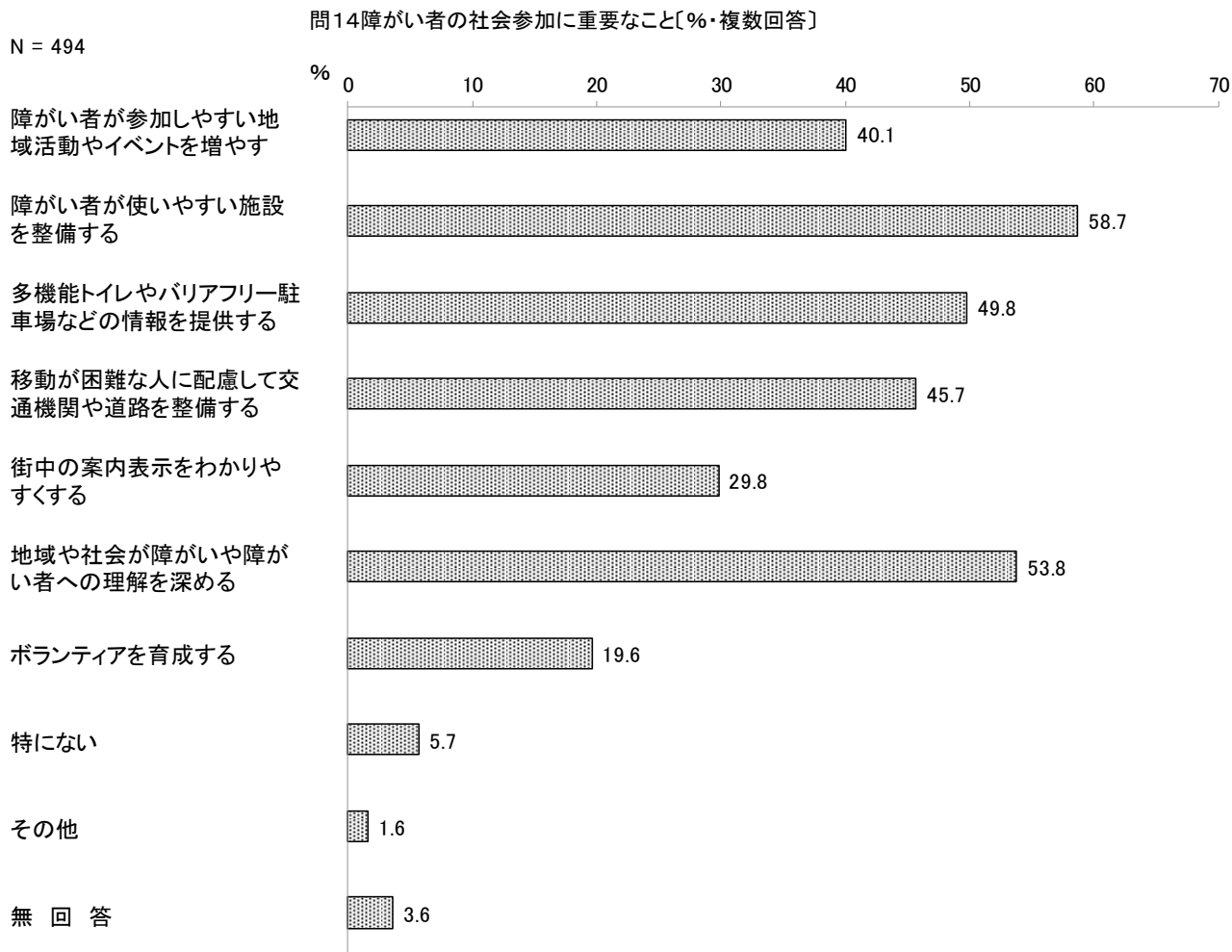
問13 障がいのある人に対する市民の理解を深めるためには、何が重要だと思いますか。

「学校のカリキュラムで福祉教育を行う」が59.3%（前回57.0%）、「正しい知識の普及・啓発のための情報発信を行う」が54.7%（前回54.0%）と前回同様に回答が多い。ついで、「店舗など建物や設備のバリアフリー化を進める」は49.0%（前回44.8%）で前回より4.2ポイント高く、「企業が積極的に実習や就労を受け入れる」は37.9%（前回38.8%）となっている。



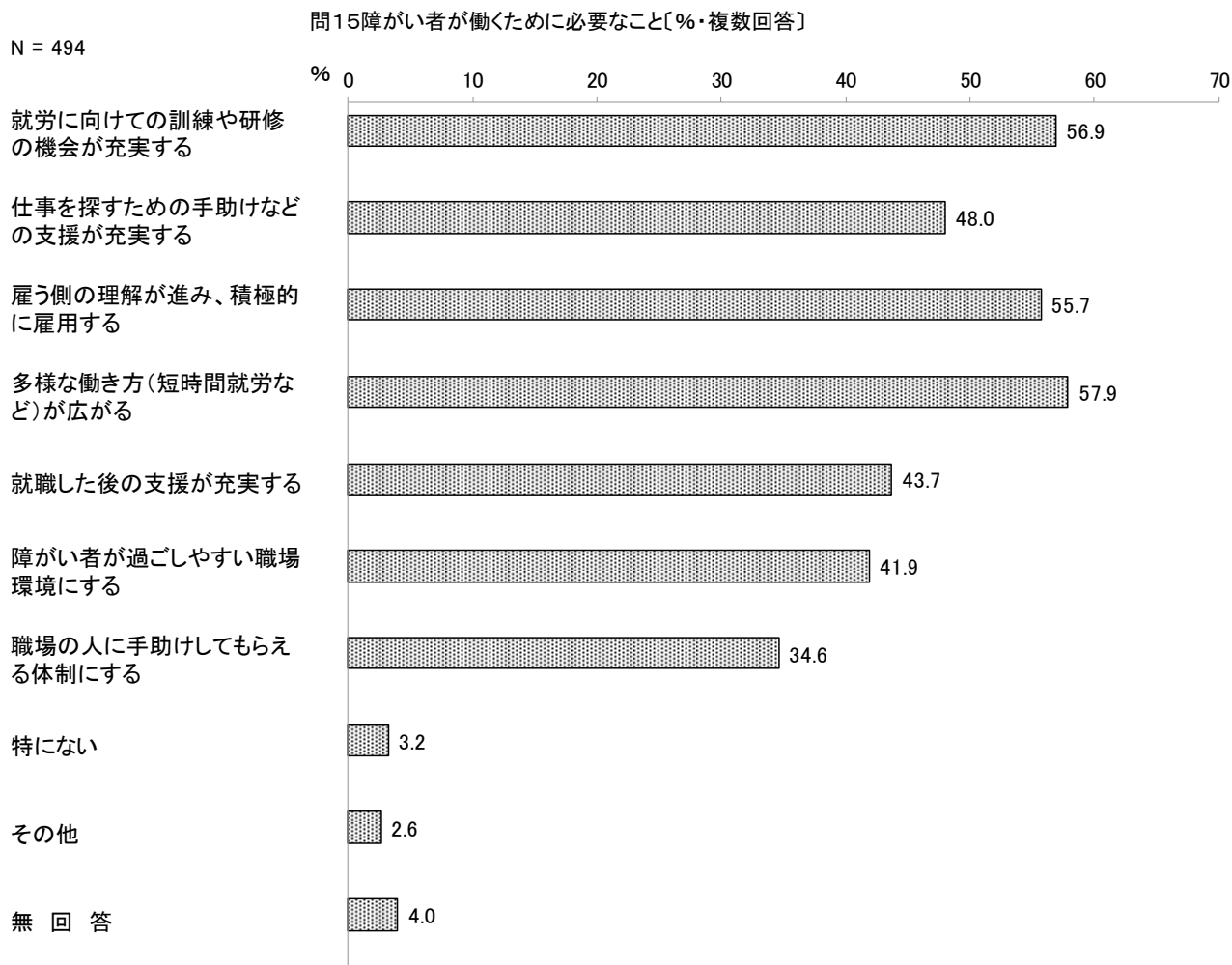
問 14 障がいのある人が社会に積極的に参加するために重要だと思うことは何ですか。

「障がい者が使いやすい施設を整備する」が 58.7%（前回 52.2%）で最も多く、前回より 6.5 ポイント高い。「地域や社会が障がいや障がい者への理解を深める」は 53.8%で（前回 55.7%）、「多機能トイレやバリアフリー駐車場などの情報を提供する」が 49.8%（前回 49.0%）、「移動が困難な人に配慮して交通機関や道路を整備する」が 45.7%（前回 44.5%）といずれも同程度回答されている。「ボランティアを育成する」は 19.6%で、前回（16.2%）より 3.4 ポイント高い。



### 問 15 障がいのある人が働くためには、どのようなことが必要だと思いますか。

「多様な働き方（短時間就労など）が広がる」が 57.9%（前回 58.2%）、「就労に向けての訓練や研修の機会が充実する」が 56.9%（前回 51.0%）、「雇う側の理解が進み、積極的に雇用する」が 55.7%（前回 59.0%）で、この3項目に回答率が高く、「就労に向けての訓練や研修の機会が充実する」は前回より5.9ポイント高い。その他に、「仕事を探すための手助けなどの支援が充実する」や「就職した後の支援が充実する」、「障がい者が過ごしやすい職場環境にする」もともに40%台と多く回答されている。

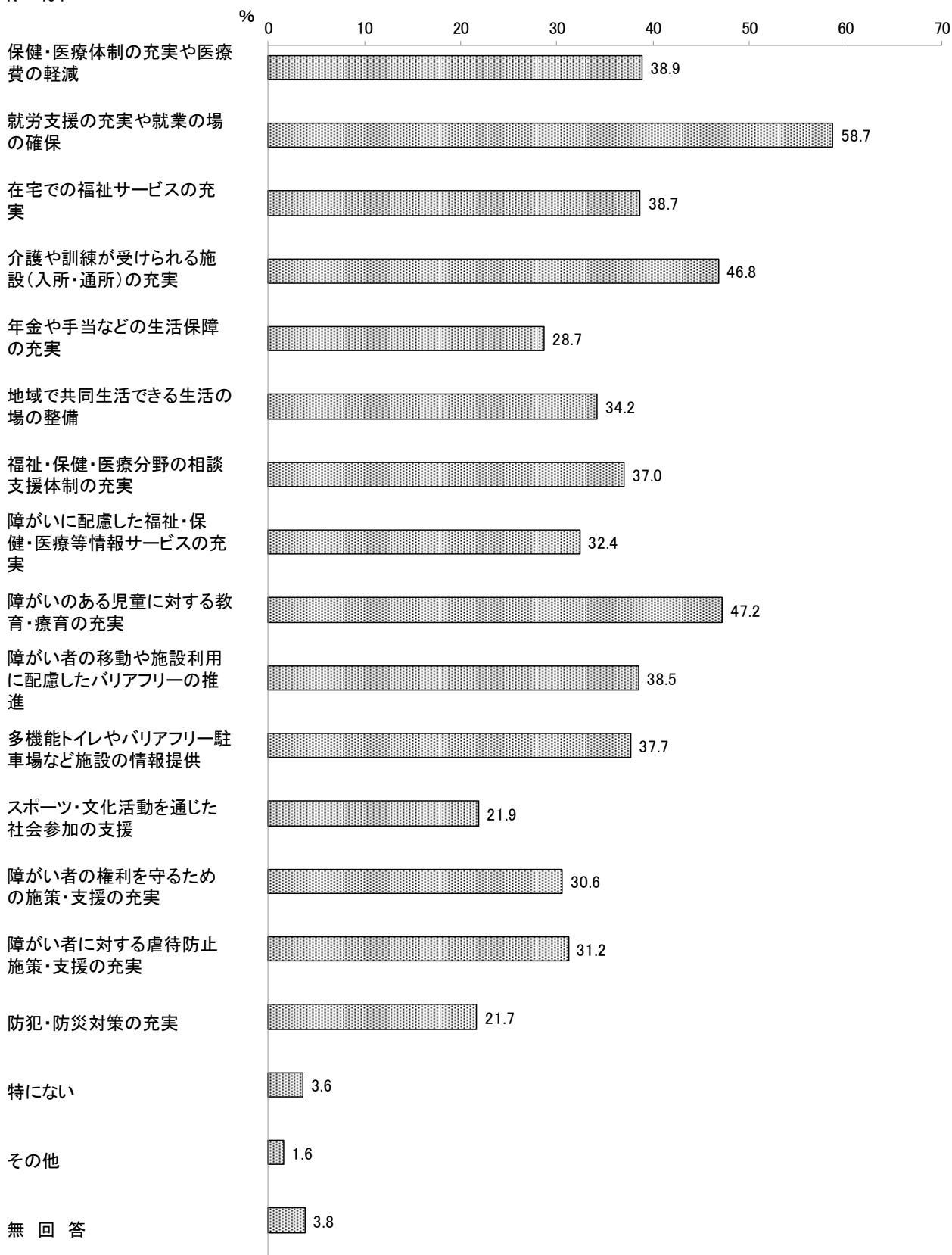


### 問 16 障がいのある人にとって住みやすいまちをつくるための施策について、必要なことは何だと思いますか。

「就労支援の充実や就業の場の確保」が 58.7%（前回 55.5%）が最も多く、前回よりも3.2ポイント高い。「障がいのある児童に対する教育・療育の充実」が 47.2%（前回 44.5%）、「介護や訓練が受けられる施設（入所・通所）の充実」が 46.8%（前回 44.3%）で続いており、前回よりも2.5ポイント程度高くなっている。「保健・医療体制の充実や医療費の軽減」は 38.9%（前回 41.0%）、「在宅での福祉サービスの充実」が 38.7%（前回 36.6%）、「障がい者の移動や施設利用に配慮したバリアフリーの推進」が 38.5%、「多機能トイレやバリアフリー駐車場など施設の情報提供」が 37.7%（前回 39.1%）などが続いている。

問16住みやすいまちづくりに必要なこと[%・複数回答]

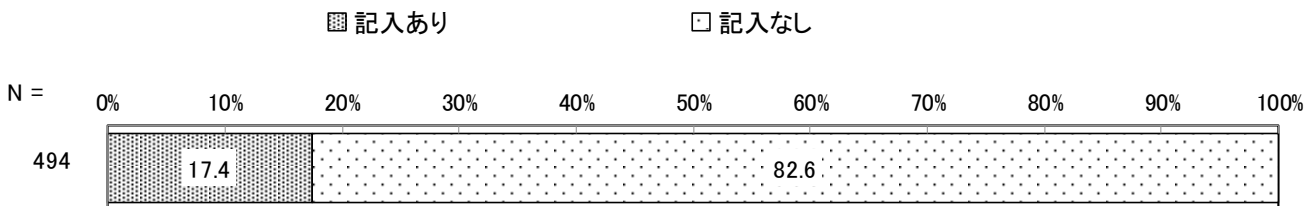
N = 494



問 17 障がい者施策に関するご意見などがありましたらご自由にお書きください。

17.4%が記入しており、障がい者の理解、支援や対応の難しさ、支え合いに関することなどがあげられている。

問17自由意見[%]



順位	内容	件数
1位	障がい者への理解に関すること	26件
	共生するためにはもっと障がいに対する理解を深めなければいけないと思う。学校における障がい者理解の教育が必要だと思う。身近に障がい者がいれば対応や理解が深まると思う。福祉意識を持ち、差別や偏見をなくすべきだと思う。	
2位	支援や対応の難しさに関すること	各13件
	健常者が障がい者に対する理解を深めることは大切だが、障がい者にも健常者との共生に対する歩み寄りが必要と感じる場面がある。子どものうちから関わるとよいと思ったり、子どもには負担が大きいのと思ったり複雑である。自分の生活すら安定していないのに他人のことなど考えられない。	
	支え合いに関すること	
	障がい者が暮らしやすい街になるとよい。必要な支援が必要な人に届くようお願いしたい。お互いが支え合えるような社会の仕組みづくりができないかと思う。	
4位	家族介護者に関すること	各7件
	障がい者本人ではなく、世話をしている家族へのサービスはどうなっているのか、よく知らないのが気になる場所である。障がい者とその家族が孤立しない社会になることを願っている。親が高齢になった時など、安心して暮らせる施設などを充実されてないと、家族も心配だと思う。きょうだい児という問題にも関わってくると思う。	
	生活環境の整備に関すること	
	障がいの有無に関わらず安全でバリアフリーになっていれば、高齢者や子育て中のベビーカーの人たち等、助かる人は多いと思う。健常者と同様に活動できるようなバリアフリーなどの環境整備が第一歩ではないか。	



**ふじみ野市 障がい者福祉に関する  
アンケート調査結果報告書**

発 行：令和8年3月

編 集：ふじみ野市福祉部障がい福祉課  
〒356-8501 ふじみ野市福岡 1-1-1

T E L：049-262-9031

F A X：049-263-7119